

YAMASAKI'S
NEW
SCHOOL GEOGRAPHY



教
41
200

42793

教科書文庫

4
290
41-1910
20000 41338

Kodak Gray Scale

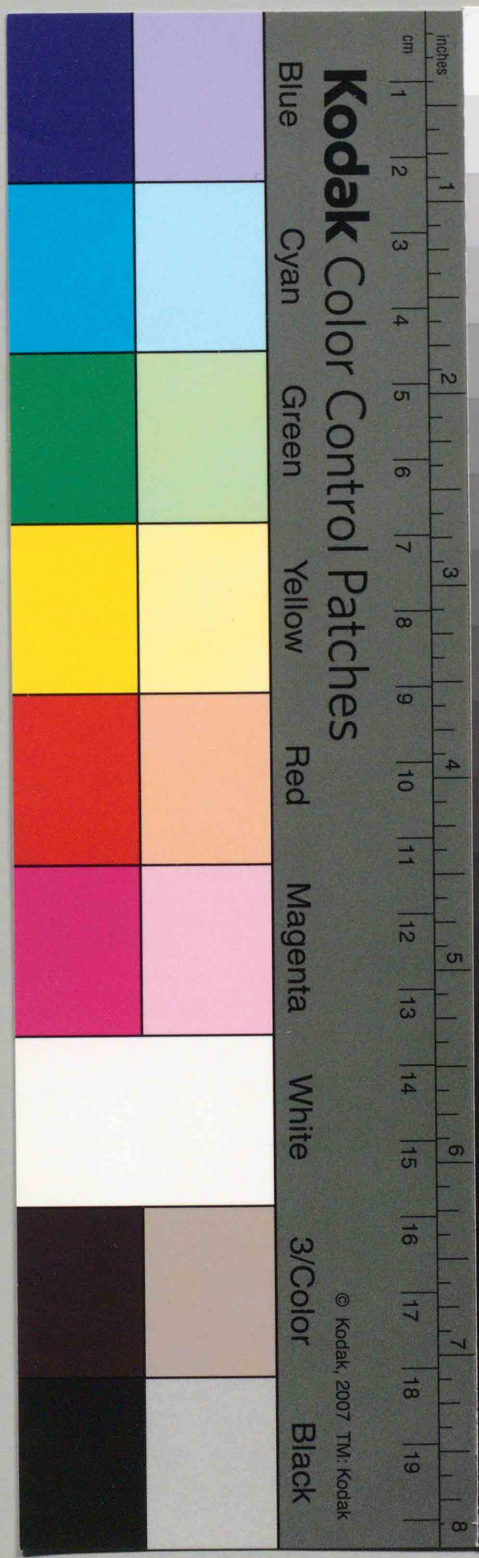
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



教科書文庫
4
290
41-1910
2000041338

資料室

325-7
Y413

文部省檢定

明治三十四年二月十七日 中學校及師範學校地理科用

普通教育

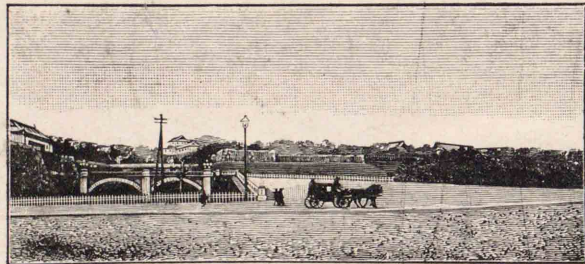
日本地理教科書

東京高等師範學校教授
東京帝國大學理法科大學講師

理學士

山崎直方

著



開成館藏版

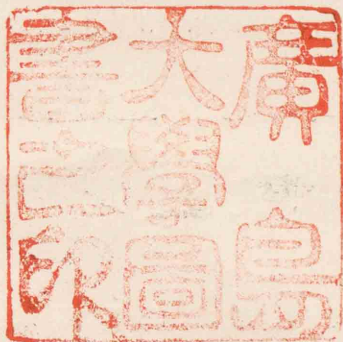
東京



広島大学図書

2000041338





修正改版序

本書は中學校、師範學校、實業學校等の教科書として日本地理を説きたるものにして、即ち拙著 普通教育 外國地理教科書及び 普通教育 地理教科書と連絡一貫せるものなり。

近時中等教育に於て漫に易きを需むる結果、過度に地文的事項を節略する傾向あるは、斯學の進歩と背馳し、慶ぶべきの趨勢にあらざるなり。凡そ國家人文發達の程度は、其邦國の位置、地形、氣候、其他地文的事項の狀況に關聯する所極めて大なるが故に、兩者の敘述相待つて始めて完全なる地理學上の知識を得らるべきものなれば、本書は特に此點に留意して地文、人文に關する教材の配合に深き注意を加へ、努めて敘述の一方に偏せざらんことを期せり。

本書は又地理學の學修を趣味多きものたらしめんがために、乾燥なる記載的敘述を避けんことを努めたり。其他、本書の編纂及び改修に當りて意を用ゐたる點は略次の如し。

- 一、本書は國定教科書小學地理と連絡し、進んで適當の範圍に於て其程度の高きものたらんことを期せり。
- 二、本書は地方誌を後にして總論を初に置けり。是れ先づ總論によりて生徒が既に小學校にて學び來れる日本地誌の知識を綜合歸納せしめ、後に地方誌に進みて之を演繹的に興味を以て了解せしめんがためなり。然れども教授の便宜上、總論(特に人文の部)と地方誌とを相前後して課するも亦固より妨げず。
- 三、修正改版には緒論を省きたり、これ小學地理の終に類似の記事あるに因る。
- 四、插圖圖式等は斬新にして特色あるものを掲ぐるに注意し、且成るべく小學地理所載のものと同重複せざらんことを期せり。
- 五、産業の統計は、年に豊凶あり物價亦高低あり卒に最近一二年の數字を標準と

なし難きにより、成るべくその真相を得んがために、多くは最近三ヶ年の平均額を求めて之を示せり。

- 一、都市の人口は、内閣統計局の調査に係る明治四十一年末の現住數を採録せり。
- 二、本文所載の事項に次いで重要なものは、力めて菴頭に記載し、教師數行の資料に供せり。
- 三、修正改版の普通教育外國地理教科書と體裁用語を統一せしめ、又教材及び行文をも通じて平易にせり。
- 四、本書附屬の普通教育日本地圖には、本書の教授に必要な各種の地圖を輯録せるが故に、本書には多く地圖を掲げざることゝせり。
- 五、修正改版には、境域に關する事項其他を、地圖教練に讓れるもの少からざるが故に、教授上地圖を利用する必要益加れり。されば普通教育日本地圖にも改訂を加へて、併用するに遺憾なからんことを期し、既に發行せしめたり。

要するに、初版以來著者の期する所は、偏に最近地理學の普及にあるを以て、今次の改修に際しても、自己の教授上の經驗に基き、自然を輕んぜず人文に偏せず、教材の選擇と配置とに十分の考慮を

加へ、其插圖の如きも、出所の確實にして陳腐ならず、且よく各地方の特色を示すに足るものを選べり。但地理學の教授は他の理學と同じく、徒に字句の誦讀を主とするものにあらざるを以て、本書によりて、教師諸君の便宜上或は敷衍し或は簡説し、よく其要領を教へて正確なる地理的觀念を得しめられんこと、著者の切望する所なり。

終に臨み、著者は本書竝に 普通教育 日本地圖に對し、初版以來種々の資料を供せられたる地方廳當局の各位と、屢有益なる注意及び熱心なる助力を與へられたる教授當局の各位とに對し、茲に謹みて感謝の意を表す。

明治四十二年十二月

著者識

普通教育 日本地理教科書 目次

第一編 總論

第一章 地文

一	位置及び面積	一頁
二	地形	三
三	海洋	七
四	氣候	一〇
五	動植物	一二

第二章 人文

一	住民	一四
二	政治	一六
三	教育及び宗教	二〇
四	産業	二一
五	交通	二七

第二編 地方誌

第一章	關東地方	三二
第二章	奥羽地方	五一
第三章	本州中部地方	六二
第四章	北陸地方	七八
第五章	近畿地方	八七
第六章	中國地方	一〇四
第七章	四國地方	一一四
第八章	九州地方	一二一
第九章	臺灣	一四二
第一〇章	北海道	一五一
第十一章	樺太	一六三
結論	國勢の發展と國運の進歩	一六八



普通教育 日本地理教科書

山崎直方著

第一編 總論

第一章 地文

一 位置及び面積

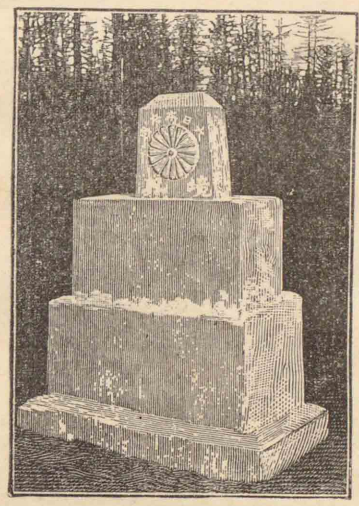
我國の經緯度
 南端、北緯二十一度四十八分
 北端、北緯五十六度五十六分
 西端、東經百十九度二十分
 東端、東經百五十六度三十二分

一、位置。アジア大陸の東岸に近く、太平洋中に大小無數の島嶼相列りて國をなすもの、之を我大日本帝國とす。此列島は斜に西南より東北に延び、其延長約千二百里に及ぶ。列島の中央には本州、四國、九州及び北海道、本島の四大島あり。北海道、本島の北には細長き樺太島ありて、其南部は近年我領土となれり。此等の諸島相列りて、太き彎形を畫き、大

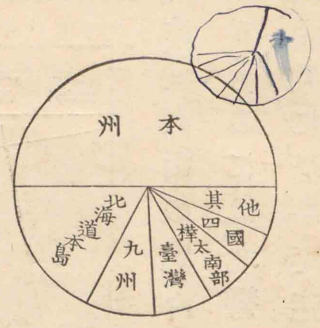
陸との間に日本海を包む。北海道本島の東北には、又千島諸島彎形をなして連り、ロシア領カムチツカ半島の南端に及び、太平洋よりオホーツク海を分ち、又南方に於て、九州の西南には、琉球諸島亦彎形をなして、點々相連り、遂に臺灣島に及び、太平洋より東支那海を分てり。此他猶本州の南方には、遠く太平洋中に小笠原諸島あり。

凡て海を隔てて相隣れり。即ち近く對岸の大陸には、ロシア領シベリア、韓清あり。臺灣の南には、バシ海峽を隔て、アメリカ合衆國領フリスビ諸島あり。而して東は遠

樺太の境界の石標



圖は我國全面積に對する各部の割合を示す。



日本列島は、アジア大陸の東端に連れる山系の海中に出没して成れるものなり。

半にて、臺灣及び樺太は九州より稍小に、四國は略九州の半に當る。

二 地形

一、山系。日本列島を造れる山系の主なるものは、北彎南彎の二つにして、北彎は樺太より南に延びて、北海道本島を貫き、本州の奥羽、關東を過ぎて、中部地方に至る。南彎は二列より成り、一は、臺灣より琉球列島を經、九州、四國、近畿の南部を

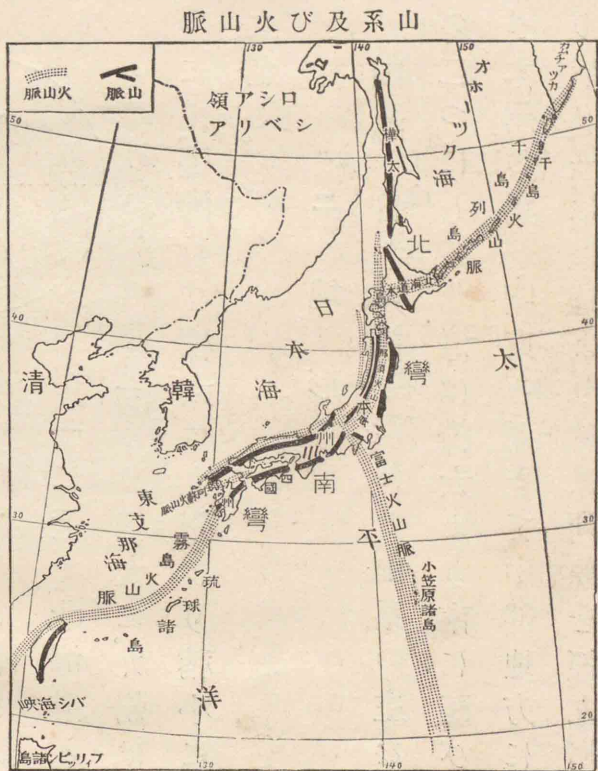
く太平洋を隔てて、アメリカ合衆國及びカナダに對す。

三、面積。我國の面積は約二萬九千方里あり。

列島中、本州最も大にして其二分の一に近く、北海道本島は本州の三分の一より稍大に、九州は殆ど北海道本島の

本州人口 38,000,000
 北海道人口 1,000,000
 九州人口 6,000,000
 四國人口 2,000,000
 臺灣人口 1,000,000

南彎、北彎兩山系の相會する處の地幅は約六十里に及ぶ。
中部地方の高山には、海面上の高距三千米(約一萬尺)を出入するもの少からず。



は、又火山の處々に噴起して、火山脈をなすものあり。其主なるものには、北彎山系の中軸を走れる那須火山脈あり、南彎山系に沿ひて走れる霧島阿蘇の二火山脈あり、中部地方に

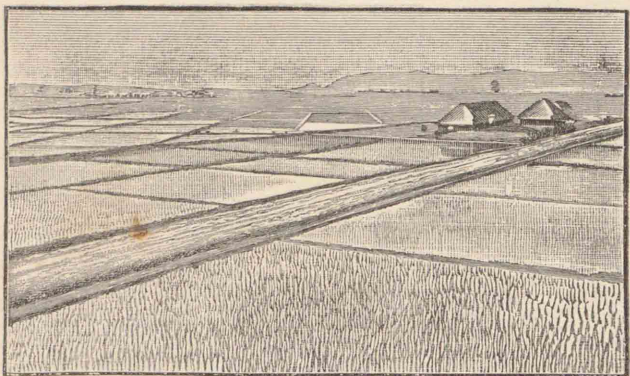
過ぎて、中部地方に至り、一は、九州の北部より、中國を経て、近畿の北部を過ぎ、亦中部地方に至る。此北彎南彎兩山系の相會する處は、本州の幅最も濶く、山嶽亦高峻を極む。此等の山系中に

富士火山脈以北を北日本と稱し、以南を南日本と云ふ。

火山地方には噴氣孔、温泉多し。

大平野の外に山間に盆地をなせる小平野多し。山城、甲府、會津等の盆地は其著しきものなり。

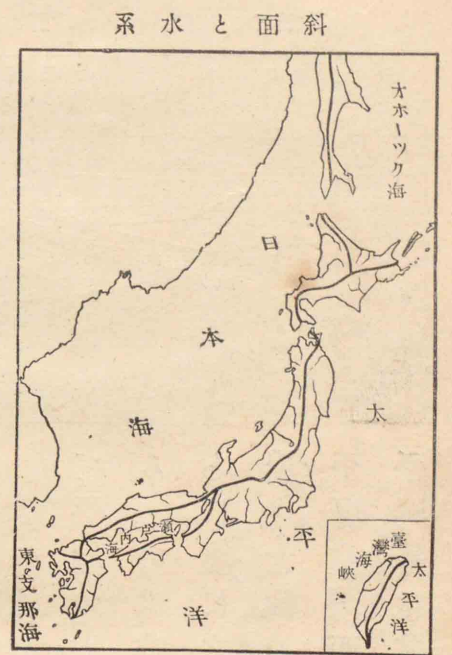
平野の例 (狩石)



は、本州を横斷せる富士火山脈ありて、其脈遠く南方太平洋中に連り、又東北には千島火山脈ありて、千島列島より延びて、北海道本島に及べり。我國には、此他にも尙數多の火山

ありて、地震も亦甚だ多し。我國は世界に於て有名なる火山國にして、又地震國なり。されば我國は到る處山がちにして、平坦の地に乏しく、平野の稍大なるものは、唯海岸地方と大河の沿岸とに纔に之を見るのみ、本州の關東、濃尾、大阪、越後等の平野、九州の筑紫平野、臺灣西部の平野、北海道の石狩平野等は其主なるものなり。

本州の太平洋斜面を日本と稱し、日本海斜面を裏日本と云ふ。
 各斜面の大河
 太平洋斜面 十勝川
 北上川
 利根川
 木曾川
 吉野川
 オホーツク海斜面
 幌内川
 常呂川
 日本海斜面 石狩川
 信濃川
 江ノ川
 瀬戸内海斜面 淀川
 旭川
 東支那海斜面 筑後川
 川内川
 臺灣海峡斜面 淡水河
 濁水溪



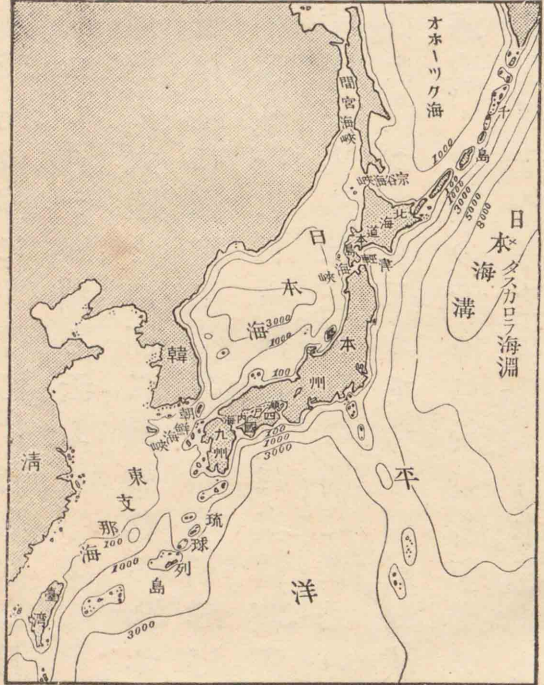
我國は地形上、長大なる河川に乏しく、又多くは急流をなすが故に、舟運の利に乏しけれど、水量は常に多くして、灌漑の便少からず。其他水力の利用も近來盛なるに至れり。山間の盆地若くは海岸の低地には、屢水を湛へて、湖水をなす。琵琶湖、猪苗代湖は前者に、霞浦、八郎潟は後者に屬す。

二、水系。主要なる山脈は、列島の略中央を、其長さに沿うて走るが故に、水系も其左右の兩斜面に分れ、河川は、一方は太平洋に、一方はオホーツク海、日本海、東支那海、臺灣海峽に入る水系あり。

海岸線の全長は凡そ七千七百里にして、其發達せること世界に比類稀なり。

我國より太平洋を航して、アメリカにある最近の港に至るには、十餘日を要し其間一片の陸影をも見ず。

浅深の洋海



三、海岸線。我國の諸島は概して海岸線の出入に富む。九州は其第一に位し、本州、四國、北海道、本島、樺太は之に次ぎ、臺灣は最も之に乏し。海岸線の出入に富める地方は、概して自然の良港亦多く、從て通商を利し、文明の開發を促すこと少からず。

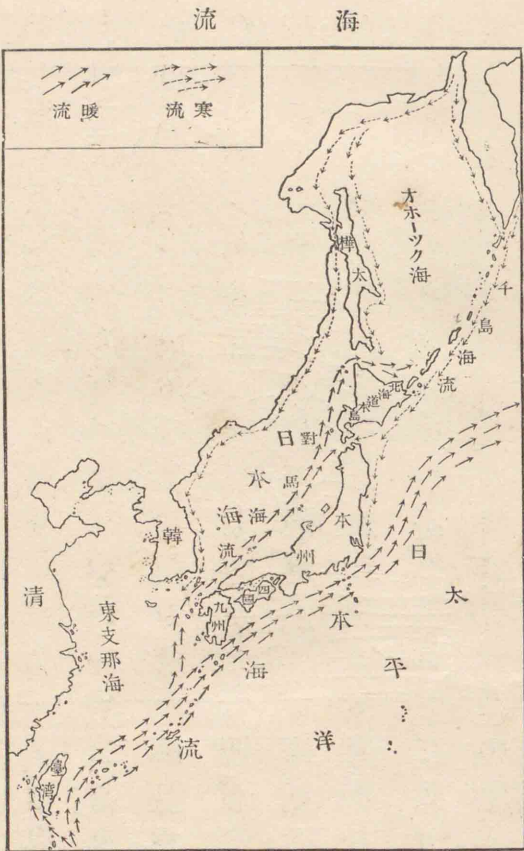
一、沿海。我國は海國にして、四方殆ど海を繞らし、列島の東に横はれる太平洋は、世界第一の大洋にして、其深さは我國の近海に著しく、奥羽東方の沖

タスカロラ海淵の深さは八千五百五十米にして、富士山の高さに比すれば二倍以上なり。

瀬戸内海は極めて浅く、海面若し僅に四十米前後も下るとせば、本州、四國、九州は全く連絡して一大島となるべし。

より千島の沖にかけては、有名なる日本海溝あり、其最深部をタスカロラ海淵と云ふ。
列島と大陸との間に横はれるオホーツク海、日本海、東支那海は、互に間宮海峡、宗谷海峡、朝鮮海峡などの狭き海峡にて相連り、殊に日本海は別に又津輕海峡によりて太平洋に通ず。瀬戸内海は三大島の間を挟まりて、其名の示すが如く、其口はいづれも極めて狭き瀬戸(海峡)をなせり。
二、海流。 我國の近海に於ける海流の主要なるものは、日本海流及び千島海流なり。日本海流は赤道近海より來れる暖流にして、臺灣、琉球に沿ひ、九州、四國、本州の南を流れ、東北の洋中に轉じ、又其一派は對馬海峡より日本海に入り、本州及び北海道本島の海岸に沿ひて流る。其海水濃藍色をなすにより、黒潮とも云ふ。千島海流は北方より千島近海を流

千島海流は海水淡綠色をなす。



れ來れる寒流にして、親潮とも云ひ、北海道本島の南より、奥羽の東を流る。此寒暖二流は各特殊の水産に富みて、

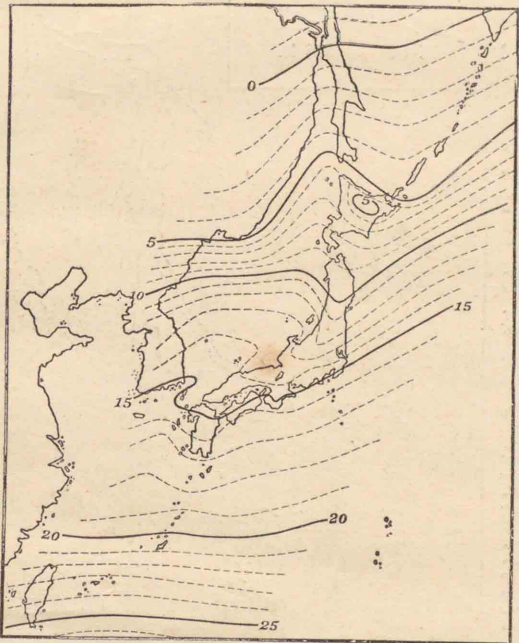
其利少からず。北海道の近海は、此兩海流の相觸るゝ處にして、其影響によりて霧多し。

三、潮汐。 海水干満の差は各地必ずしも同じからず。其最も大なるは九州の有明海にして、其差十八尺餘に及び、太平洋沿岸は五六尺を上下し、又最も小なるは日本海沿岸にして、

潮流の急なる海峡に於ては、船舶の航行に際し潮時を選ばざるべからず。

殊に佐渡に於ては約一尺に過ぎず。而して狭き海峡などもありては、潮汐の進退する毎に、海水流動して、潮流をなすものあり。瀬戸内海の諸海峡に於ては、潮流殊に著しく、鳴門海峡にては一時間に十海里、下關海峡にては七海里の速度を以て流る。

(均平年) 線 温 等

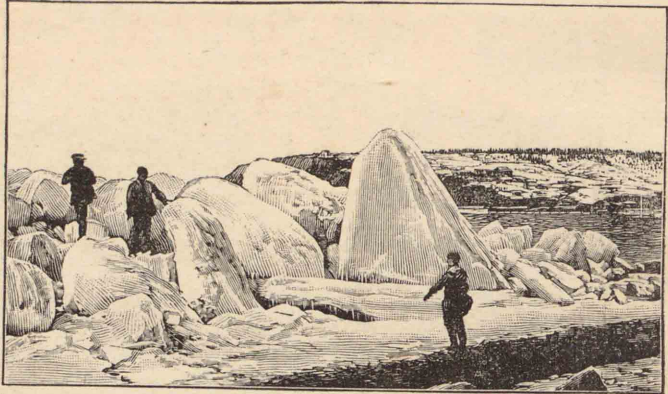


四 氣候
一、温度。國の大部分は温帯の中に位し、且四面海に圍まれたれば、氣候温和なり。唯臺灣の南半のみは熱帶に入りて、其最低二月の温度は、恰も北海道

北海道の内地にては、最低氣温攝氏零下四十二度に降りたることありき。

日本海は冬季風波荒くして、航海に不便なり。臺灣海峡は四季共に風波荒し。

樺太沿岸氷結の狀



の最高七八月の温度と相等し。又奥羽以北の地は、冬に至れば寒くして、北海道樺太の沿岸は海水の氷結する處あり。

二、風。夏は東南の軟風太平洋より吹き來り、冬は西北の強風アジア大陸より、日本海上を過ぎて吹き來るを常とす。又八九月頃には、南方より大風豪雨襲ひ來り、米作を害し、又洪水を起すことあり。

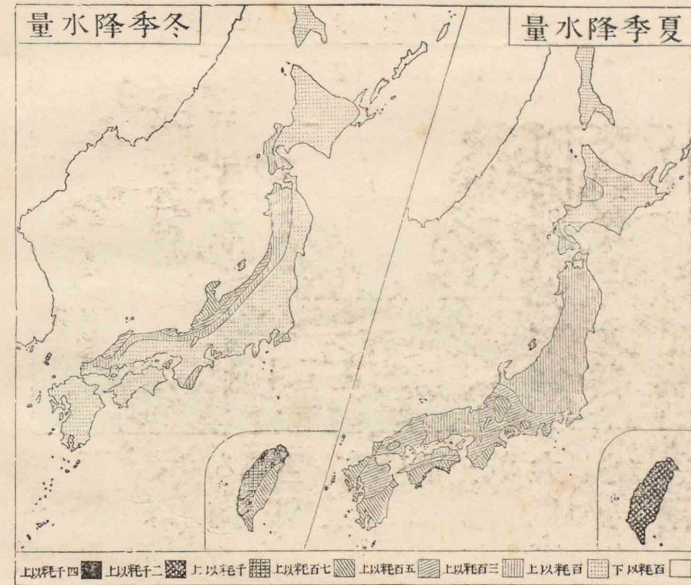
三、雨。雨量は風向と直接の關係あり。夏季東南風の送り來る濕氣は、九州、四國、本州の南海岸に多量の雨となりて降り、冬季は西北風、日本海の濕氣を送り

て其海岸地方に、多量の雪を降らす。又六月には、雨天多く、之を梅雨と稱す。一年を通じて、雨量の最も多きは臺灣琉球列島にして、少きは北海道樺太並に瀬戸内海沿岸地方なり。

五 動植物

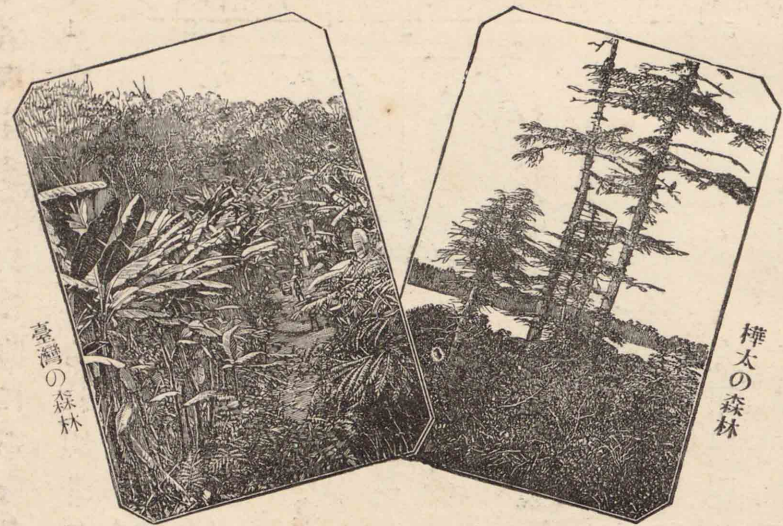
我國の氣候はよく動植物の生育に適し、其種類甚だ多し。

臺灣、琉球の植物には、杉、羅榕樹、蒲葵等あり。又甘蕉、鳳梨等の果實を産す。特有動物には、臺灣に穿山甲、



右圖は嶮内川沿岸の落葉松の森なり。

左圖は芭蕉、芋齒類の叢生せる状なり。



琉球に飯匙倩等あり。

九州、四國、本州には、赤松、黒松、檜、杉等の森林よく發達し、中部の山より奥羽の平地には、山毛櫸多く、又高山には、白檜、偃松あり。動物の種類も多く、中には世界に稀なるハンザキ(山椒魚)などあり。津輕海峽は生物分布の著しき境界をなし、之より以北に到れば、蝦夷松、榎、落葉松等の森林多く、又本州の高山に生ずる偃松は、樺太、千島の低

- 1 臺灣のアタ イアル人にしてマライ種族に屬す。此圖は婦人にして顔に黥せるものなり。
- 2 臺灣にある支那種族。
- 3 北海道のア イヌ種族、男子は毛深く、婦人は口邊に黥す。
- 4 樺太のオロ チョン種族。
- 5 樺太のギリヤク種族。



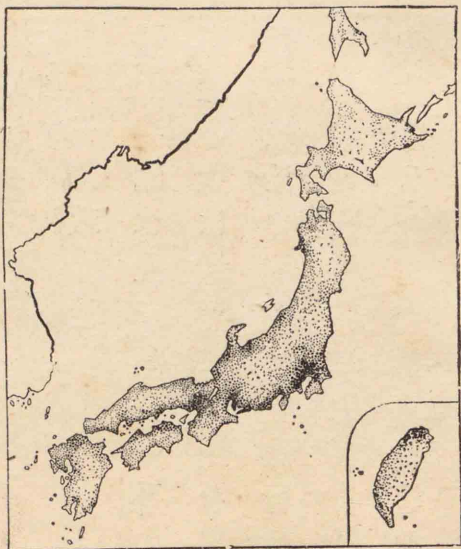
地にあり。動物も猿、黒熊は海峽以南に限られ、以北には熊あり。又樺太、北海道の近海には獵虎、膾炙たる海獸を産し、昆布、鱒、鮭、鱒多し。

第二章 人文

一 住民

一、種族。我國住民の大部分は大和民族にして、臺灣に支那種族、マライ種族あり、北海道にアイヌ種族あり、樺太にアイヌ、ギリヤク、オロチン等の種族あり。而して大和民族は愛國心深く、學藝を好み、技術に長じ、其文明は近來著しく増進して、世

人口の密度



界の最優等種族に伍する程度に達せり。

二、人口。五千四百餘萬あり。住民の密度の最も大なるは關東平野にして、之に次ぎては、本州中部海岸地方より、近畿の中部、瀬戸内海沿岸地方、九州の西北部

臺灣の北部亦甚だ大なり。而して密度の比較的ヒトシカ小なるは奥羽地方にして、北海道樺太は之に比して更に一層小なり。我國は農業を以て主なる産業となすが故に、都會の數は割合に少く、人口十萬以上を有する都會は、全國を通じて僅に九箇所に過ぎず。之をイギリス、ドイツ等商工業の盛な

人口十萬以上を有する都會は左の如し。
東京、大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、長崎、廣島、金澤、イギリス、ドイツにては、人口十萬以上の都會各約四十箇處あり。

我國民の海外に在留せるものは、約二十萬人あり。我國に來留せる外國人は約二萬人にして、中にも清國人は最も多くして、其過半を占め、イギリス人、アメリカ合衆國人に次ぐ。

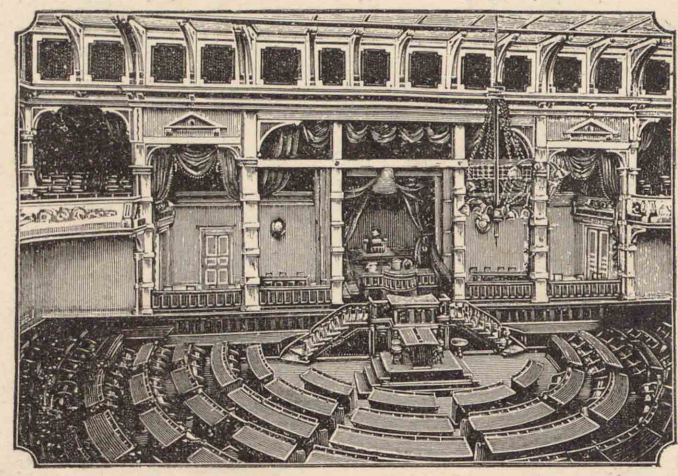
る國に比すれば、其數甚だ少し。我國民の海外にあるものは、未だ多からず。されど太平洋中のハワイ諸島には、久しき以前より數萬の移民居り、又近くは韓國、清國に移住するもの、著しく増加し、都市を造るものあるに至れり。アメリカ合衆國の太平洋岸地方にも、亦多數の邦人あり。

二 政治

一、國體。我國は上に萬世一系の天皇を戴ける立憲帝國にして、國體の美は世界に其比を見ず。
二、政體。政治の機關は立法、行政、司法の三部に分る。
三、立法部。帝國議會にして、貴族院、衆議院より成り、主として法律案、歳入、歳出の豫算案等を議す。
行政部。中央政府は内閣を主腦とし、別に外務、内務、大藏

府、縣の下には更に市、區、郡、町、村ありて、各其長と自治機關とを置き、北海道には區、支廳を、樺太には支廳を、臺灣には支廳を置く。

帝國會議會事堂 (貴族院)



陸軍、海軍、司法、文部、農商務、遞信の九省あり。内閣總理大臣は此等各省の長官たる大臣と共に内閣を組織し、政務を執る。地方行政は、全國を分ちて、三府、四十三縣、北海道、樺太、臺灣とし、府、縣に知事あり、北海道、樺太に長官あり、臺灣に總督ありて、各其地方を治む。近來我國威は、大に海外に發展し、韓國を我保護の下に置き、京城に統監を派して、國務を監督せしめ、清國より關東州を租借し、關東都督を置き、之を治めしむ。

區裁判所は北海道、樺太、各府、縣管下に各數箇あり、地方裁判所は北海道に三箇、樺太、各府、縣に各一箇あり。臺灣には地方法院、覆審法院あり。

兵役の種類は常備、後備、補充、國民の四種に分れ、常備兵役は更に現役、豫備役の二種に分る。一箇師團は通常二箇の歩兵旅團及び一箇砲の騎兵聯隊、野砲兵聯隊、工兵大隊、輜重兵大隊より成る。

司法部。裁判所は訴訟登記等のことを掌り、四階級に分れ、區裁判所及び地方裁判所は各地方に、控訴院は東京外六箇所に置き、最上級の大審院は之を東京に設く。

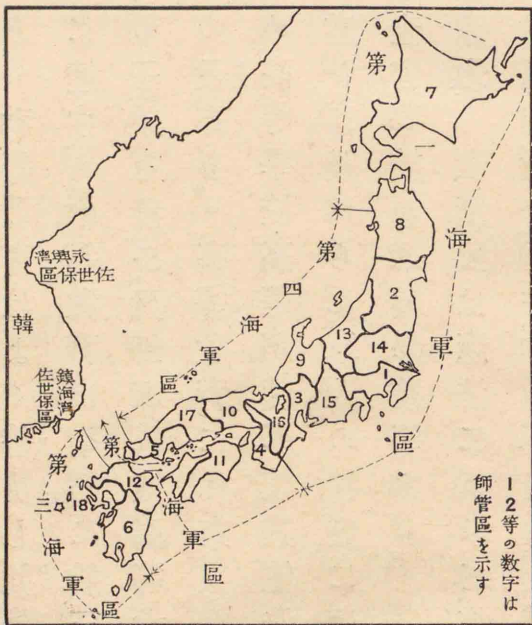
三、財政。我國政府の歳入豫算は、明治四十二年度に於て凡そ五億圓にして、地租、酒稅、海關稅、所得稅、營業稅等の租稅と官業の收入とを主なる財源となす。歳出豫算は同年度に於て同じく凡そ五億圓なり。而して國債費と軍事費とを合すれば、歳出總額の半を過ぐ。

四、兵制。帝國の陸海軍は天皇の統率し給ふ所にして、壯丁は總て兵役に服する義務あり。

陸軍は全國を十八師管に分ちて、之に各一箇師團を置き、外に近衛師團を帝都に置く。別に樺太、臺灣、韓國、南滿洲に兵員を派遣す。

海軍は此他別に關東州の旅順に鎮守府を設け、韓國の鎮海灣、永興灣に佐世保鎮守府より兵員を派遣す。

師管區及海軍區



海軍は全國を四海軍區に分ち、横須賀、吳、佐世保、舞鶴の軍港に鎮守府を設け、之に軍艦及び造兵、造船の工廠を配置し、又竹敷、大湊、澎湖島に要港を設く。

帝國の陸海軍の精銳なることは、明治二十七八年と三十七八年との二大戦役に於て、よく發揮せられ、我國は世界列強の中に數へらるゝに至れり。

五、外交。我國は列強と對等の條約を結び、特にイギリスを同盟國とせり。我條約國は總て二十五國にして、之に大使若

くは公使を派して、外交を修め、又領事を遣はし、主として通商のことを掌らしむ。

三 教育及び宗教

一、教育。 我國の教育制度はよく整ひて、國運進歩の基をなせり。初等教育はよく普及し、就學兒童の割合百分の九十七に達す。中等教育は全國に約三百の中學校ありて、約十萬の子弟を養ひ、又師範學校、高等女學校及び各種の實業學校の設あり。高等教育には東京、京都、東北の三帝國大學を始め、高等學校、高等師範學校、其他法、醫、農、工、商等の専門學校は處々に設けられ、軍人の養成には別に陸海軍の大學校、陸軍士官學校、海軍兵學校等あり。

二、宗教。 我國民は憲法によりて、信教の自由を有す。國民の多數は佛教を信じ、神道、基督教を信ずるもの之に次ぐ。

佛教の中にては眞宗、禪宗、眞言宗、淨土宗、日蓮宗及び天台宗盛なり。

四 産業

一、農業。 我國民の多數は古より農を業とし、米は最北の地方を除く外は、全國の平野に之を産せざる處なく、殊に臺灣は氣候暖きが故に、一年に二回の收穫を得。米に次いで、麥多く、關東平野は殊に其産に富む。南日本の溫暖なる地方には、甘蔗を作り、砂糖を産す。臺灣、琉球等殊に名あり。茶は静岡、三重、京都等より綠茶を、臺灣より烏龍茶を産し、共に重要なる輸出品をなす。

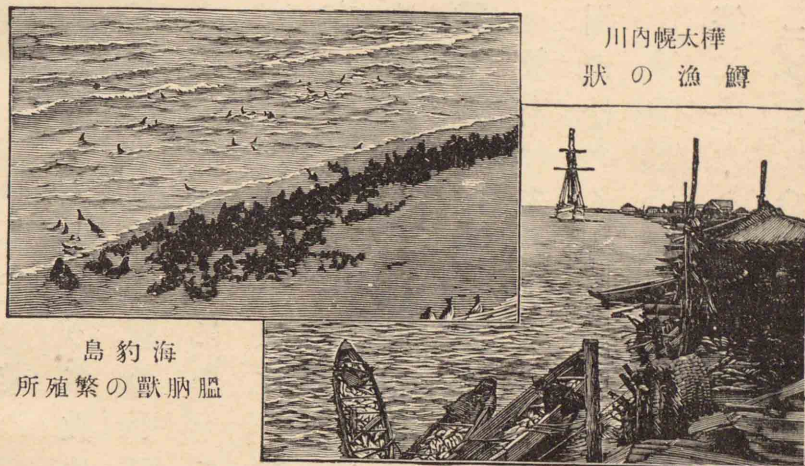
牧畜は未だ盛ならざれど、奥羽、九州には馬を牧し、中國九州には多く牛を産す。

蠶業は中部の長野、山梨、愛知、關東の埼玉、群馬、奥羽の福島等に盛なり。

二、林業。 我國は山嶽の多きと、風土の植物生育に適すると

近年耕地整理漸く行はれ、耕地の面積次第に増加せり。米は北陸、關東、濃尾、近畿、九州西北部及び臺灣に其産出甚だ多し。

日本海流及び其分流に沿へるは、茨城、千葉、静岡、三重、高知、長崎、山口の諸縣なり。



を以て、林産の富甚だ多く、杉と檜とは主要なる木材にして、秋田木曾吉野の森林は、其産を以て最も著る。又北部地方には漆樹多くして、漆液を出し、南部地方には樟と樟とありて、木蠟樟腦を産す。臺灣は世界に於ける樟腦の主産地なり。

三、水産。我近海には暖流寒流各特殊の水産に富み、殊に北海道樺太の近海は世界三大漁場の一と稱せられ、鮭の大群をなして來る處あり。河川には鮭鱒頗る多く、千

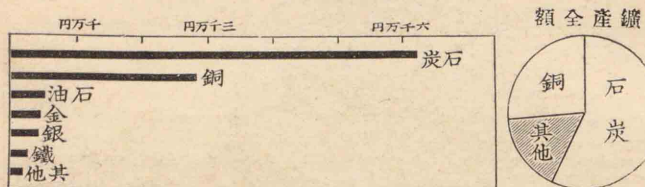
製鹽業は瀬戸内海沿岸に盛なり。

島樺太の近海には又海獸の産あり。日本海流及び其分流に沿へる諸縣には鱈、鯉、鯛の産多し。此等の水産物は食用肥料に供し、又多く清國に輸出せらる。

四、鑛産。我國は到る處鑛産に乏しからず。殊

に奥羽地方は銅、銀、鐵の産全國に冠たり。銅は金屬鑛産中の首位にありて、多く外國に輸出せられ、我國は世界産銅國の一に數へらる。栃木の足尾、秋田の小坂、愛媛の別子は、其最も有名なる鑛山なり。又金は鹿兒島、臺灣に多く出づ。石炭は我國鑛産の第一位を占め、九州の北部は其全産額の約八割を出し、北海道之に次ぎ、内國用の外、又多く海外に輸出す。石油は多く新潟縣に産し、硫黃は各地の火山に産す。

主要鑛産物額比較 (總價約一億一千万圓)

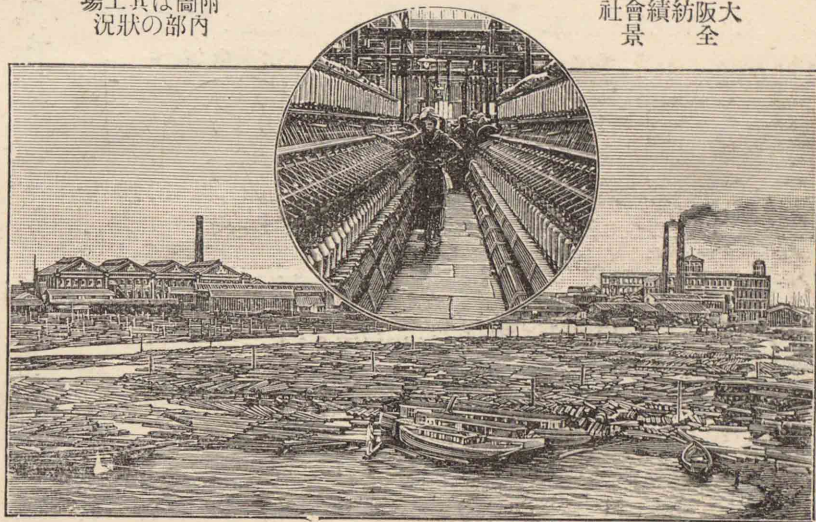


圖は最近三ヶ年の平均額に據りて作れり。(産案の統計圖は以下皆同じ)

京都は美術工藝の中心として、古來其名高し。

大阪紡績社會景

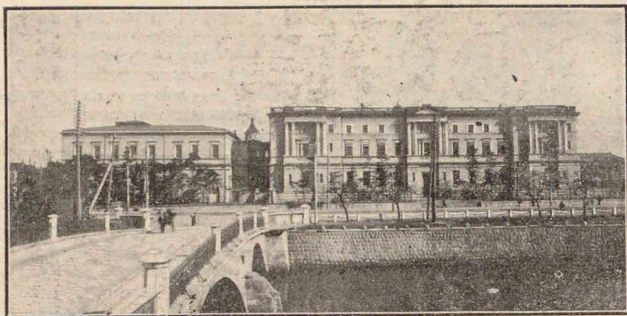
大阪紡績工場其の附屬部内狀況



五、工業。我國は古來小工業を事とし、大規模の工場なかりしも、愛知岐阜京都佐賀等の陶器、和歌山静岡石川京都等の漆器、京都福井群馬の絹織物等有名なるもの少からず。又製絲工業は蠶業の盛なる地方に行はれ、外國貿易の發達に伴ひて、長足の進歩をなし、生絲は我國輸出品の首位を占む。而して大工業の發達し來りたるは、近年のことにして、其最も著しきものを綿絲紡績業とす。大阪地方は

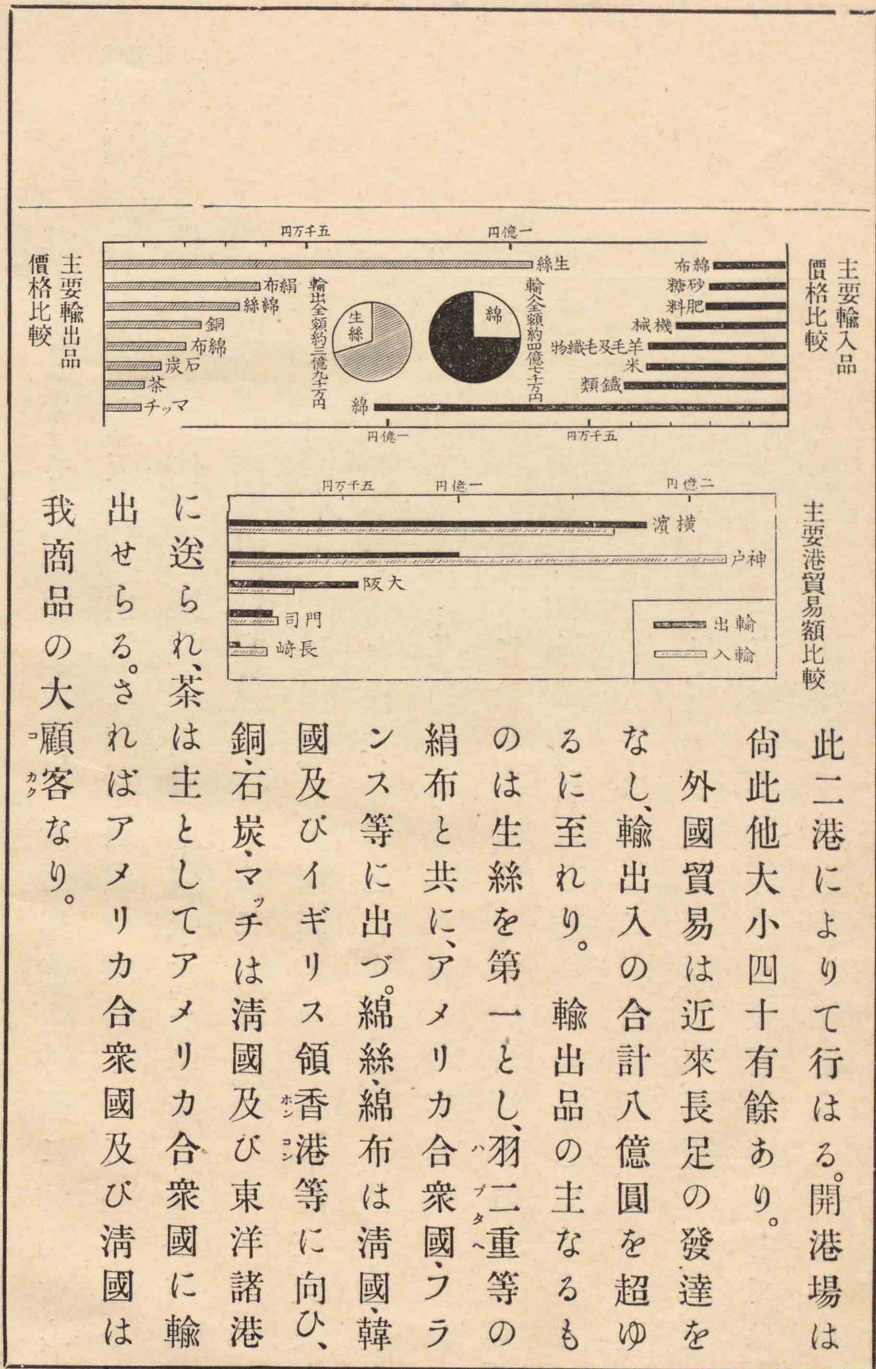
陸海軍の兵器の製作は、東京、大阪、英、横須賀等に盛なり。

日本銀行

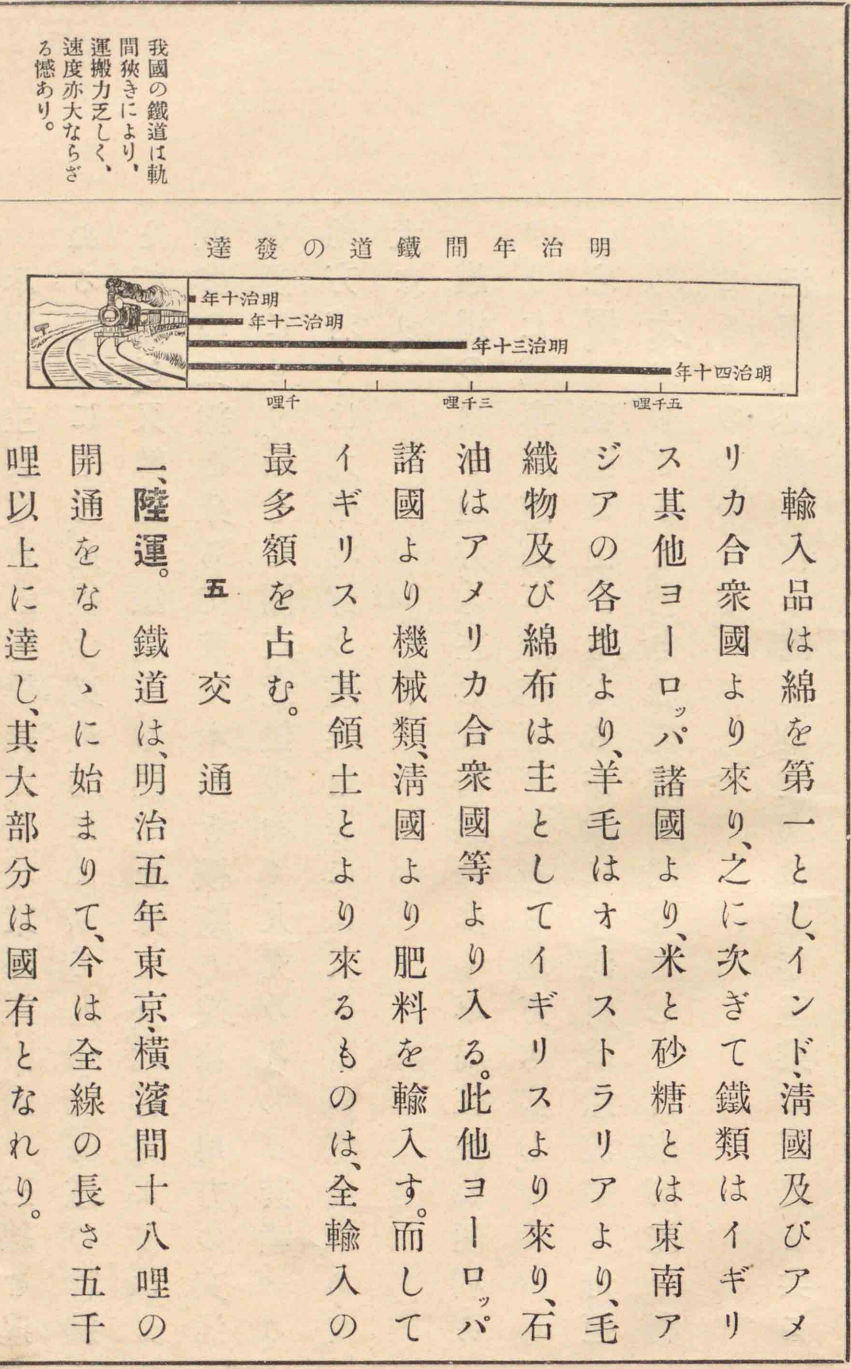


其中心をなせり。其綿絲は多く清國其他の外國に輸出せられ、又愛知大阪和歌山等に綿布製織の原料として盛に之を供給す。其他造船製鐵鐵工、醸造製紙、マッチ製造等の事業も次第に盛なるに至れり。

六、商業。全國商業の中心は古來大阪を推し、今は之に東京を加へ、銀行會社其他商店の大なるもの多く、殊に東京には我國金融の中央機關たる日本銀行あり。猶地方的の中心として著名なるものは、中部に名古屋静岡、中國に廣島下關九州に福岡門司、奥羽に福島北海道に小樽等あり。又貿易港としては横濱神戸最も著れ、輸出入の約七割は



此二港によりて行はる。開港場は尙此他大小四十有餘あり。外國貿易は近來長足の發達をなし、輸出入の合計八億圓を超ゆるに至れり。輸出品の主なるものは生絲を第一とし、羽二重等の絹布と共に、アメリカ合衆國、フランス等に出づ。綿絲綿布は清國、韓國及びイギリス領香港等に向ひ、銅石炭、マツチは清國及び東洋諸港に送られ、茶は主としてアメリカ合衆國に輸出せらる。さればアメリカ合衆國及び清國は我商品の最大顧客なり。



輸入品は綿を第一とし、インド、清國及びアメリカ合衆國より來り、之に次ぎて鐵類はイギリス其他ヨーロッパ諸國より、米と砂糖とは東南アジアの各地より、羊毛はオーストラリアより、毛織物及び綿布は主としてイギリスより來り、石油はアメリカ合衆國等より入る。此他ヨーロッパ諸國より機械類、清國より肥料を輸入す。而してイギリスと其領土とより來るものは、全輸入の最多額を占む。

五 交通

一、陸運。鐵道は、明治五年東京、横濱間十八哩の開通をなし、に始まりて、今は全線の長さ五千哩以上に達し、其大部分は國有となれり。

我國の鐵道は軌間狹きにより、運搬力乏しく、速度亦大ならざる憾あり。

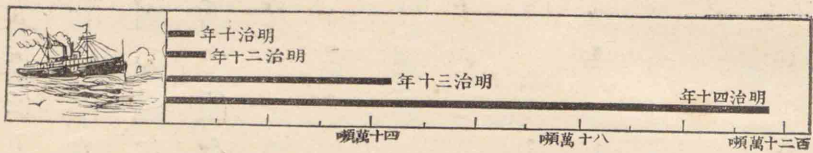
本州の主要なる鐵道幹線は、東北、東海道、山陽の三線を連ぬるものにして、此線は又汽船によりて九州、北海道の幹線と相結び、又韓國の鐵道とも連絡を保てり。此幹線よりは又數多の支線を分ちて、或は本州を横斷し、或は一地方の交通を便にせり。而して關東近畿の如く、人文の著しく發達せる地方若くは九州北部の鑛業地等には、其線路の密度極めて大なり。

鐵道のなき地方も、主なる街道は、多く車馬往來の便利あり。また電車鐵道、馬車鐵道等の設ある地方も多し。

二、水運。 我國は山がちなるが故に、其河川は急流多く、舟運の利大ならざるも、猶自然の好き通路として、古來河流を利用せるもの少からず。

沿海は港灣に富み、海上の交通は、近年産業の振興と共に

明治年間汽船發達の達



著しく發達し、汽船の數、二千二百隻、其噸數、百萬噸を超ゆるに至れり。

日本郵船會社は世界有數の大汽船會社にして、其航路は我國、清、韓、其他東洋諸港の外に、ヨーロッパ、北アメリカ、オーストラリア等に定期航海を營み、大阪商船會社は主として大阪以西の諸港と清、韓諸港、ウラヂボストク竝に北アメリカとの間に航路を開き、而して東洋汽船會社は我國と香港、ハワイ、南北アメリカとの間に定期航路を有せり。

三、通信。 郵便、電信事業はよく整ひ、通信の便なる、今は先進諸國に劣ることなし。多數の海底電信線は、主要なる島嶼は勿論、アジア大陸、アメリカ

無線電信は、主として陸地と航海中の船舶との間に利用せられ近時は其通信距離千裡以上に及べり。

カ大陸にも通じ、海外との音信に不便なく、近時又無線電信も利用せらるゝに至れり。電話も其利用次第に盛にして、全國の重なる都市に交換所の設あり。又相互の間に長距離通話の便をも見る。

第二編 地方誌

第一章 關東地方

我國を分ちて、關東、奥羽、本州中部、北陸、近畿、中國、四國、九州、臺灣、北海道、樺太の十一地方とす。

一、位置、地形。關東地方は本州の東南部にあり。西と北とに

は一帶の山嶽相連りて、關東平野と稱する我國第一の平野を包む。又東と南とは太平洋に面し、丘陵性の房總三浦の兩半島突出して、東京灣を抱き、三浦半島の西には伊豆半島との間に、深き相模灣の彎入するあり。

關東平野の西にあるは關東山脈にして、西北に連るは三國山脈なり。而して東北の海岸に延び來れるは阿武隈山脈

一、位置、巨割
關東八州
一府六縣
關東、不注、南、北、東、西、(二十八回ヲ)
關西、不注、北、西、(三十八回ヲ)
二、地形
三、山脈、箱根山、那須山、赤城山、
利根川、那珂川、荒川、多摩川、
C(海岸)三ツノ森ヨリテ
三、産業、
農業(大豆、小麦、粟)
鉱産(銅)
水産(鮭、鱈、魚、鮒)
工業(製糖、織物)

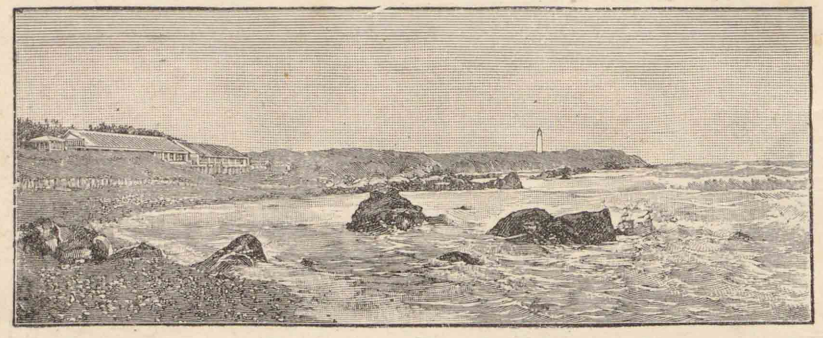
なり。又富士火山脈に屬する箱根山は西南隅に位し、那須火山脈は平野の東北に聳ゆる那須山より延びて、赤城、榛名の諸山を經、淺間山に至る。
二、水系。 河流の主なるものは、いづれも西と北との山中より出でて、東南に流れ、平野の間を過ぎて、海に入る。されば關東平野は大に灌漑の利に富み、土地肥沃にして、田畝相連り、都邑相望む。 河流の最も大なるものは利根川にして、三國山脈より來り、數多の支流を併せて太平洋に注ぐ。此川は關東平野の大動脈にして、舟楫の便甚だ大なり。此他北部には那珂川ありて、太平洋に流れ、南部には荒川、多摩川ありて、東京灣に入り、西南部には相模川ありて、相模灣に注ぐ。 利根川の下流地方には、霞浦、北浦など湖沼多し。
三、海岸。 太平洋の海岸は、利根川の口に近き犬吠岬を挟み

四、都會、分、交通
五、面積、入口
(三万平方キロ)
(一千万人)
帝國、
四分、一
(一平方キロ)
(四百人)

犬吠岬は關東平野東端の岬角をなして、其岬頭には燈臺あり。

關東地方に於ける麥の産額は全國の四分の一以上を占む。

犬 吠 岬



て、南北に大なる弓形を畫き、一帯平沙の海濱にして、殆ど出入なく、南部の方には特に九十九里濱の名あり。相模灣の沿岸も亦沙濱をなす。東京灣岸には出入多く、横濱、横須賀等の良港あり。
四、區劃。 關東地方は一府六縣に分たる。西南部の海岸には東京府、神奈川縣あり。中部には埼玉縣、其北には群馬縣あり。群馬縣の東は栃木縣にして、東北部の地方は茨城縣なり。茨城縣の南に隣りて、房總半島に及ぶ地方を千葉縣とす。
五、産業、交通。 氣候溫和にして、土地肥

鐵道線路の主要なるもの凡そ左の如し。

東海道線

東北線

此兩線は相連絡して本州縦貫の大幹線をなす。

常磐線

東京に起り、東北線と略並行して海岸を北走し終に東北線に合す。

高崎線

信越線

此兩線は相連絡して本州を横断し、日本海岸に出づ。

中央東線

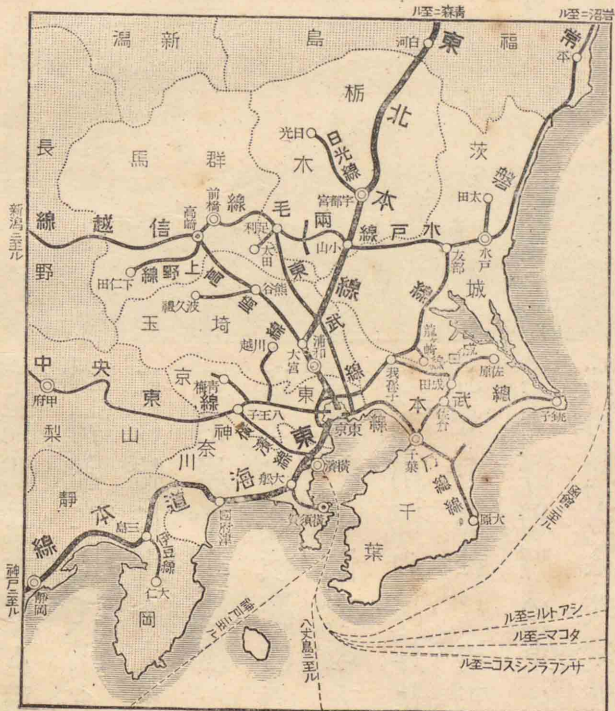
東京に起りて西走し、信越線に合す。

總武線

關東地方東南部の交通に當る。

關東地方東南部の交通に當る。

關東地方の區劃と交通線



沃なれば、農業最も開け、米、麥、大豆の産甚だ多く、埼玉、千葉、茨城の三縣殊に盛なり。煙草の栽培は、栃木縣の東部より茨城縣に亙り、最も盛にして、神奈川縣之に次ぐ。蠶業は群馬、埼玉最も著れ、機業之に伴ひて亦盛なり。近海は水産豊富にして、九十九里濱は有名の漁場なり。商工業は東京市と其附近とに盛に行はる。關東地方は、かくの如く土地よく開

關東地方の面積は本州の七分の一なれど、人口は其四分の一を越え、凡そ一千萬に及ぶ。

市の面積凡そ五方里に及び、之を十五區に分つ。

けたるを以て、住民多く、人口一萬以上の都會四十餘の多きに上る。されば海陸の交通線も、多く此地方に集り、鐵道は東京を中心とし、内外航路は横濱を以て其發著點とす。

一 東京府

管轄 武藏の一部、伊豆諸島、小笠原島

關東山脈は西境に連り、其麓より平野遠く東に延びて、古の武藏野をなせり。河川の主なるものは荒川、多摩川にして、荒川下流の隅田川は、東京市を貫流して、舟楫の便を與へ、多摩川は府の西南部を灌漑し、又東京市に上水を送る。利根川の分流江戸川は、千葉縣との境を通じて、東京灣に入り、亦水運の便あり。

東京市は帝國の首府にして、政治、學藝、軍事の中心をなし、商工業亦盛にして、人口殆ど二百二十萬を有し、東洋第一の大都會をなす。市は東京灣の北岸に位し、市の西半は山、手

東京府
一、位置面積人口
面積、二、三〇、三〇〇、三〇〇
人、三、三〇〇、〇〇〇
二、地形
三、産業

山ノ手は概して紳士の住宅地をなし、下町は専ら商工業の地域をなす。

市に近衛師團及び第一師團の司令部あり。參謀本部、海軍軍令部亦市内にあり。

市の内外には電車鐵道の設備次第に普及し、往來極めて便利なり。

市の特産として淺草海苔、錦繪等古より名あり。

東京帝國大學



學大科工 學大科理 學大科文び及學大科法 館書圖

(圓萬千二約國全) 較比額產類物織毛

東京	大阪	京都	兵庫	其他
100	100	100	100	100

と稱する低き臺地より成り、東半は低地にして、之を下町と云ふ。市の中央に宮城あり。其内外に内閣其他の官省、帝國議會、議事堂、外國大使館、公使館等相連る。西部には兵營多く、北部には東京帝國大學を始め、各種の學校甚だ多し。南部は商業區をなし、東部は其近郊の地と共に種々の工場多し。製造工業の大なるものは、紡織、製紙、機械製造、印刷等にして、其他種々の工藝盛に行はれ、雜貨の産甚だ多し。

徳川氏此市はもと江戸と稱し、徳川氏此

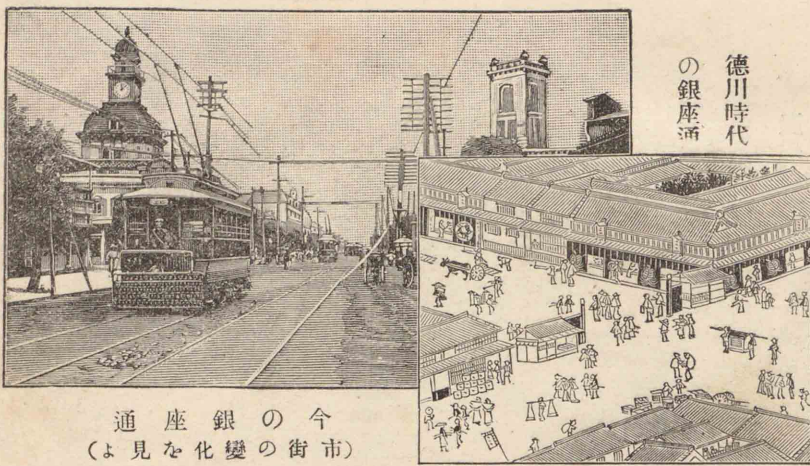
市の近郊には向島、飛鳥山、小金井等櫻花を以て著る、遊覽地あり。

社寺には靖國神社、淺草寺、増上寺の外に日枝神社、神田神社等市民の氏神として名あり。

新橋停車場は東海道線の起點、上野停車場は東北線の起點にして、共に汽車乗客の大吞吐なり。

府の西部には養蠶業盛なり。

八王子よりは横濱に通ずる横濱鐵道あり。

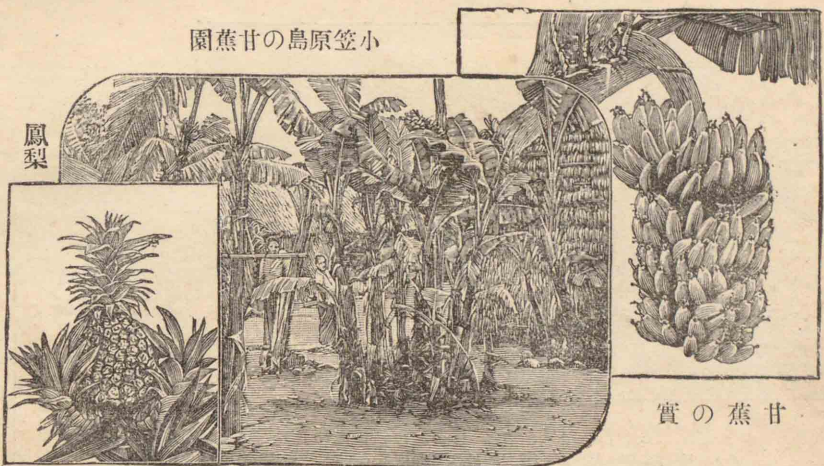


今の銀座の街市(よ見を化變の街市)

處に幕府を置くこと殆ど三百年、其後明治の初めに之を帝都と奠められたり。されば市の内外には名勝舊跡多く、公園には上野淺草、芝日比谷などあり。市は又交通の中心をなし、鐵道四方に通じて、東海道線、東北線、常磐線、中央線等の幹線を始として、總武線、東武線の如く近縣に通ずるものなり。

中央東線により西に進めば、八王子、人口ありて、多く絹織物を産す。鐵道は更に西の方小佛峠を越え、

大島には波浮の火口港あり。
 小笠原島には、ヨーロッパ人の歸化せるものの子孫少からず。
 太平洋海底電信線は東京より來り、二見港を経て、遠く南方のグアム島に至り、遂にアメリカ合衆國に達す。



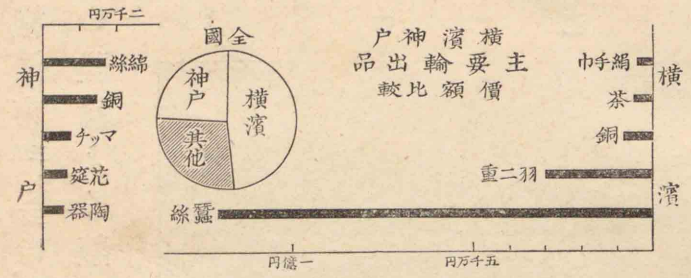
小笠原島の甘蔗園

甘蔗の實

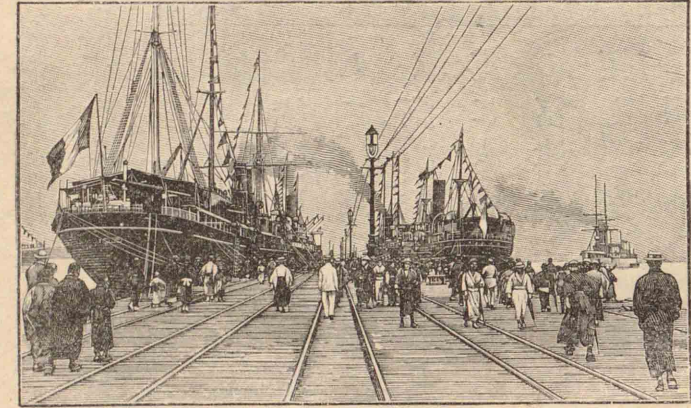
神奈川縣を経て、山梨縣に向ふ。
 東京府に屬する島嶼には、太平洋中にある伊豆諸島、小笠原島、硫黃島及び此等より遙に東南に離れたる南鳥島などありて、南鳥島の外はいづれも火山島なり。伊豆諸島の、大島には、三原山の活火山あり。八丈島には絹織物と椿油とを産す。小笠原諸島は遙に南方にあるを以て、氣候暖なれば、多く砂糖を産し、又甘蔗鳳梨、海龜等の産あり。諸島中父島の二見港は、近海唯一の良港をなす。

縣下落花生の産多し。

横濱市は東京を距ること約八里にありて、我國第四の大都會なり。市には、輸出向の絹手巾及び陶磁器の製造盛なり。



横濱港の棧橋



二 神奈川縣

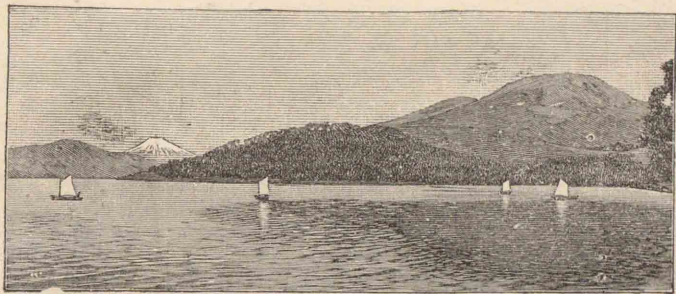
管轄 武藏の一部 相模全部

西方に箱根山ありて、山嶽之より東北に連り、大山は縣の中央に聳ゆ。此等の山地より東南は、廣き平野にして、相模川(馬入川)は其中を南に流れて相模灣に注ぐ。平野の東南部には三浦半島突出し、東京灣岸には良港多し。大山の麓には秦野煙草を産し、沿海には漁産多し。縣廳の所在地たる

一、商賈人、
 二、三三〇千五百
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

市は在留外國人の多きこと我國第一に位す。横濱は五十年前までは一漁村に過ぎざりしが、外國との通商開かれてより、港市忽ち興れり。横須賀には海軍機關學校あり。浦賀の南に隣れる久里濱は、我開國前アメリカ合衆國の使節ベリが始めて上陸せし處なり。

湖の蘆



横濱市^{三九三〇}は、東京灣の西岸に位し、東京市の門戸をなす。港の設備よく整ひ、壯大なる防波堤及び棧橋、船渠等ありて、我國第一の開港場たり。生絲と羽二重とは其主要なる輸出品なり。横濱の南には横須賀市^{六二〇}あり。軍港にして、海軍鎮守府を置き、其工廠の設備よく整ひ、艦艇の製造盛なり。其南なる浦賀港にも船渠の設あり。觀音崎は房總半島の富津洲と斜に相近づきて、東京灣口を扼し、要塞の備甚だ嚴なり。相模灣の沿岸には名勝多く、殊に鎌倉は源頼朝の幕府を開きたる所にして、鶴岡八幡宮、鎌倉宮を始め、圓覺寺、建長寺等

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

箱根山中の温泉場として、湯本、塔、澤、宮、下殊に著れ、噴氣孔中には大涌谷最も著し。

史蹟甚だ多く、逗子、大磯、小田原^{人口}と共に避暑、避寒の地として聞え、西境の箱根山には温泉、噴氣孔多く、山中の蘆湖は風景を以て名高し。鐵道東海道線は横濱より西に向ひ、支線を分ちて、鎌倉、横須賀に至り、本線は相模灣の北岸を走り、國府津より酒匂川に沿ひ、箱根山の北を回りにて、静岡縣に入る。

三 埼玉縣 管轄 武藏の一部

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

箱根山は關東平野の咽喉に當り要害の地として知られ、昔は蘆ノ湖畔に關所を設け、行旅を點檢したりき。

西半の秩父地方は山がちにして、其中に大宮の盆地あり。東半は平野遠く連り、荒川其中を流れて、其下流は隅田川となる。又利根川及び其分流江戸川は、縣の東境を流れ、水運の利甚だ大なり。平野は豊沃にして、麥の産多し。養蠶機業亦甚だ盛にして、繭、絹布、綿布の産多し。縣の南部なる浦和は縣廳所在地なり。

鐵道は幹線の外に、支線上武線ありて熊谷より分かれて秩父地方に向ひ、又東北線を横切りて縣の東部を走れる東武線あり。

鐵道東北線は東京より來りて、浦和を過ぎ、其北方大宮に至りて、高崎線を分つ。大宮には鐵道工場あり、又氷川神社ありて、武藏一の宮と稱す。高崎線上の熊谷は蠶業の中心をなす。秩父地方も亦蠶業盛にして秩父絹の産あり。浦和の西北、平野の中に川越人口あり、二子織ヲ子織を出し、又附近より甘藷を産す。

四 千葉縣

管轄 安房、上總全部
下總の大部

北半は平野にして、南半は丘陵性の半島より成る。平野の北には利根川の本流、略茨城縣との境を流れ、其分流江戸川は西境をなす。平野の中には森林、原野多く、湖沼亦少からず。原野の中に、習志野は練兵場として名高く、其附近に兵營多し。湖沼は印旛沼ナラシ、沼手賀沼其大なるものにして、魚鳥の産あり。海濱、河岸の地は、土地殊に低平なり。縣下米の産多

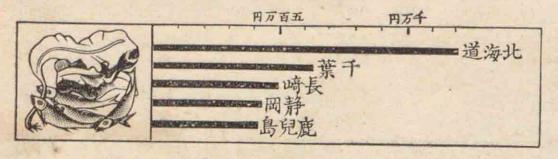
千葉縣
地形
北武野 森林 京野
利根川 (三ノヤ)
印旛沼
沼
南 新三ノ山
新山
巴海岸
天東岬一ノ大岬 (六十ナロ)

二、気候、湿度

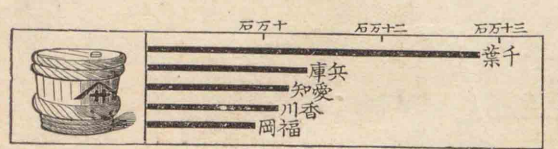
三、主な産業
生魚、水産
製菓、菓子
曲、醸造、酒類
四、交通、郡令
親水、水産
兩國橋

佐倉の附近には炭の産多し。世に佐倉炭と稱するもの、これなり。
銚子には無線電信局の設あり。

(圓萬百二千九約國全) 較比額産物産水



(石萬百二約國全) 較比額造醸油醬

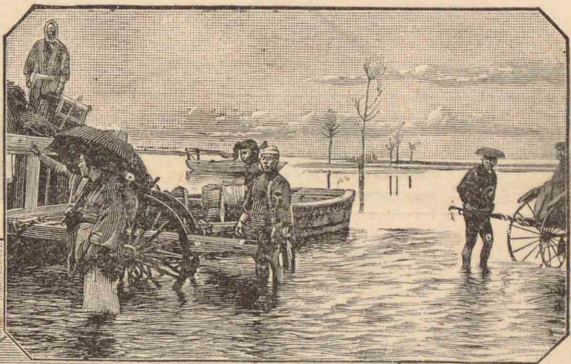


きこと關東第一に位す。

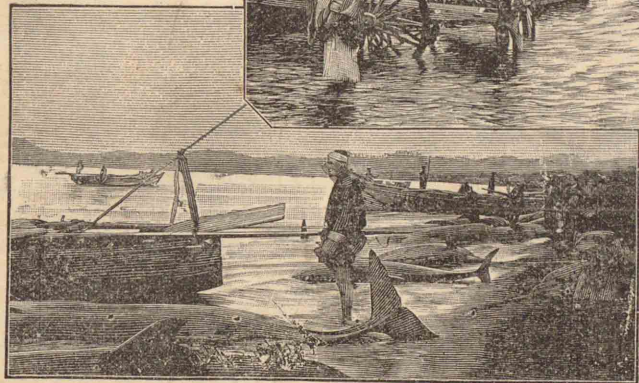
犬吠岬より西南大東岬に到る間、九十九里濱は有名なる鰹の漁場にして、縣下又鰹、鯖、鮪の産多く、從て本縣水産の總額は、北海道に次ぎて多し。

東京灣岸の千葉人口には縣廳醫學專門學校あり。東京より來れる鐵道總武線は此地を過ぎ、佐倉を経て銚子に至る。銚子人口は利根川の口にある商港なれど、港口險惡にして大船の出入に便ならず。此地鰹節の産多し。佐倉の東北に不動堂を以て有名なる成田あり。利根川の岸なる佐

香取神宮には經津主神を祀る。江戸川に沿へる國府臺は、後北條氏と里見氏との古戰場として著る。



木更津海岸
木更津港は、海岸遠淺にして、上陸の不便なること圖の如し。



館山の漁獵
館山は好避泊港にして、漁業亦盛なり。

原の東には香取神宮あり。利根川江戸川沿岸の地は、醸造業の盛なる所にして、野田、銚子は醤油、流山は味淋にて名高く、此等の産額は全國に冠たり。縣の南部房總半島は丘陵起伏し、鋸山殊に著る。半島の南端を野島崎といひ、有名なる燈臺あり。富津洲は西岸に突出し、附近に海堡を設く。木更津、北條館山は海岸の名邑なり。半島

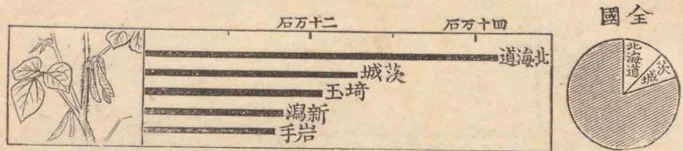
茨城縣
筑波山の北方には花崗石を産分し、阿武隈山脈の南端には大理石を産す。又縣の北部地方よりは多く石炭を出す。
霞ヶ浦は我國第一の大湖にして、灌溉、水産、交通の利少からず。
大豆 二十五万石
小麦 二百五十万石

の南部沿岸の地は、氣候溫暖にして良好なる保養地をなす。

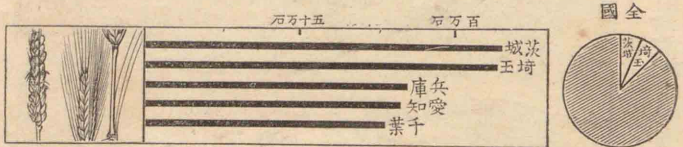
五 茨城縣

管轄 下總の一部 常陸全部

(石萬千二約國全) 較比額産麥

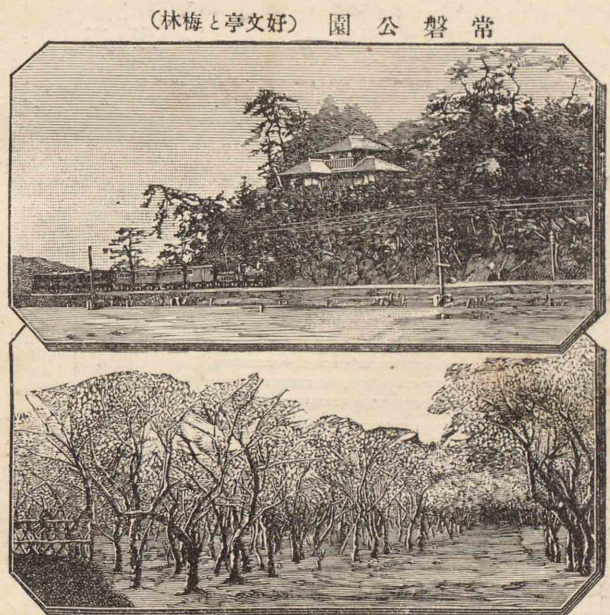


(石萬十五百三約國全) 較比額産豆大



阿武隈山脈は奥羽地方より延び來りて、縣の北部を占め、西境には八溝山脈連り、其餘脈遠く南方に延び、其平野に盡くる處に筑波山屹立す。久慈川、那珂川は此等の山地の間を流れて、共に太平洋に入る。其流域には煙草の産あり。中部以南は、千葉縣の北部に連れる平野にして、霞ヶ浦、北浦等湖沼に富み、其水利根川に通じて、水運、灌溉の便あり。土地豊沃にして、麥の産我國

1. 水戸線
 2. 常磐線
 3. 常磐公園等
 4. 常磐線沿ひに
 5. 常磐線沿ひに
 6. 常磐線沿ひに
 7. 常磐線沿ひに
 8. 常磐線沿ひに
 9. 常磐線沿ひに
 10. 常磐線沿ひに



常磐公園 (好文亭と梅林)

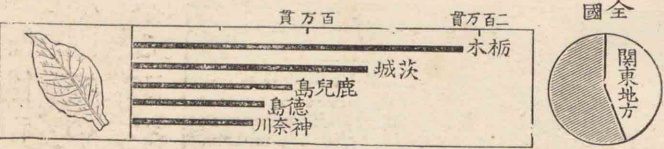
鐵道常磐線は東京より來りて、此地を過ぎ、海岸に沿ひて福島縣に入る。又水戸より太田線に分つ。常磐線に沿ひ、南部に石岡、土浦あり。共に醸造業を以て知られ、土浦は又霞浦の一

第二に位し、其他大豆、蕎麥の産あり。海岸は出入なく、殊に南半の鹿島浦沿岸は、砂濱長く弓形をなし、其沿海は鯉、鯉等の漁利多く、鯉節の産を以て著る。
 水戸市人口は縣の中央、那珂川の岸に位し、縣廳所在地にして、昔は徳川氏の親藩居城の地たりし處なり。

湊町附近の大洗
 岬は風景壯絶なり。
 鹿島神宮には武
 靈槌神を祀る。

那須山の南麓に
 は那須野の草野
 あり。近時開墾
 其歩を進め耕地
 次第に増加せ
 り。

葉煙草産額比較 (全國約二千二百萬貫)



要津をなす。友部よりは水戸線を分ち、下館、結城等の名邑を経て、栃木縣に入り、小山に於て東北線に會す。結城は結城細の産を以て名あり。水戸の北方には太田あり。又鹿島に鹿島神宮あり。

六 栃木縣 管轄 下野全部

西部より北境に互りて、山嶽重疊し、多くは火山にして、日光火山の主峯男體山を始として、高原山、那須山等其名著る。關東平野は縣下に彎入して、鬼怒川、那珂川等は其中を南流し、那珂川の沿岸には、煙草の産極めて多く、又中部の平野には大麻、于瓢を産し、南部には養蠶、機業盛なり。宇都宮市人口は縣廳の所在地にして、附近に第

那須山(那須郡)
白根山(那須郡)
三山(那須郡)
足利には足利學校の舊蹟あり。

東部なる那珂川流域の都邑には、大田原、喜連川あり。又宇都宮の東南にある置岡は木綿を産す。

足尾銅山は古來有名なる銅坑に於て、其産額は秋田縣の小坂に次ぎて我國第二位に在す。

足尾銅山

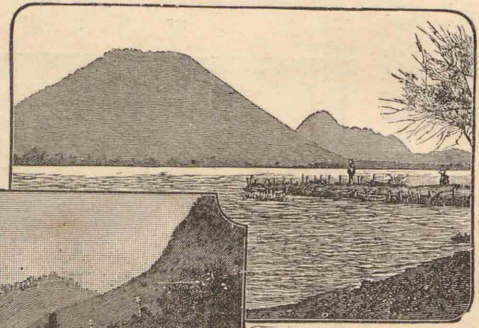


十四師團司令部あり。鐵道東北線は縣下に入り、小山に於て、水戸、兩毛の二線を併せ、宇都宮を過ぎ、那須野を経て、福島縣に入る。兩毛線に沿へる栃木人口はは、繭生絲の集散地にして、足利人口はは有名なる絹織物の産地をなす。

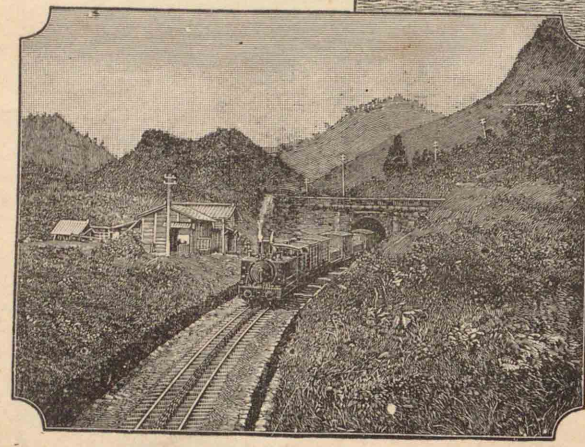
宇都宮より、日光線をたどれば、鹿沼あり。大麻産地の中心をなす。日光山には、風光の秀絶なる中禪寺湖、華嚴瀧等あり、又建築の華麗なる東照宮ありて、其名天下に高し。日光の西南足尾人口はには、大なる銅山あり。北方の山中には、

銅一足虎
赤城、榛名、妙義を三野の三山と稱す。

縣の西境にある白根山の東麓にも有名なる草津温泉あり。



榛名富士と榛名湖
榛名湖は火口湖にして、榛名富士は火口丘なり。



鹽原、那須等有名なる温泉多し。
アプト式鐵道

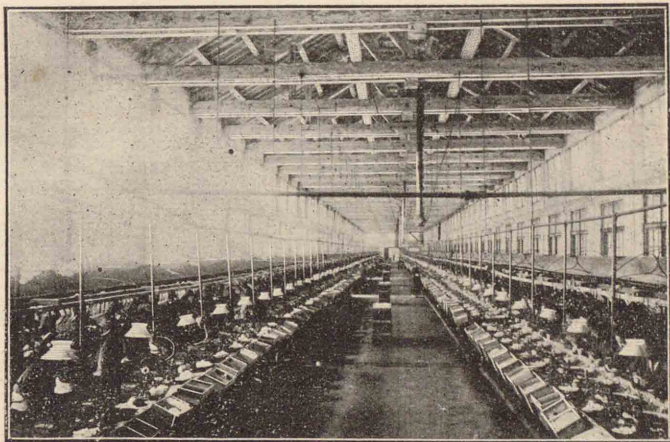
七 群馬縣 管轄 上野全部

縣の三面は山に包まれ、唯東南の一面のみ平坦なり。赤城、榛名、兩火山は縣の中部に對峙し、殊に榛名は風光の美を以て知られ、有名な伊香保温泉あり。西南部の妙義山亦奇巖の勝あり。利根川は縣の中央を南流して、平原に出づ。縣下一般に養蠶、製絲の業極めて盛なり。

碓氷峠には二十
六箇の隧道あ
り。

桐生は絹織物の
産關東に冠た
り。

富岡製絲場の内部



ば、沿道に機業地多く伊勢・碓氷峠は絹織物の産關東に冠たり。だ多し。

前橋市人口は平野の中にありて、利根川に沿ひ、縣廳所在地にして、繭生絲の市場をなす。西南の高崎市人口は鐵道交通の要點にして、信越線は之より西に及び、アプト式軌道と數多の隧道とを有せる碓氷峠の險を上りて、長野縣に出で、上野線亦此地より西南に向ひ、其沿道の富岡には著名なる製絲場あり。

前橋より兩毛線を東に進め

第二章 奥羽地方

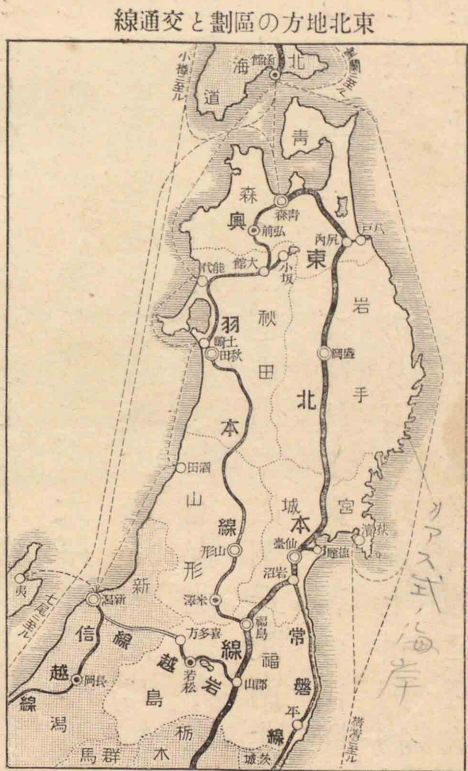
一、位置。本州の東北部を占め、東は太平洋に、西は日本海に臨み、北は津輕海峽を隔てて、北海道本島に對す。

二、地形、水系、交通。脊梁山脈は、中央を南北に走りて、太平洋と日本海との分水嶺をなし、山脈中の高峯は、多くは火山にして、那須火山脈に屬す。太平洋岸には、南に阿武隈山脈、北に北上山脈ありて、脊梁山脈との間に、細長き平原を挟み、阿武隈川、北上川之を灌ぎ、鐵道東北線亦之に沿うて走る。

日本海岸には、越後山脈、出羽丘陵、南北に連り、鳥海火山脈の火山之に沿うて噴起し、此一帯の山脈と脊梁山脈との間には、數箇の盆地あり。阿賀川、最上川、御物川、能代川等其水を集めて、日本海に入る。鐵道奥羽線は、阿武隈川の谷より、脊梁

那須火山脈に屬するものは、磐梯山、吾妻山、藏王山、岩手山、八甲田山等なり。

鳥海火山脈には鳥海山、月山等の高峯あり。



日本海岸には砂丘の發達著し。

卷灣を、西に男鹿半島の八郎潟を擁する外は、大なる出入なく、太平洋岸には岬灣出入して、鋸齒の如き所あり。日本海岸は一般に出入極めて少し。

四、區劃。行政上六縣に分たる。南端に福島縣あり。其北方太平洋岸に宮城縣岩手縣あり。日本海岸には山形、秋田の二縣

山脈を越え、此等の盆地の間を貫きて走る。
三、海岸。海岸は、北に下北、津輕の二半島突出して、陸奥灣を抱き、東に牡鹿半島の石

東北地方の面積は本州島の七分の二に餘れど、人口は其七分の一に満たずして、凡そ五百萬に過ぎず。

あり。而して北端には青森縣あり。

此地方は北海道樺太に次ぎ、我國中人口稀薄なる所にし。就中岩手縣最も甚し。從て都市亦多からず。

五、産業。産業は農業を主とし、又福島、山形二縣は蠶業盛にして、太平洋岸の四縣は多く馬を産す。鑛産は秋田、岩手に盛にして、殊に秋田の銅、銀及び岩手の鐵は我國第一に位す。北部の三縣は林産と苹果とを以て知られ、太平洋岸は水産に富みて、金華山沖には海獸の獵場あり。

一 福島縣

管轄 磐城の大部 岩代全部

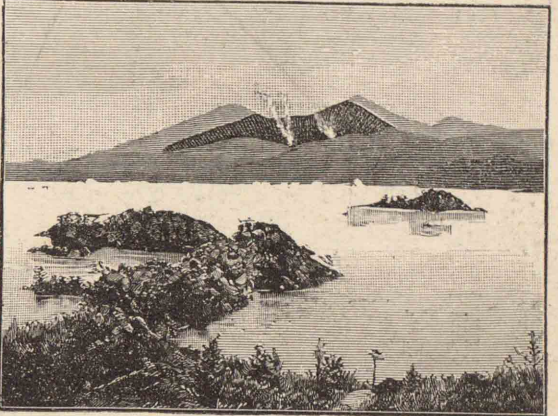
東部には高臺性の阿武隈山脈あり。中部には吾妻山、磐梯山等の活火山聳ゆ。磐梯山の麓には湖水多く、其南麓の猪苗代湖最も大なり。此兩高地の間には、阿武隈川南より北に流れ、其沿岸の平野には養蠶、牧馬盛にして、市邑多し。

白河の附近には古關の址あり。白河の西方に軍馬の牧場あり。

磐梯火山は明治二十一年の大破裂を以て有名なり。檜原湖は其後山麓に生ぜし湖の大なるものなり。

川俣の東北には靈山の史蹟あり。

湖原檜と山梯磐



白河は古來奥羽の門戸をなし、馬市を以て名高し。郡山と二本松とは共に製絲業盛なり。福島市は縣廳の所在地にして、又繭生絲の市場をなせり。奥羽線は此地より分れて、山形縣に向ふ。福島、東南川俣は盛に羽二重を産し、我國主産地の一たり。三春は馬を以て著る。

平附近の炭田は茨城縣に續きて常磐炭田の稱あり。

阿武隈山脈東麓の海岸は、鐵道常磐線の通ずる所にして、平附近には多く石炭を出し、中村には相馬燒の産あり。

縣の西半は、山嶽多く、會津盆地其中に横はる。阿賀川は其衆水を集め、越後に入る。盆地中にある若松市には若松城

阿武隈山脈東麓の海岸は、鐵道常磐線の通ずる所にして、平附近には多く石炭を出し、中村には相馬燒の産あり。

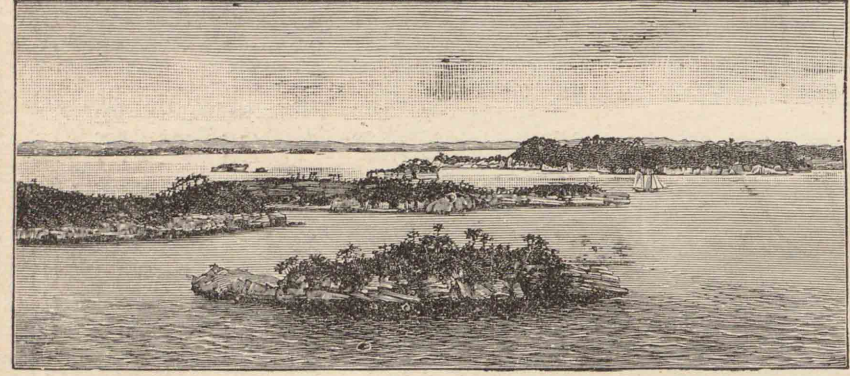
縣の西半は、山嶽多く、會津盆地其中に横はる。阿賀川は其衆水を集め、越後に入る。盆地中にある若松市には若松城

喜多方には漆器を産す。其北方には加納鑛山あり。銅鑛を出す。

牡鹿半島の南端に近き金華山島には燈臺あり。其附近は鮭の漁場にして、遂に東の沖に出づれば、鯨、臘胸獸を得べし。

北上川の支流なる江合川の上流鍛冶谷澤に軍馬の牧場あり。

松島



址あり。市に漆器を産し、又其附近より陶器を出す。鐵道岩越線は郡山に於て、東北本線と分れ、若松を経て、喜多方に至る。

ニ 宮城縣

管轄 磐城の陸前の一部

西境の脊梁山脈には藏王山、駒嶽等聳え、又東には北上山脈延びて、遂に牡鹿半島となる。

東西兩山脈の間は、平野開けて、北上川の下流之を灌ぎ、又湖沼に富む。此平野は猶南に延びて、阿武隈川下流の地に連り、土地肥沃にして、米を産す。松島灣は此海岸に彎入して、大

宮城、岩手、西
地形ノ山
水

大海岸

二産業

仙臺市

鹽釜

仙臺平

岩手

岩手

岩手

岩手

岩手

岩手

三、三、三

盛岡、岩手、苹果

小幾多の島嶼其中に散在し、風景の美を以て稱せらる。鐵道東北線は阿武隈川の口に近き岩沼に於て、常磐線を併せ、北進して仙臺に入る。

仙臺市人口は奥羽第一の都會にして、縣廳第二師團司令部、

控訴院あり。又東北帝國大學其他各種の高等の學校あり。仙臺平、埋木細工の名産世に知らる。鹽釜は松島灣の岸にある港市にして、鐵道の支線を通ず。北上川の口には、石巻、二〇の

港市あれど、大船を寄する能はず。されば大船は牡鹿半島の萩濱に寄港す。

三 岩手縣 管轄 陸前、陸奥の各一部

東半は北上山脈之を占め、其高峯を早池峯といふ。又西境には脊梁山脈連亘し、岩手山之に接して高く聳ゆ。北上川は此兩山脈の間を南に流れ、馬淵川は北に向ふ。沿岸の平野

は耕作未だ普からず、牧馬よく行はる。

鐵道東北線は此平野を縦走し、一關は南端の門戸をなす。町の北方に平泉の史蹟ありて、中尊寺は今猶當年榮華の名残を留む。之より、水澤、黒澤、尻等を経て、

海岸地方は北上山脈の支脈、直に海中に突出し、其間に大船渡、釜石、宮古等數多の良灣を造れ

は耕作未だ普からず、牧馬よく行はる。

鐵道東北線は此平野を縦走し、一關は南端の門戸をなす。町の北方に平泉の史蹟ありて、中尊寺は今猶當年榮華の名残を留む。之より、水澤、黒澤、尻等を経て、

海岸地方は北上山脈の支脈、直に海中に突出し、其間に大船渡、釜石、宮古等數多の良灣を造れ

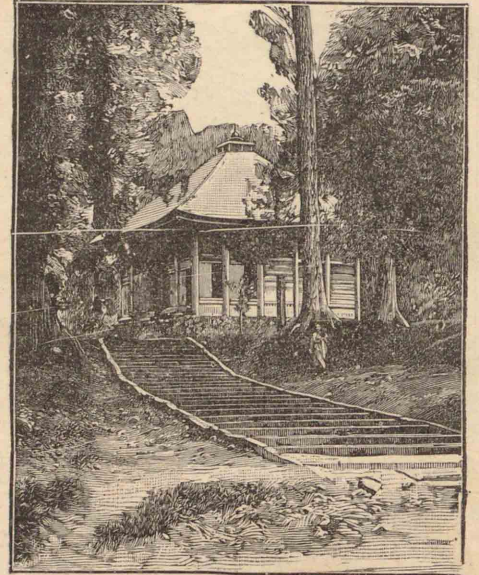
農産には種、馬鈴薯等多し。

中尊寺の金色堂は藤原時代建築の標本として著名なり。

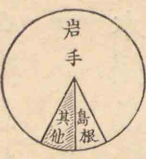
水澤には臨時緯度観測所あり。黒澤尻附近の六原野に軍馬の牧場あり。

近海には鮪、鮑、烏賊等の産あり。

中尊寺の金色堂



全國の鐵産額と本縣の産額



全國約千四百萬貫

盛岡に至る。盛岡市人口は縣治の中心にして、鐵瓶を産す。又高等農林學校を置かれ、附近の地には苹果を産す。

海岸地方は北上山脈の支脈、直に海中に突出し、其間に大船渡、釜石、宮古等數多の良灣を造れ

縣下金石鑛山の外、西部に仙人鐵山あり。縣下の鐵産額は、我國第一なり。

陸奥灣は南部に夏泊崎突出して、青森、野邊地の二支灣をなす。

津輕半島には羅漢柏の良材を産す。

岩木山は一に津輕富士の名あり。

東部の海岸には小河原沼、南部の山間には十和田湖、西部の海岸には十三湯あり。中にも十和田湖は風景の美

を以て著れ、又鱒を産す。青森市は東京を距ること約百九十里。

陸奥灣の東南岸に野邊地港あり。

男鹿半島には寒風火山あり。半島の沿岸は風景の美なるを以て著る。

り。されどいづれも其後方に險しき山を負へるが故に、内地との交通に便ならず。釜石鑛山は鐵の産出極めて多し。

四 青森縣 管轄 陸奥の大部

岩木山を東方より望む



本州島の東北端に位し、三面海に臨み、下北津輕の兩半島は、北に斗出して、其間に陸奥灣を抱く。那須火山脈は縣の中部に八甲田山を、下北半島に恐山を起せり。西方津輕平野の中には別に岩木火山あり。東部の平原は、牧馬最も盛にして、三本木に軍馬育成所、七戸に國立の牧場あり。津輕平野は岩木川の灌ぐ所にして、米を産し又蘋果の産極めて多し。

青森市は東京を距ること約百九十里。

全國の蘋果産額と本縣及び北海道の産額



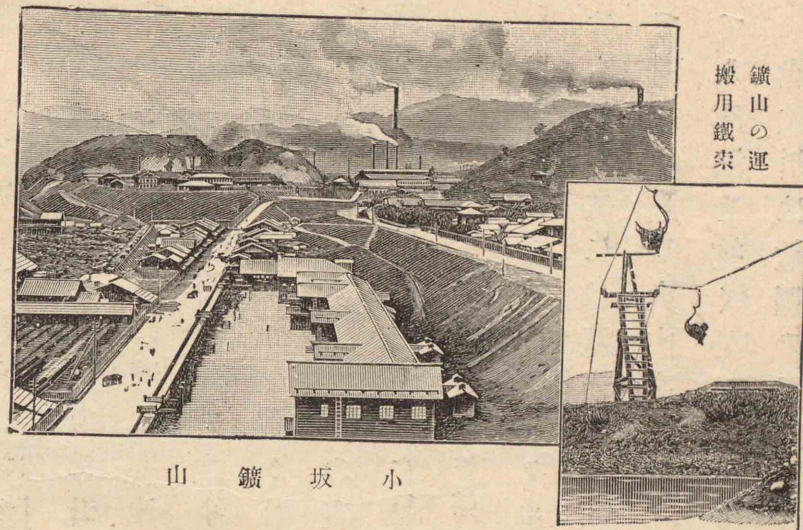
全國約六百十五萬貫

縣の東南部馬淵川下流には八戸の市邑あり。

五 秋田縣 管轄 陸奥の中部

青森市人口は陸奥灣の西南岸にありて、縣廳の所在地なり。東北奥羽兩鐵道線の終點をなし、北海道に渡る要津にして、開港場たり。弘前市人口は津輕平野の中央にある舊城市にして、第八師團司令部を置かれ、又津輕塗、木通細工の産あり。大湊は陸奥灣の東北隅にありて、海軍要港をなす。縣の東南部馬淵川下流には八戸の市邑あり。


東境には脊梁山脈長く連り、南北二面亦山嶽によりて境せられ、中央には森吉火山あり、日本海岸には出羽丘陵ありて、南端に鳥海火山高く峙てり。海岸線は男鹿半島の突出して、八郎潟を抱く外は、極めて平滑なり。能代川は數個の盆地を貫きて縣の北部を流れ、其流域に




礦山の運搬用鐵索

小坂礦山

(斤萬百三千六約國全) 較比額産銅

	秋田	栃木	愛媛	岡山	其他
---	----	----	----	----	----

(貫千三萬二約國全) 額比額産銀

	秋田	兵庫	岐阜	鳥根	其他
---	----	----	----	----	----

又春慶塗を産す。其北方には椿礦山あり。銀の産多し。

は鑛山甚だ多く小坂は銅銀の産極めて多し。尾去澤阿仁は共に銅を産す。又此地方の山林は多く杉を産し、河口の能代港にて、製材して之を積出す。能代には

御物川上流の盆地には、横手、大曲等の都邑あり。秋田には露の産あり。

中部以南は主として御物川の流域にして、其上流地方には院内銀山あり。下流には縣治の中心秋田市ありて、絹織物を産す。市に近く河口に土崎港あり。冬季は碇泊に便ならざるを以て、船舶は男鹿半島の船川港を以て之に代ふ。秋田市の東南に荒川銅山あり。鐵道奥羽線は山形縣より來り、略御物能代の二川に沿ひて、青森縣に出づ。

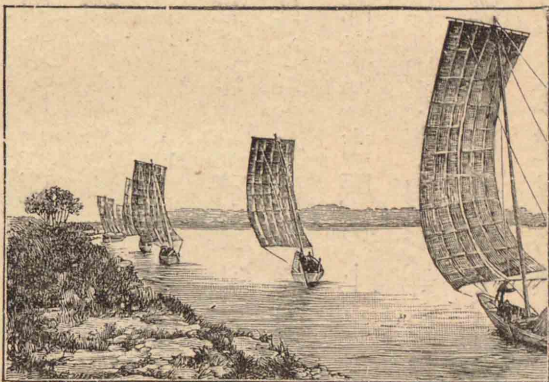
六 山形縣

管轄 羽後の一部 羽前全部

東境には脊梁山脈連り、藏王山其上に聳ゆ。西部も亦山脈連互して、北に烏海山あり、其南に月山あり。朝日嶽飯豊山等の高峯此山脈の上に聳えて、福島縣の境に及ぶ。兩山脈の間には、米澤山形等の盆地南北に並列し、最上川之を貫きて北流し、西に折れて、日本海に入る。其下流に沿ひ、庄内の平野あり。鐵道奥羽線は、福島より板谷峠を越えて、米澤に出で、

近々米澤市に高等工業學校設けられんとす。

最上川



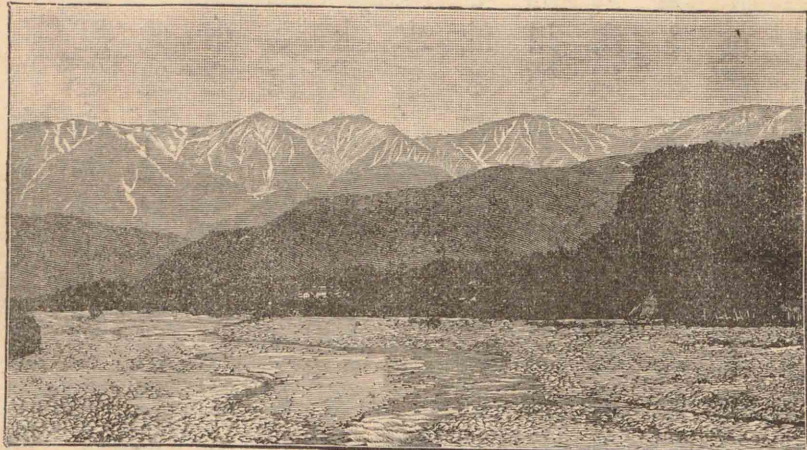
北に向ひ、諸盆地を貫きて、秋田縣に入る。
米澤市^{人口}は蠶業の中心をなし、又絹織物を産し、米澤織の名世に高し。山形市^{人口}は縣廳所在地にして、其附近に薄荷を産す。庄内平野は豊沃にして、米を産し。鶴岡^{人口}は其地方の中心をなす。酒田^{人口}港^{人口}は最上川の口にある要津にして、米を集散す。

第三章 本州中部地方

一、位置。東は關東に、西は近畿に、北は北陸に界し、又南は太平洋に面し、本州の中部に廣き地域を占む。

飛驒山脈は日本アルプスの稱あり。

白馬嶽 釋師嶽 鐘嶽



飛驒山脈の北部を東方より望む

二、地形。此地方は南彎、北彎兩山系の相會する所にして、北彎山系は關東山脈をなし、南彎山系は高大なる數條の山脈となりて横はる。即ち此地方の中央に於て、略南北に走れる飛驒山脈は本州第一の高山脈をなし、飛驒山地其西に連る。飛驒山脈の東南には木曾、赤石の兩山脈並び走り、殊に赤石山脈は其高さ飛驒山脈と伯仲し、其餘脈は西南に延びて、太平洋岸に渥美半島を造り、更に志摩半島に現

れ、紀伊山脈に連る。又西方近畿との境には、鈴鹿山脈笠置山脈等あり。

淺間山は近く明治四十二年十二月大に噴火せり。

此地方は最も火山に富み、南北兩山系の間には、富士火山脈南北に走り、天城山、富士山、八嶽、立科山、飯綱山等の火山を噴き出し、又關東の境には、淺間山の活火山を起し、飛驒山脈の上には、御嶽、乗鞍嶽等峙ち、北陸との境には、白山あり。

三、水系。主なる河川は中央高地より出でて、南北の兩斜面を流る。即ち日本海斜面には我國第一の大河信濃川及び神通川等あり。太平洋斜面には富士、大井、天龍、木曾の諸川あり。

駿河灣と伊勢海との間は、海岸平直にして、屈曲なく、其海面を遠州灘と稱す。

四、海岸。東に駿河灣あり、伊豆半島は其東に突出して、相模灣との界をなし、西には伊勢海灣入して、知多、渥美の二半島其東に横はり、別に支灣、三河灣を抱く。此等沿海の地は概ね平坦にして、殊に伊勢海の北岸木曾川下流の地には、有名な

る沃野あり。稱して濃尾平野といふ。

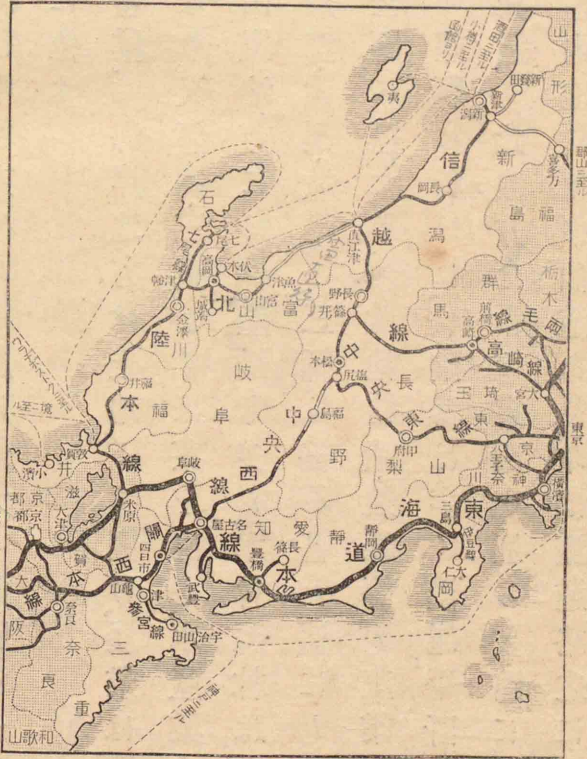
五、區劃。行政上、六縣に分たる。即ち静岡、愛知、三重の三縣は海岸に連り、岐阜縣は濃尾平野の北より飛驒山地を占め、長野縣は中部東半の高處に、最大の面積を占め、山梨縣は其東南に位す。

人口約七百萬あり。

六、産業。海岸地方は土地よく開け、農業は濃尾平野に最も盛なり。又静岡、三重よりは茶を出し、水産業亦此二縣に盛なり。山嶽地方には林産最も多く、木曾森林は我國第一の稱あり。長野、山梨、岐阜の三縣は養蠶甚だ盛にして、長野縣の製絲は全國に冠たり。此他紡績、製紙等の工業は、愛知、静岡、三重等の諸縣に行はれ、又陶器は多く濃尾平野の東部より出づ。

七、交通。此地方は古來東西交通の要路に當り、海岸には東海道、内地には中仙道あり。今は鐵道略之に沿ひて敷設せら

本州中部及北陸地方に於ける交通線と劃區



線は關東より、山梨縣を経て、長野縣に入り、中央西線は濃尾平野より、木曾川に沿ひて上り、將に東線に會せんとす。此他又本州を横斷せる信越線ありて、中央東線と連絡せり。

れ、交通愈頻繁なるに至れり。即ち東海道線は、關東地方より來り、濃尾平野を貫き、關西線は之より分れて、西南に向ひ、共に近畿に入る。中央東

矣

長野縣

一、面積人口

面積、三万二千七百七十九平方キロ

人口、

一、地形

二、主要山脈

三、主要川

四、主要湖

五、主要産業

六、主要都市

七、主要交通線

八、主要産物

九、主要名産

十、主要史蹟

十一、主要文化

十二、主要教育

十三、主要産業

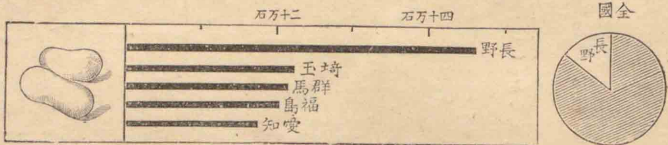
十四、主要交通線

峠道の有名なるものには、縣内に和田峠、鹽尻峠、鳥居峠等、縣境に碓氷峠、野麥峠、針木峠等あり。

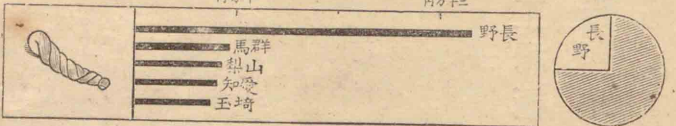
碓氷峠を上れば、輕井澤あり。海拔約三千尺の高處に位し、有名なる避暑地なる。

松代、須坂は善光寺平にありて、生絲を産す。上田には上田繭の産あり。

繭産額比較 (全國約三百万石)



生絲産額比較 (全國約一億四千萬元)



一 長野縣

管轄 信濃全部

西境には飛驒山脈高く聳え、南部には木曾赤石の山脈又高く連り、東境は白根、淺間等の活火山あり。富士火山脈は縣の中央に連る。此等の山脈の間には、谷狀の盆地あり。大河之を灌ぐ。養蠶業は到る處に盛にして、繭の産額は全國第一に位す。

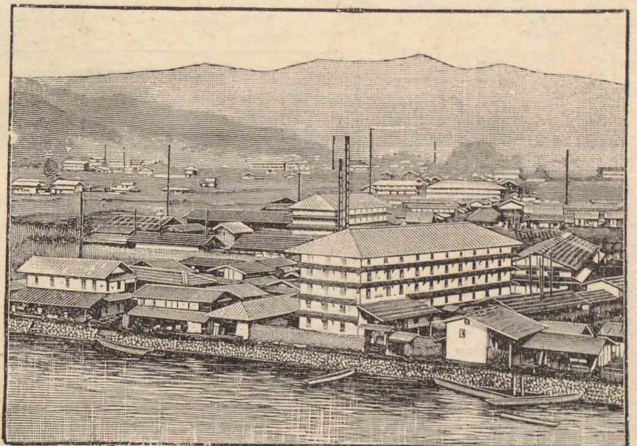
碓氷峠を上り來れる信越線之に沿うて走る。上田盆地の上田、人口は、有名なる繭の集散地にして、善光寺平の長野市人口は

長野市の西南に、觀月の名所 姨捨山あり。

諏訪湖は冬季凍結し、近來水滑りの遊戯盛に行はる。
岡谷は湖水の溢れて、天龍川となる處にあり。

木曾川の峽谷には寒覺床の勝あり。

岡谷製絲工場



岡谷には製絲工場極めて多く、縣下の生絲産額は全國に冠絶す。天龍川の沿岸地方は伊那谷をなし、飯田の名邑あり。又縣の西南部には木曾谷ありて、有名なる森林を有し、殊

縣治の中心をなし、善光寺の伽藍あるによりて著る。又千曲川と其支流犀川との會點には、川中島の古戰場あり。
縣の西部には松本平あり。松本市は其中心をなし、繭の大集散地なり。縣の略中心には諏訪盆地ありて、諏訪湖を湛へ、其水西に溢れて、天龍川となる。上諏訪、下諏訪は湖岸の小都會にして温泉あり。

山梨縣

西方ニ 白根山脈 赤石山脈 安志山脈 身延山脈

中央ニ 御東山脈 丹波山脈

東方ニ 富士山脈 御坂山脈

南方ニ 富士川、甲斐川

甲府盆地

伊豆山脈

三ヶ所、水島、石、雨、洞

富士山の麓には山中湖、河口湖、西湖、本栖湖等湖水多し。
金峯山は水晶の産を以て著る。

近時桂川の水の落差を利用して電力を起す事業盛に興れり。

笹子の大隧道は延長約一里六丁ありて、我國最長のものなり。

に檜の産多く、福島は此地方の中心をなす。

二 山梨縣

管轄 甲斐全部

四面山を繞らし、中に甲府盆地あり。山嶽の特に高峻なるものには、西境に障壁の如く横はれる赤石山脈ありて、白峯其最高峯をなし、南と北とは富士、八嶽の二大火山ありて、金峯山亦北方の高山たり。笛吹、釜無等の河流は、いづれも盆地の中に會して、富士川となり、其西南隅より、峽流をなし

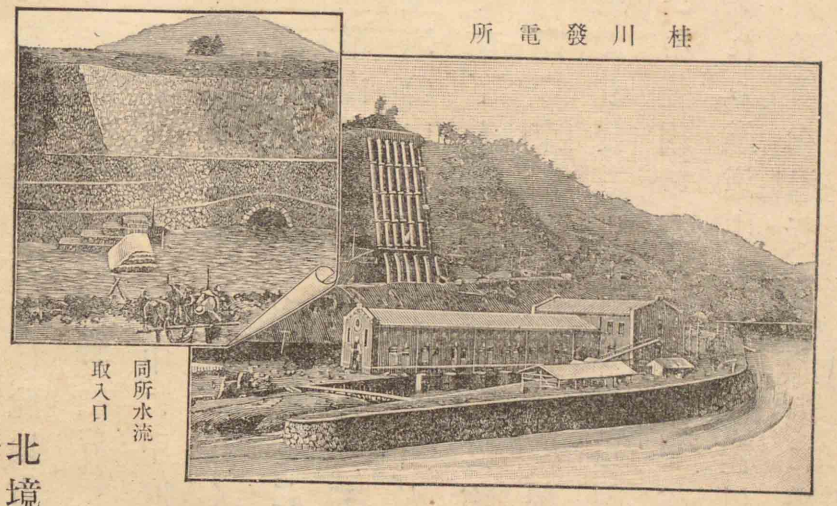
て南下し、静岡縣に入る。其峽流の風景甚だ佳なり。
縣の東部には、桂川あり、源を富士山の東北麓にある山中湖より發し、下流は神奈川縣に入る。其流域地方を郡内といひ、甲斐絹の主産地にして、谷村を其中心地とす。關東より來れる鐵道中央東線は桂川峽流に沿ひ、猿橋を経て、笹子の大隧道を過ぎ、甲府盆地に出づ。

三交河 都倉
遠橋

甲府の北方に御嶽の勝あり。

圖は東京電燈會社の發電所にして、河水を桂川の上流より導き、山腹より急に直下せしめて機械を動かし、強大なる電力を起し、燈火及び動力用として、東京市其他に供給す。

桂川發電所



同所水流
取入口

甲府市人口は盆地の中央にありて、縣廳所在地たり。製絲は其主産物をなし、又水晶細工等の特産あり。盆地の東部は葡萄の栽培盛にして、殊に勝沼附近其中心たり。中央東線は甲府より西北に進み、八嶽の裾野を走り、長野縣に入る。鰍澤は富士川に沿へる要津にして、又其南方なる身延山には日蓮宗の本山あり。

三 静岡縣

管轄 伊豆の大部 駿河、遠江全部

北境には富士赤石等の高山あり。殊

静岡縣

天龍川 長

我國第一鐵橋

大宮

大宮

大宮

大宮

大宮

大宮

大宮

大宮

大宮

大宮

富士山と富士川



富士山の最高點は、海拔一萬二千四百餘尺に達す。本縣の御殿場、大宮及び山梨縣の吉田を著名の登山口とす。
天龍川には我國最長の鐵道橋を架す。
熱海は間歇泉を以て聞ゆ。

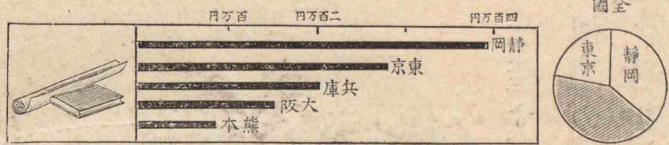
石材を産す。下田は南部にある港市なり。
駿河灣の北岸は、後に富士の秀峯を負ひ、田子浦、三保、松原の絶景沼津、興津等の保養地及び清水の開港場あり。東海

静岡市の東方なる久能山に東照宮あり。

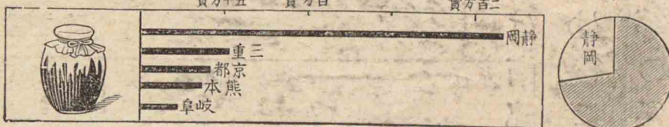
大井川に沿へる島田は、静岡市と共に製茶の集散地をなす。

濱松には又捺染、リボン、帽子等の工業行はる。縣下薑、絲瓜の産多し。

(圓萬百三千約國全) 較比額産紙製



(圓萬百七約國全) 較比額産茶製



なり。天龍川に沿へる久根・鑛山よりは多く銅鑛を産す。沿海は鱈、鯉、鯛等の漁獲甚だ大なり。

道線は富士の東麓より、此海岸に出で、静岡、濱松等を経、濱名湖口を渡りて後、愛知縣に入る。

静岡市人口は縣廳所在地にして、又漆器竹細工の産あり。静岡以東には、製紙の業古來盛にして、三極より半紙を製し、今は大宮に洋紙の大工場あり。静岡附近及び其以西の地には茶の栽培頗る盛にして、縣下洋紙製茶の産は共に我國第一に位す。濱松人口には風琴の製造、其他の工業盛

四 愛知縣

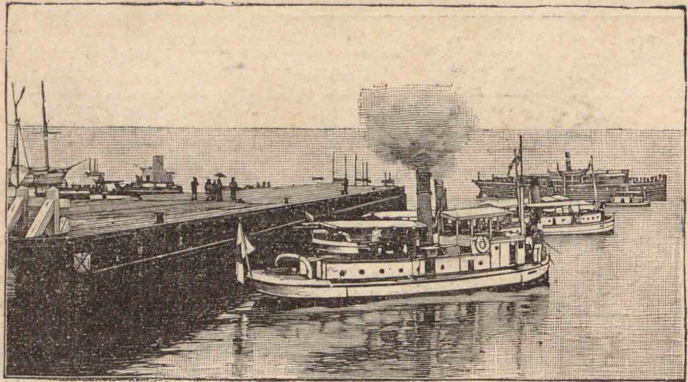
管轄 三河、尾張全部

東部の山地に風來寺山あり。

平野には米、麥、蔬菜の産多し。

本縣には人口一萬以上の都邑凡そ三十あり。名古屋市は東京を距ること約百里に位す。市は西、東、中、南の四區に分る。

名 古 屋 港



東部は木曾山脈の餘脈延び來りて、山地をなせど、西南に向ひて次第に低く、丘陵性の渥美知多の兩半島は、三河灣を抱き、豊川、矢作川之に注ぐ。濃尾平野の一部は縣の西半を占めて、土地よく開け、産業大に興れり。名古屋人口は此平野の中に位し、中部第一の都會にして、一に中京の名あり。徳川氏親藩居城の地たりし所にして、金の虢にて有名なる城閣は、今は離宮たり。市に縣廳、第三師團司令部控訴院、醫學專門學校あり。

名古屋市にウェアイオールの製造所あり。

鈴木製

鐵道東海道線は東南より來りて岐阜縣に向ひ、關西線・中央西線も亦名古屋に集る。

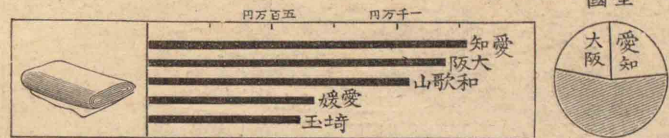
縣下マツチ、製帽用眞田の産多し。

知多半島の半田、龜崎は醸造を以て知られ、常滑には土器の産あり。

(圓萬百二千約國全) 較比額産器磁陶

愛知	岐阜	京都	佐賀	其他
----	----	----	----	----

(圓萬百七千八約國全) 較比額産布綿



第八高等學校、高等工業學校亦其附近に置かる。市の南部には熱田神宮あり。市は商工業極めて盛にして、時計、七寶、焼扇子等の特産を出し、紡織、車輛等の工場あり。市は又鐵道線路の集中點となす。近年熱田には、築港成りて開港場となれり。

器の産地にして、瀬戸。知多半島には東海道線の支線を通じ、武豊は開港場をなす。

東海道線に沿ふ豊橋市人口の附近に

第十五師團司令部あり。矢作川の岸に

は、岡崎、名邑あり。名古屋の東北、岐

早縣と境を交ふる地方は、有名なる陶

器の産地にして、瀬戸。

知多半島には東海道線の支線を通じ、武豊は開港場をなす。

有松の東南には桶狭間の古戰場あり。

飛驒山地の河流は、多くは峽流をなす。其主なものは、北流する神通川、射水川、南流する益田川等なり。

高山盆地



又縣下多く木綿織物を産し、其産額亦全國第一にして、有松絞の名殊に著る。又水産の利は沿海地方に少からず。

五 岐阜縣

管轄 美濃、飛驒全部

北部は飛驒山地にして、其餘脈南に延び、濃尾平野に至りて盡く。山地には養蠶の業行はれ、高山は其中央なる小盆地の中心をなし、生絲、春慶塗水松細工等の産あり。船津の附近には神岡、鑛山あり、銀、鉛の産少からず。石墨亦西北の山中に産す。

縣の南部濃尾平野に屬する地方は、木曾、長良、揖斐、三大河の灌漑する所にして、土地よく肥え、米産甚だ多

Handwritten notes in the top left margin, including names like '飛驒', '神通川', '射水川', '益田川', '有松', '桶狭間', '瀬戸', '武豊', '熱田', '神岡', '石墨', '養蠶', '生絲', '春慶塗', '水松', '細工', '木曾', '長良', '揖斐', '大河', '灌漑', '土地', '肥え', '米産', '甚だ多'.

都立、文庫
東海、平報
岐阜、四二

圖は多治見陶器
學校に於ける生
徒作業の狀を示
す。

岐阜市の附近を
流る、長良川に
は鮎の産多く、
鵜飼行はる。

關ヶ原は古戰場
として有名な
り。

陶磁器の製作



く、平野の北部には、美濃紙の産あり。
東南愛知に連る地方は製陶盛にし
て、多治見は其中心をなす。

岐阜市人口は平野の中央に位し、縣
廳の所在地にして、絹織物、提燈團扇
等の産あり。大垣人口は其西方にある
舊城市にして、米の集散地なり。鐵道
東海道線は此兩市街を経て、西に向
ひ、關ヶ原の狹隘を過ぎて、滋賀縣に入
る。大垣の西北、赤坂には大理石を

産し、西南の養老公園には、有名な瀑布あり。

六 三重縣

管轄 伊賀、伊勢、志摩全部
紀伊の一部

西境には鈴鹿山脈延亙し、又伊賀盆地を隔てて、笠置山脈

三重縣
紀伊
笠置山脈
伊賀

尾鷲、鳥港
伊勢、志摩

桑名、津、松坂
伊勢、志摩

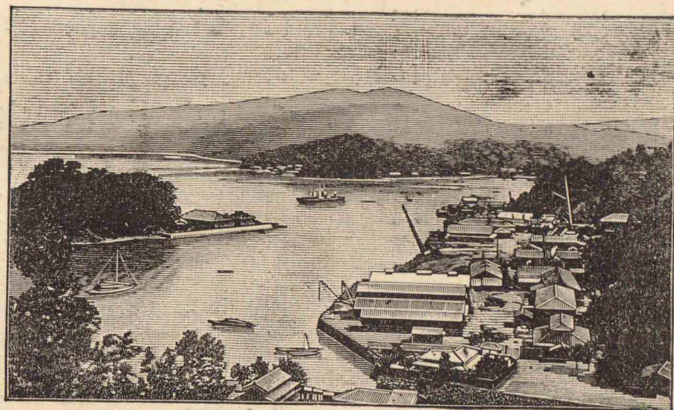
木綿織、津、松坂
伊勢、志摩

宇治五十鈴川の
畔に皇太神あり、
内宮と云ふ。

山田に豐受大神
宮あり、外宮と
云ふ。併せて伊
勢神宮と呼ぶ。

あり。東は伊勢海に、南は熊野灘に臨み、志摩半島其間に突出
す。半島より熊野灘の沿岸にかけては、海岸線の出入極めて
多きも、山嶽直に背後に逼りて、土地開けず。之に反して、伊
勢海の沿岸には、平野連り、雲出川、宮川等よく之を灌漑し、米、
菜種茶等の農産に富み、市邑多し。
平野の北端、揖斐川の口に、桑名人口あり。米穀の市場たり。其
南にある四日市市人口は開港場をなし、紡績、製紙盛にして、又
其附近に萬古焼の産あり。關西線は此等の市街を過ぎ、西
に折れて、龜山に至り、南に參宮線を分つ。更に之に沿うて進
めば、縣廳所在地たる津市人口と、木綿織の産ある松坂とを經
て、其終點宇治山田市人口に至る。市に伊勢神宮あり。社殿莊嚴
にして、神苑崇高に、參拜の人四時絶えず。附近の海岸に二見
浦の勝あり。

鳥羽港造船所



第四章 北陸地方

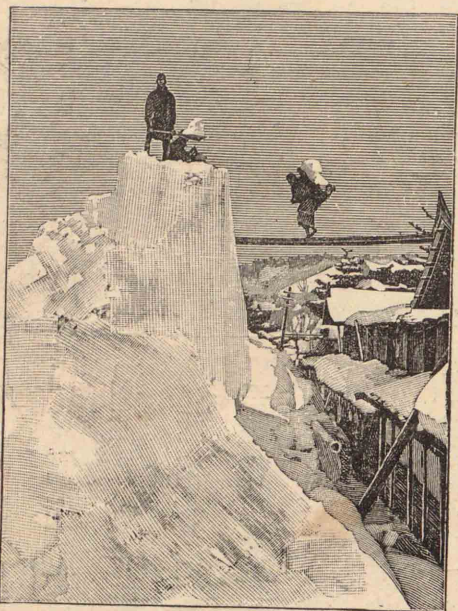
沿海は鱈其他の水産に富み、志摩半島には眞珠貝の養殖行はる。鳥羽は半島北岸の良港にして、造船所の設あり。熊野灘沿岸には尾鷲港あり。關西線は加太越に於て、鈴鹿山脈を越え、伊賀盆地に入り、北に草津線を分つ。盆地の中央に上野あり。其北方より伊賀焼を産す。關西本線は更に西走して、奈良縣を過ぎ、大阪市に到る。

一位置地形

本州の裏面に位し、日本海に沿ひて長く延び、東より南には越後山脈、三國山脈、飛驒山地等あり。飛驒山脈、富士火山脈は中部より延びて、此地方に入る。地形之より次第に海に向ひて傾き、海岸には越後平野、富山平野等ありて、信濃川、神通川等之を灌漑す。

圖は越後小千谷町の冬景にして、屋上の積雪多きを以て、之を取除き路上に積む状を示す。

北陸地方の積雪



海岸は若狹灣、富山灣の彎入し、能登半島の突出せる外は、概ね出入に乏しく、海上には佐渡島あり。此地方は冬季西北風吹き、降雪極めて多し。三區劃。行政上、四縣に分たる。福井縣は西南部

ニ九段
雪多し

高野山成

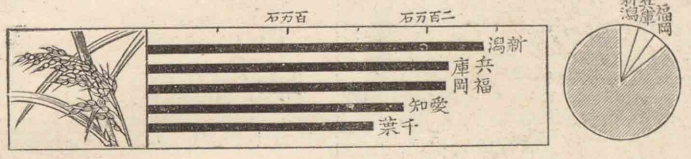
谷文通

交通 便

人口 密
文化 隆
物産 多

此地方は、裏日本に於て人文最もよく開けたる所に於て、人口の密度も中部の太平洋沿岸地方と大差なく、唯愛知に一步を譲るのみ。
人口約四百萬。

米 産 額 比 較 (石萬百六千四約作年平國全)



羽二重 産 額 比 較 (圓萬百五千三約國全)

福井	石川	福島	新潟	其他
----	----	----	----	----

にありて、若狹灣の南岸より起り、石川縣は其東北に隣れる地方より、能登半島を占め、富山縣は富山灣の南岸にして、新潟縣は東北部に位し、佐渡を併せ、最大の面積を占む。

三、産業。 此地方は産業よく發達し、北部の越後、富山兩平野は農業よく行はれ、米の産多く、新潟縣の如きは、其産額我國第一なり。機業は一般に盛にして、殊に羽二重は重要なる輸出品をなす。新潟縣は石油、金等の鑛業盛なり。漆器、陶器其他の工業亦處々に行はる。

四、交通。 鐵道は東海道線より分れたる北陸線ありて、西半三縣を通じて走

福井 石川 西對

日野川 河川

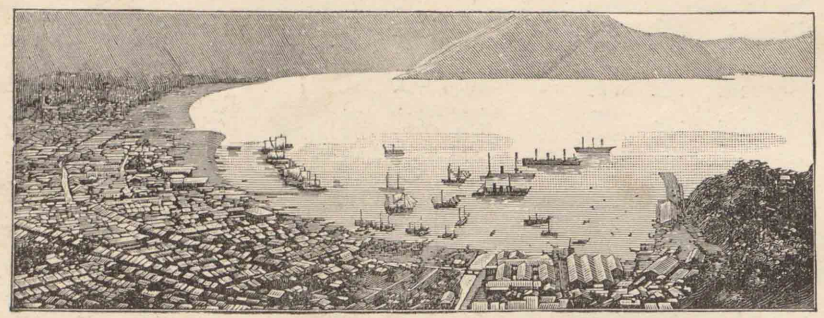
三國港 津島

敦賀 小濱

若狹灣 七尾

九頭龍川の上流 には、大野の名 邑、其河口には 三國港あり。

敦 賀 港



り、又中部より延び來れる信越線の越後平原を走るあり。此二線の連絡は、中間に飛驒山脈の險あるがため未だ果されず。

一 福井縣 管轄 越前、若狹全部

西半は若狹灣に臨み、其近海は水産に富む。灣の沿海には出入多く、敦賀、小濱等の港灣あり。殊に敦賀は日本海岸第一の良港にして、開港場たり。對岸のウラチボストクとの間には、定期航海の汽船あり。小濱には若狹塗を産す。

東半は、主として九頭龍川及び其支流日野川の流域にして、土地よく開け、産業盛なり。

福井市に藤島神社あり、新田義貞を祀る。又市の東方に曹洞宗の本山永平寺あり。

鐵道北陸線は滋賀縣より來り、敦賀を経て、日野川の流域に入り、武生、福井を過ぎ、石川縣に入る。武生は鳥子、奉書等の紙類を産し、福井市人口は縣廳所在地にして、又羽二重機業の中心をなし、其産額實に我國第一に位す。

ニ 石川縣 管轄 加賀、能登全部

東と南とは山脈を繞らし、白山殊に其高きを以て知られ、手取川の水源をなす。北方には丘陵性の能登半島突出し、平野は纔に加賀の海岸より、半島の頸部に通じて横はり、河北潟等の潟湖あり。工業は縣下到處に盛にして、羽二重漆器陶器等殊に著る。

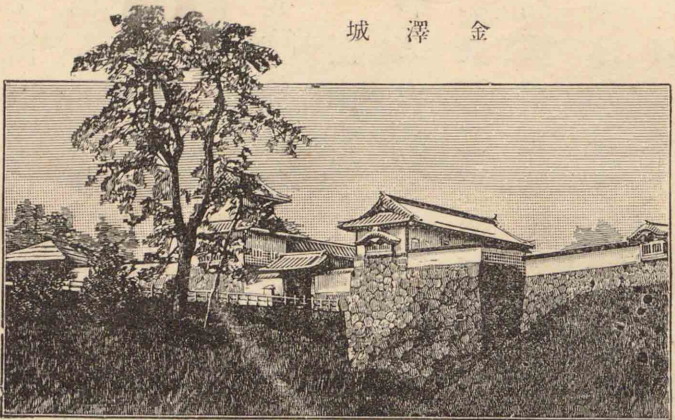
鐵道北陸線は福井縣より來り、平野に沿ひ、俱利伽羅峠を越え、富山縣に入る。沿道市邑多し。大聖寺は其附近の山代と共に九谷焼を産し、山中には漆器を出す。山代、山中又共に

富山 九谷焼
石川 白山
福井 藤島神社
新田義貞
武生 鳥子
奉書
羽二重 機業

金澤は昔て前田氏百餘萬石の大藩居城の地たりし所にして、市に有名なる兼六園あり、今公園たり。

七尾の北に和倉温泉あり。

金澤城



温泉を以て知られ、小松は羽二重を以て著る。

金澤市人口は北陸第一の都會にして、縣廳第九師團司令部の外に第四高等學校、醫學專門學校等を置かる。市には漆器、陶器を産し、羽二重の機業盛なり。市に近く、海岸に金石港あり。

鐵道により、能登半島に至れば、七尾灣岸に七尾の開港場あり。半島の北岸には輪島あり。輪島塗を産す。

三 富山縣 管轄 越中全部

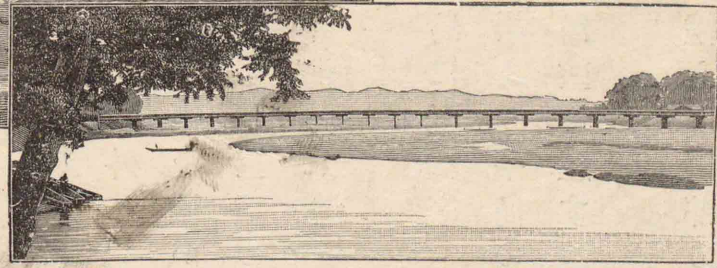
北方は富山灣に面し、其他の三面には山を繞らし、東部の

富山 飛驒山脈 北陸線 越前 福井 石川 富山 高岡 富山平野 伏木 米 銅器 漆器 射水川 神通川 富山湾 立山 飯豊山 越前 福井 石川 富山 高岡 富山平野 伏木 米 銅器 漆器 射水川 神通川 富山湾 立山 飯豊山

飛驒山脈殊に高峻にして、立山其中にありて、最も著る。河川はいづれも北流して、富山湾に注ぎ、神通川、射水川は飛驒山地より來り、其下流の沿岸には、豊沃なる富山平野ありて、多く米を産す。又黒部川は飛驒山脈の間を流れて、有名なる大峽谷をなせり。富山市は縣廳の所在地にして、昔より賣藥業者の多きを以て知られ、又羽二重の機業行はる。其西方の高岡市は銅器と漆器とを産す。又射水川流域の地は機業盛にして、其河口には伏木の開港場あり、米を積



神通川



立山

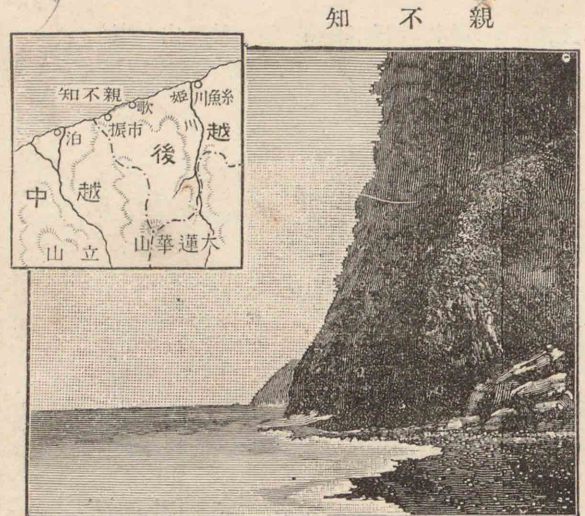
新潟縣

新潟縣 越後 佐渡 魚津 村上 長岡 新潟市 米 銅器 漆器 射水川 神通川 富山湾 立山 飯豊山

出すこと多し。東部海岸の魚津は北陸線の終點をなし、其海上には蜃氣樓の見ゆることあり。

四 新潟縣

管轄 越後、佐渡全部



親不知



東には越後山脈長く連りて、朝日嶽、飯豊山等を戴き、南には三國山脈高く聳え、西南には富士火山脈に屬する妙高山、焼山等の火山蟠り、飛驒山脈の北端は親不知の險となりて、急に海に臨めり。海岸は殆ど出入なく、多くは沙濱なるも、其間に又米山、彌彦山等の聳ゆるあり。信濃川、阿賀川、荒川等は縣下を灌漑し、其沿岸の平野には、米

製油工場
直江津、柏崎

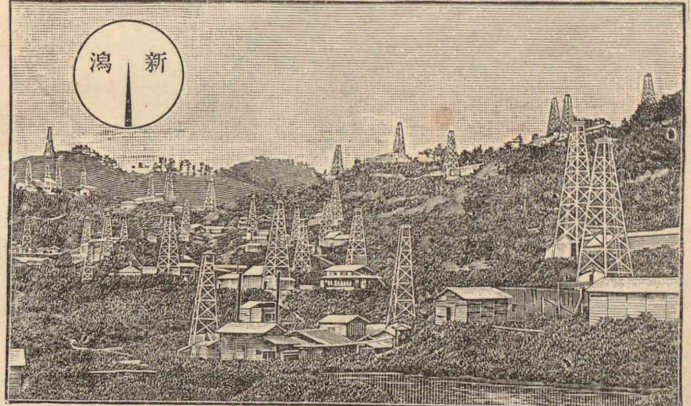
新潟
越後
越前
越中
越後
越前
越中
越後
越前
越中
越後

東山油田は長岡の東方にあり。圖に見ゆる數多の槽は皆油井のある所なり。又長岡の西方に西山油田あり。

小千谷には上布、越後縮、十日町には透綾、五泉には五泉平を産す。

村上に近き三河川は鮭の産に名あり。

(合割額産油石のと縣本と國全は圖附) 田油山東

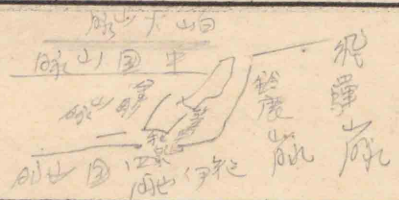


の産極めて多し。縣下石油の産額は我國産額の大部分を占め、長岡市人口は其取引の中心をなす。信濃川の口なる新潟市人口は縣廳所在地にして、信越線の終點たり。又開港場なれど、貿易は盛ならず。川を溯れば、小千谷、十日町等ありて、阿賀川流域の五泉と共に機業地として知らる。北部には新發田、村上等の名邑あり。

荒川流域に入れば、河口に直江津港あり。日本海の要津をなす。其南にある高田には第十三師團司令部を置く。鐵道は此地より南進して、長野縣に入る。佐渡島は二條の竝行山脈の間に一帯の平野を挟み、平野の兩端に各小灣あり。東岸の夷港は良港として知られ、西岸の相川には古來有名なる鑛山ありて、金、銀、銅を産す。

第五章 近畿地方

一、位置地形。東は鈴鹿山脈によりて、中部と界し、北は日本海に、南は太平洋に面し、西は中國地方に連り、又瀬戸内海及び紀伊水道に面す。瀬戸内海には、淡路島ありて、大阪灣及び播磨灘を分つ。紀伊山脈は南部の半島に連り、中國山脈は北部に起伏して、其東端に丹波山地を作れり。此兩山脈の間には低地あり。其中を縦に走れる諸山脈に



夷港は新潟の副港をなし、開港場たり。新潟港の風浪穏ならざるときは、船舶概れ此處に來泊す。

山系
中
紀伊
和歌山
奈良
京都
近畿
山陽
山陰

より分たれて、數個の盆地と平野とをなせり。即ち東北には近江盆地ありて、中に琵琶湖を湛へ、之に隣りて、山城、大和の盆地あり。更に之に隣りて大阪平野ありて、大阪灣に臨み、其西方には、別に播磨灘沿岸の平野あり。

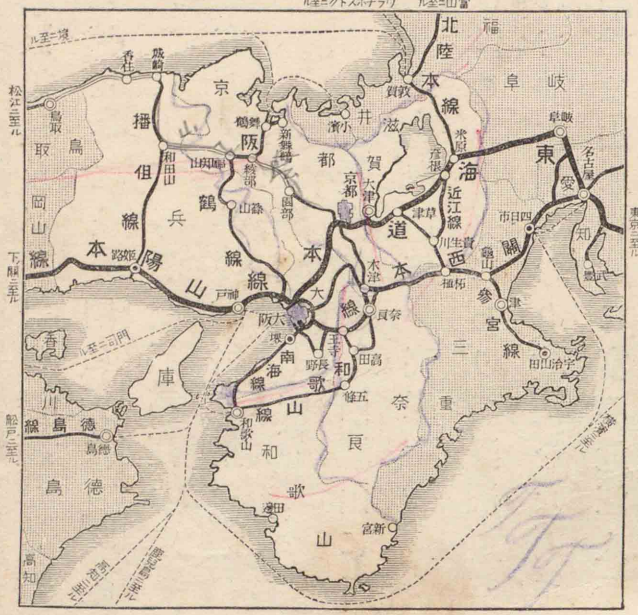
二、水系。 河流は中部の低地を貫きて流る、淀川ありて、大阪灣に入り、南部の半島には、熊野川、紀川あり。播磨灘斜面にては、加古川最も大きく、日本海斜面には由良川、朝來川あり。

三、區劃。 行政上二府四縣に分たる。大阪府は中央にありて、大阪平野及び其附近の地を占め、京都府其北に隣りて、日本海岸に及び、滋賀縣は近江盆地を占め、奈良縣は大阪府の東に隣り、和歌山縣は半島の海岸部にありて、兵庫縣は播磨灘と日本海との間の地を占め、淡路島亦之に屬す。

四、産業。 此地方は我國にて最も古くより開けたる所にし

人口約七百萬。

近畿地方に於ける交通線



て、明治維新に至るまでは、歴代の帝都を置かれ、從て史蹟極めて多し。人口の密度の大なること關東に次ぎ、都會の數亦少からず。平野地方は農業よく行はれ、紀伊山脈は有名な森林を有し、沿海の地は水産盛なり。商工業は關東と相對して、我國の一大中心をなし、殊に京都は美術工藝に秀で、大阪、兵庫は製造工業に長ぜり。

五、交通。 交通は低地地方に最も盛にして、東海道、山陽の幹線を始め、關

西線、阪鶴線及び此等と接続せる數多の支線を有し、鐵道網の發達せること全國に稀なり。唯南部の紀伊半島地方は山がちにして、今猶交通不便なり。水運は神戸、大阪の二大港を有して、内外の航路を集む。

一 滋賀縣 管轄 近江全部

縣は一大盆地をなし、四境山にて圍まれ、東北に伊吹山、西に比良山、比叡山等の高峯あり。我國第一の大湖たる琵琶湖は、盆地の中央にありて、野洲川其他の水を集め、南端より溢れて勢多川となり、峽流をなして、山城盆地に出づ。湖畔は山水の勝に富み、近江八景の名世に著る。其東南

岸は平野よく開け、良米を産す。平野の北半は蠶業盛にして、長濱は縮緬の集散地をなし、又南部は麻織物の産我國第一に位して、日野、八幡其中心たり。

琵琶湖は面積凡そ四十五方里あり。淡水魚族の産に富み、小汽船は沿岸諸港津を廻航し、交通の便少からず。湖の北部に竹生島の勝あり。勢多川は淀川の支流をなす。本縣人は近府縣に行商するもの多く、近江商人の名著る。

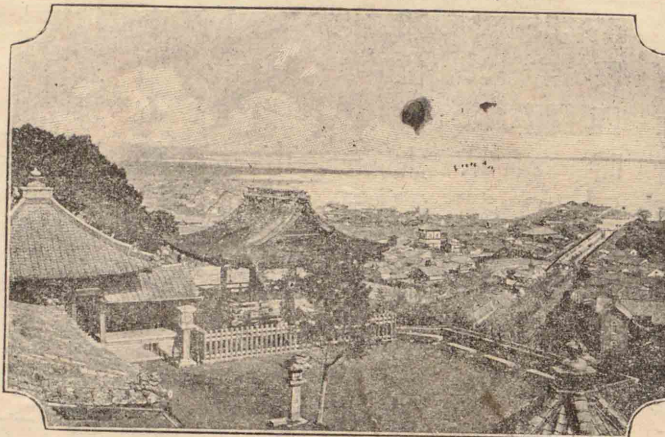
滋賀湖は面積凡そ四十五方里あり。淡水魚族の産に富み、小汽船は沿岸諸港津を廻航し、交通の便少からず。湖の北部に竹生島の勝あり。勢多川は淀川の支流をなす。本縣人は近府縣に行商するもの多く、近江商人の名著る。

三井寺は古刹にして、近江八景の一なり。圖の右にあるは疏水運河にして京都市に通ず。北陸線は長濱を過ぎ、姊川を渡り、賤ヶ嶽古戦場を西に見て、柳ヶ瀬隧道を経、福井縣に出づ。鐵道には又縣の東部を走れる近江線あり。

(圖萬十七百三約國全) 較比額產物織麻

其他	福井	富山	山口	北陸道	栃木	滋賀
----	----	----	----	-----	----	----

む望を湖琵琶び及街市津大りよ寺井三



されば湖東には市邑多く、鐵道亦此地方に通じ、東海道線は米原に於て北陸線を分ち、彦根、人口の舊城市を過ぎ、草津に至り、草津線を併せ、京都に向ふ。大津市人口は縣廳所在地にして、湖上の一要津をなす。比叡山には天台宗の大本山延暦寺あり。

二 京都府 管轄 山城、丹波、丹後全部
府の地形は東南部の山城盆地と、西北部の丹波山地とに

山城の西部には
丹波山地の
東南部には松茸
の産多し。

に有名なる笠置山あり。

府の西北部丹波山地は、主として由良川の流域にして、海岸には宮津灣舞鶴灣等の良港あり。宮津は開港場にして、其北に風景を以て名高き天橋立あり。舞鶴灣は東西二灣に分れ、東灣は軍港をなして、舞鶴鎮守府を置かれ、西灣は商港をなす。鐵道阪鶴線は此地と大阪とを結ぶ。沿線の福知山は園部・龜岡等と共に内地の名邑たり。山地の北部には蠶業行はれ、峯山には縮緬の産あり。

三 大阪府

管轄 和泉、河内全部
攝津の一部

東に金剛山脈、南に和泉山脈あり。北は丹波山地に隣り、西は大阪灣に面して、淀川、大和川之に注ぎ、其沿岸には平野よく開け、米、菜種及び綿の産あり。

大阪市は大阪灣に臨み、淀川の三角洲に位し、人口百二十

大阪市は東、西、南、北の四區に分る。

煉瓦、セメント、マンネケ

革靴、洋布、絹、綿

洋菓、洋酒、洋紙

洋糖、洋油、洋燭

洋傘、洋帽、洋靴

洋服、洋履、洋巾

洋傘、洋帽、洋靴

市は南日本經濟の
大中心なり。

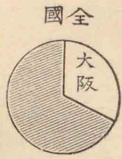
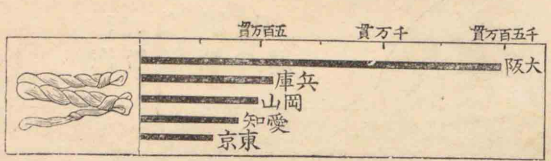
二萬我國第二の大都會をなす。古來商業の一大中心をなし、殊に關西物貨の大集散地たり。外國貿易も清韓兩國を以て

其大顧客として盛に行はる。

市の内外には工場極めて多く、煙突林立の壯觀を呈す。工業の最も盛なるは綿絲紡績にして、從て綿絲の産額全國に冠たり。此他諸種の製造工業甚だ盛にして、官設の砲兵工廠、造幣局亦此地にあり。

市は水陸交通の中心をなし、陸には東海道、關西、阪鶴、南海等の諸鐵道線を集め、水には安治川、木津川の下流に無數の船舶を繋ぎ、又築港漸く成りて、將に大に發展する所あらんとす。官衙には府廳、控訴院、第四師團司令部あり。學

綿絲産額比較 (全國約四十六萬貫)



市の北郊吹田に
は麥酒の製造所
あり。

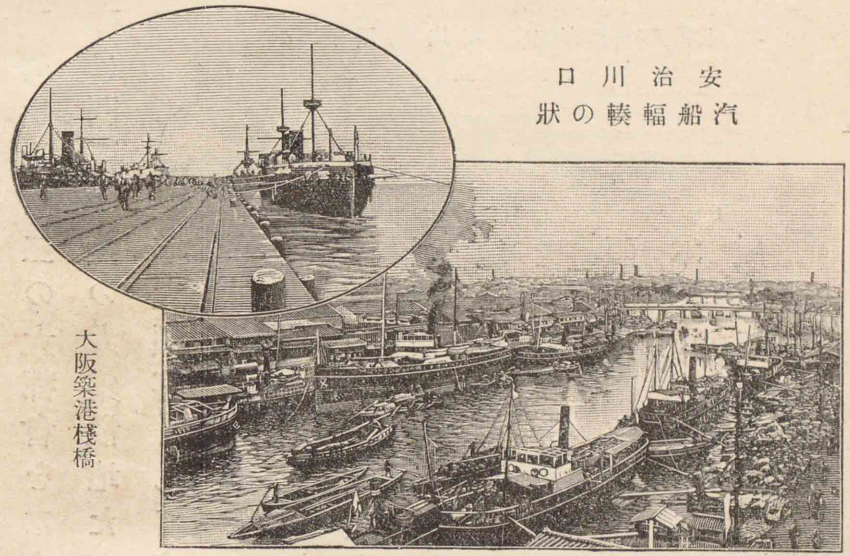
市の輸出品の主
なるものは綿
絲、綿布、銅、マ
ツチ等なり。

大阪市の製造工
業の主なるもの
は金屬製鍊、機
械類、人造肥料、
綿布、莫大小、毛
織物、ガラス器、
皮革、マツチ、雜
貨等の製造な
り。

府下に住吉、濱寺、箕面等の公園あり。

平野の北部に池田ありて、炭、酒等を産す。北部一帯の地は、寒天の産甚だ多し。

安治川口 汽船輾轉の狀



大阪築港棧橋

校には高等工業學校、高等商業學校、高等醫學學校あり。史蹟には高津宮址、四天王寺、大阪城等あり。
堺市人口は大和川の口に近く、段通、利器酒を産す。
府下亦史蹟多く、大阪平野は神武天皇上陸の地にして、堺市の東には、仁徳天皇の大山陵を始めとして、陵墓の宏大なるもの多し。又金剛山、四條畷は楠木氏の古戰場として名あり。

奈良縣

地形 三角二五八

人口 五五八

南河内(地) 吉野郡

北河内(地) 大和郡

三河内(地) 大和郡

南河内(地) 大和郡

東河内(地) 大和郡

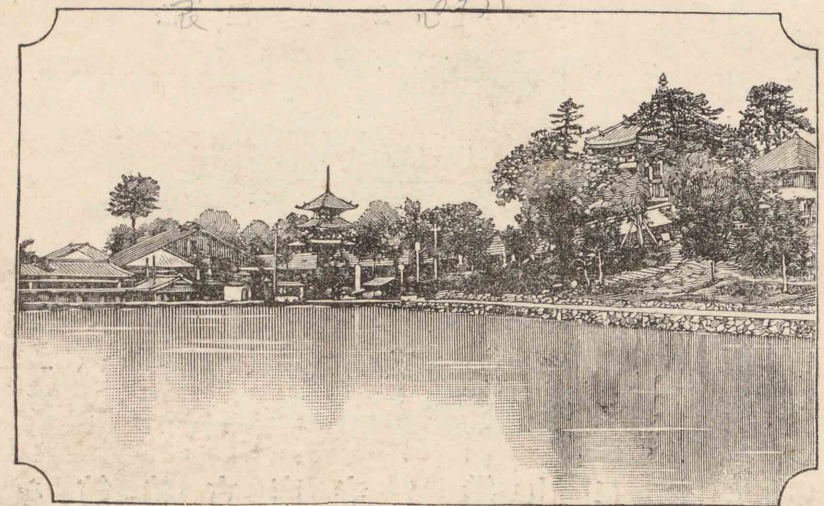
西河内(地) 大和郡

春日(地) 大和郡

正合(地) 大和郡

本縣の東境に月瀨あり。梅花の勝我國第一と稱せらる。

東大寺には有名な大佛あり。又勅封の寶藏正倉院あり。

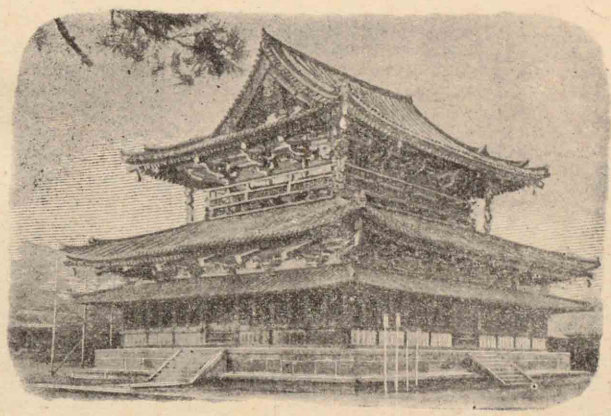


四 奈良縣

管轄 大和全部

北半には、東に笠置山脈、西に金剛山脈ありて、其間に大和盆地を作り、大和川の流域をなす。此盆地は上古よりよく開け。神武天皇の始めて橿原に都を奠めたまひてより以來、皇居を此地に設けられ、殊に奈良朝に至りて、規模宏大なる平城京を營まれ、久しく帝都の地たりしが故に、到る處史蹟極めて多し。奈良市人口は縣廳所在地にして、三笠山を負ひ、其麓に、東大寺

法隆寺は其建築極めて古く、奈良朝以前建築の模範たり。本圖は其金堂にして、最も莊嚴を極む。寺に國寶甚だ多し。



法隆寺金堂

高田の東南には畝傍山の麓に橿原神宮ありて神武天皇を祭り、多武峯に談山神社ありて藤原鎌足を祀る。

縣の南半は山深く、大臺原山、山上嶽等の高峯あり。十津川の峽流は南流して、熊野川となり、吉野川は西流して紀川となる。山中林産多く、吉野杉の名大に著る。吉野山は嘗て南朝

を始め、春日神社、興福寺、帝室博物館、女子高等師範學校等あり。市の特産には根來塗、墨、人形等あり。古の平城京は、市の一部より其西南に亘りたる地なれば、其附近古寺甚だ多く、法隆寺最も著る。盆地の中には農産多く、又木綿織を産す。都邑には奈良の外に郡山、高田、櫻井等あり。隣府縣との間には、鐵道の交通甚だ便なり。

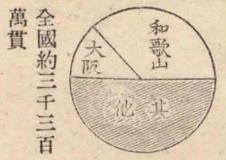
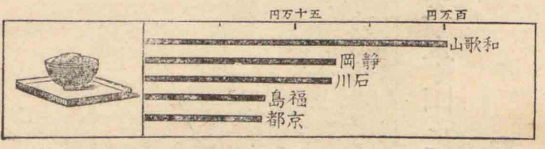
和歌山、吉野山、紀伊半島

の都せし所にして、又櫻花を以て聞ゆ。

五 和歌山縣 管轄 紀伊の大部

縣は紀伊半島の海岸大部を占め、山嶽多くして、高野、熊野等の大森林を有し、林産に富む。平地は極めて乏しく、唯紀川沿岸に之を見るのみ。縣廳所在地和歌山市は紀川の口に位し、綿

漆器産額比較 (全國七百萬圓)

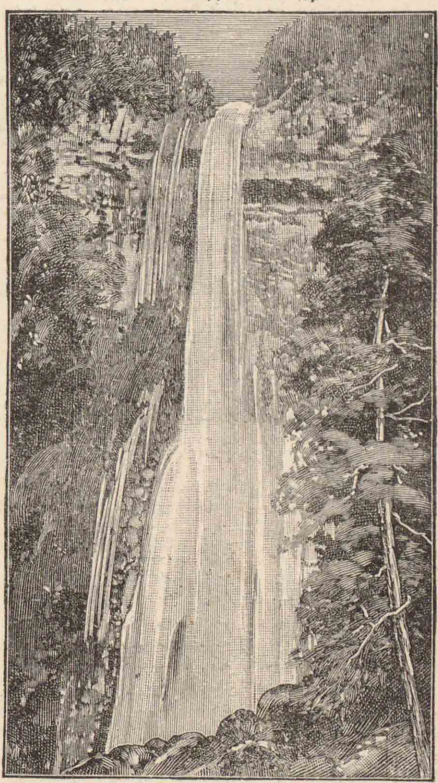


全國の柑橘類産額と本縣産額との割合。和歌山、大和、其。全國約三千三百萬貫。又田邊、串本は沿海の要津をなす。半島の南端を潮岬と云ひ、之より東

高野山、吉野山、紀伊半島

高野山、吉野山、紀伊半島

潮岬には燈臺ありて近海航路の好標識をなす。又無線電信局の設あり。
熊野地方には名勝、舊蹟多く、那智瀧、瀧八町は壯絶と幽寂とを以て知られ、本宮地方は王朝時代に歴行幸ありし所なり。



熊野灘は捕鯨の盛なるを以て聞え、熊野川の口なる新宮は、材木を集散す。西北部の高野山には、金剛峯寺あり。眞言宗

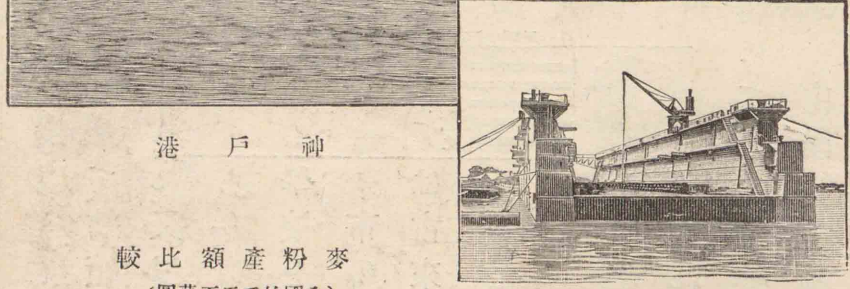
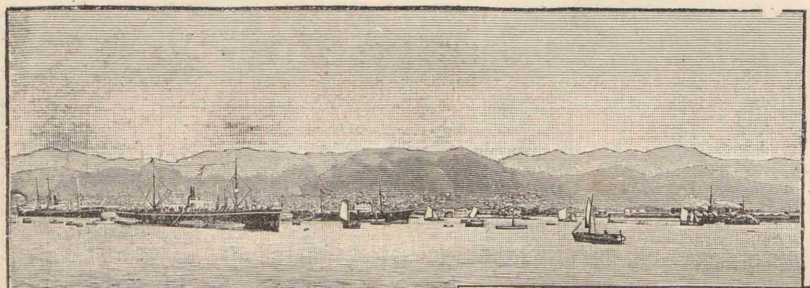
の大本山にして、空海の開基に係り、僧院甚だ多し。

六 兵庫縣 管轄 攝津、丹波の一部 但馬、播磨、淡路全部

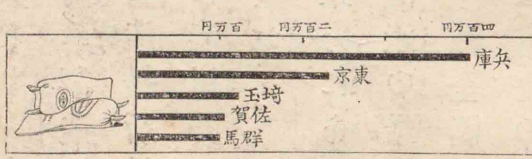
東北は京都府に、東南は大阪府に境し、西は中國地方に接す。中國山脈其中央に横はりて、日本海と播磨灘とを分水し、朝來川は北に流れ、加古川市川、楫保川等は南に注ぐ。此南方の斜面には、播磨の平野ありて、米を産すること極めて多し。

縣下の米産額は二百萬石に達し新潟縣に次ぐ。

兵庫縣 人口八三、外國人三七、米人一、二、〇、〇、〇、
兵庫縣 面積一、二、〇、〇、〇、
兵庫縣 人口八三、外國人三七、米人一、二、〇、〇、〇、
兵庫縣 面積一、二、〇、〇、〇、



較比額産粉麥 (圓萬百五千約國全)

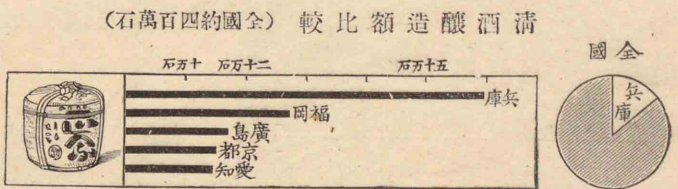
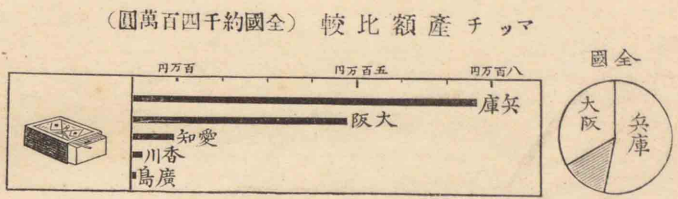


縣下又盛に麥粉を出す。神戸市三七七口は大阪灣に面し、縣治の中心にして、横濱に次ぎて、我國第二の開港場なり。其貿易は多く東洋諸國との間に行はれ、綿鐵米、肥料等を輸入し、綿絲銅、マッチ、花筵等を輸出す。横濱に反して、輸入は輸出よ

市の東北に布引の瀧あり。今は水道水源地をなす。

御影より西ノ宮に至る間の地方を灘と稱す。

須磨、舞子、明石附近は有名なる



阪鶴線は神崎にて東海道線と分れ、丹波山地の小都會を連ね、舞鶴に向ふ。山陽線は神戸より起り、須磨、舞子、明石、

り遙に大なり。市は又工業地にして、紡績、マッチ製造、樟腦精製盛に行はれ、又川崎造船所並に浮船渠等の設あり。市に湊川神社あり。又高等商業學校を置かる。市の東方にある御影、西宮、伊丹等は古來酒造の最も盛なる所にして、其産額今猶全國に冠たり。背後の山間には、有馬の温泉あり。又炭酸泉を噴出する處多く、清涼の飲料に供せられ、平野水の名あり。

保養地にして、又一ノ谷等の古戦場あり。姫路の東方なる高砂は松の名所にして、又洋紙の製造盛なり。

但馬には牧牛の業盛なり。

要塞は由良と福良とにあり。

人口二九三、〇〇〇
岩屋(六)風見(三)福良(四)淡路(一)

等白砂青松の間を過ぎて、播磨の平野に入る。姫路市人口は其中央に位し、第十師團司令部あり。又革細工、高砂染を産す。西方の龍野は醤油を造り、海岸には製鹽行はれ、赤穂殊に著る。鐵道播但線は姫路に起り、北走して中國を横斷し、近く山陰線と結ばんとす。

姫路より播但線によりて、市川の谷を上り、但馬に入れば、生野の銀銅山あり。朝來川の流域には蠶業行はれ、又出石の出石焼、豊岡の柳行李等の特産あり。海岸に近く城崎の温泉及び玄武洞の奇勝あり。

淡路島は瀬戸内海第一の大島にして、由良、鳴門の兩海峽は、其南部を挟み、内海の門戸をなし、要塞の設あり。北は明石海峽を隔てて、播磨に對す。洲本は大阪灣に面し、島の主邑をなす。島には淡路焼の産あり。

三石に耐火煉瓦及び蠟石、伊部に備前焼を産す。岡山より中國線によりて、吉井川の^{上流}地方に出づれば、津山の名邑ありて、雲齋織を産す。

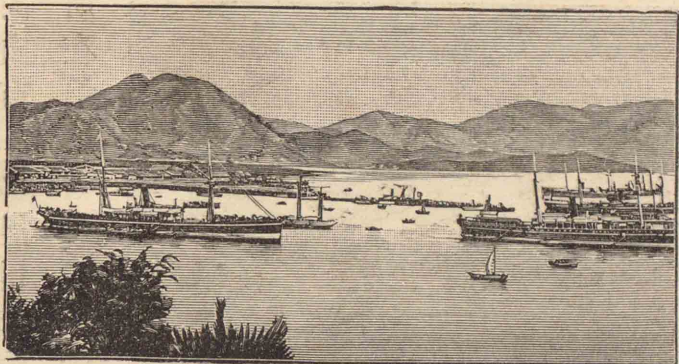
二 廣島縣

管轄 備後、安藝全部

中國山脈の主脈は北境をなし、江川は北部の水を集め、之を破りて山陰に出づ。縣の西南部は廣島灣に臨み、太田川之に注ぎ、下流の沿岸に平野あり。安藝灘と備後灘との間は、島嶼多く、藝豫海峽を造り、要塞地をなす。

廣島市^{一三五}は太田川の下流に跨り、宇品を其港となす。中國第一の都

宇品港



江ノ川は中國第一の大川なり。

藝豫海峽に臨める忠海には、要塞の設あり。

高積、五二〇
人口一五〇
大木、燻草
牛、豆、米

マンケ
花冠、秋目

水産物
魚(三、四)
鰯、鮭、鱈、鰱、鰻、鱒、鯉、鯪、鱈、鰻、鱒、鯉、鯪、鱈、鰻、鱒、鯉、鯪

本縣人及び山口縣人に出稼するもの多し。

嚴島には嚴島神社あり。島は松島、天ノ橋立と共ニ日本三景と稱せらる。

尾道の東方なる松永は、製鹽業の中心なり。

廣島縣の山地は、牛の飼養の盛なること、全國に冠たり。

會にして、縣廳第五師團司令部、控訴院、高等師範學校等あり。市は明治二十七八年と三十七八年との二大戦役に於て、軍隊輸送の基點となりしを以て知られ、又罐詰の産あり。北方の可部には山繭織を産す。吳市^{九三}は廣島灣の支灣に沿ひ、軍港を控へ、鎮守府を置く。又壯大なる工廠ありて、製艦製鋼甚だ盛なり。其對岸の江田島には海軍兵學校あり。廣島灣の西部に嚴島あり。風景の美を以て稱せらる。又灣には牡蠣の養殖盛なり。

備後灘の海濱には備後表花筵を産し、尾道市^{三〇}と福山とは其市場をなし、製鹽亦此地方に盛なり。糸崎は開港場をなす。鐵道は此等の市邑を連れ、廣島を経て山口縣に向ひ、又支線を吳に分つ。

内地には江川支流の會點に三次あり。山地には牛、大麻等

の産あり。

三 山口縣

管轄 周防、長門全部

縣は三面海を繞らし、中國山脈は此處に到りて漸く低く、丘陵又は臺地を作り、岩國川、佐波川等は内海に注ぎ、阿武川は日本海に流る。其沿岸の平野には多く米を産し、瀬戸内海の海濱にては、多く鹽を製し、又鯛、鱈等を産し、近海の水産は中國五縣の首位にあり。

岩國川の口に近く岩國あり。錦帶橋を以て著る。徳山港には海軍煉炭所の設あり。三田尻の附近は製鹽の中心をなし、之より少しく内地に山口、人口ありて、縣廳、高等商業學校あり。又小野田にはセメント製造所あり。山陽線は沿海の市邑を連ね、支線を大嶺炭田に分ち下關に至る。

下關市人口は縣の西南端にある開港場にして、穀物の取引

山口縣 人口一〇〇、〇〇〇
 三田尻 人口一、〇〇〇
 岩國 人口一、〇〇〇
 徳山 人口一、〇〇〇
 小野田 人口一、〇〇〇
 萩 人口一、〇〇〇
 山口 人口一、〇〇〇
 周防、長門全部

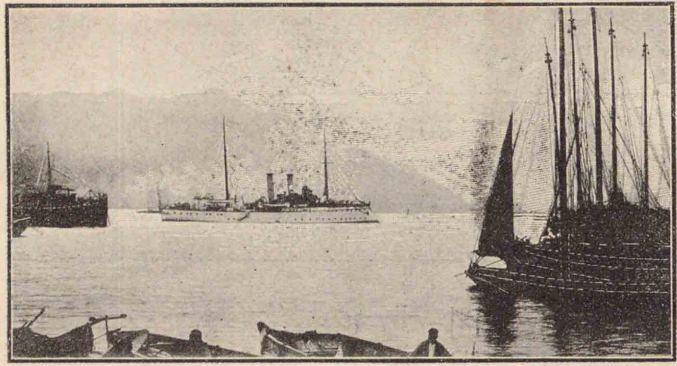
下關市は東京を距ること、凡そ二百八十里に位す。市に赤岡關宮あり、安徳天皇を祀る。又硯石を産す。

下、關海峽の附近は、凡て要塞地帯に入る。

縣の西北部なる角島には無線電信局あり。

鳥取縣には一般に養蠶業行はれ、又其西部には綿の産多し。

海岸には砂丘の發達殊に著し。



甚だ盛なり。市は瀬戸内海の咽喉をなし、下關海峽を隔てて九州の門司に對し、水陸交通の要衝に當り、山陽線は連絡船によりて九州の鐵道と相結び、又韓國の釜山との間にも鐵道の連絡船を往來せしめて、大陸との交通を便にす。市の東に壇浦の古戰場あり。

日本海岸には萩あり、夏蜜柑、萩焼を産す。

四 鳥取縣

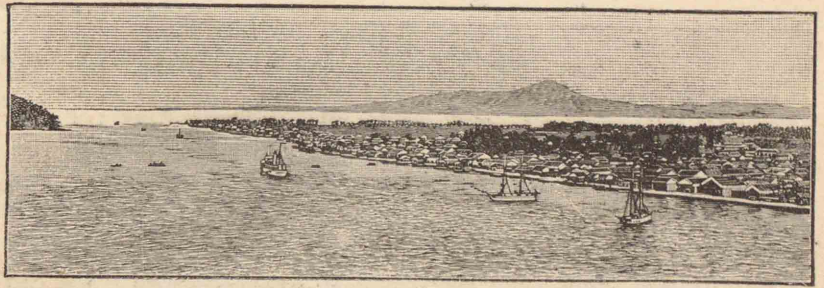
管轄 因幡、伯耆全部

岡山縣の北に隣り、域内自ら東西に分る。東部は千代川の流域にして、其河口の近くに鳥取市人口ありて、縣廳を置く。河口には賀露港あり。西

水産(五五)
 酒(四)
 油(田)

船上山の麓には名和神社あり。名和長年を祀る。
 日野川の上流には砂鐵の産あり。
 圖中遙に見ゆる山は大山なり。

境 港



部には大山火山高く聳え、其裾野には牧場と船上山の史蹟とあり。
 天神川、日野川は大山の兩側を流れ、倉吉は天神川の流域の中心をなして、木綿織を産す。日野川下流の平野には、米子の港市あり。夜見濱の砂嘴は之より長く、北方に突出して、中海を抱き、尖端に境の開港場あり、日本海の要津をなす。鐵道山陰線は縣の海岸に沿ひて通ず。

五 島根縣

管轄 出雲、石見、隱岐全部

廣島縣の北に隣り、中國山脈の主脈其境をなし、又三瓶山、青野山等の火山あり。西半石見は、殊に山勝ちにして、江川の峽

島根縣
 市 四三六
 人口 七五

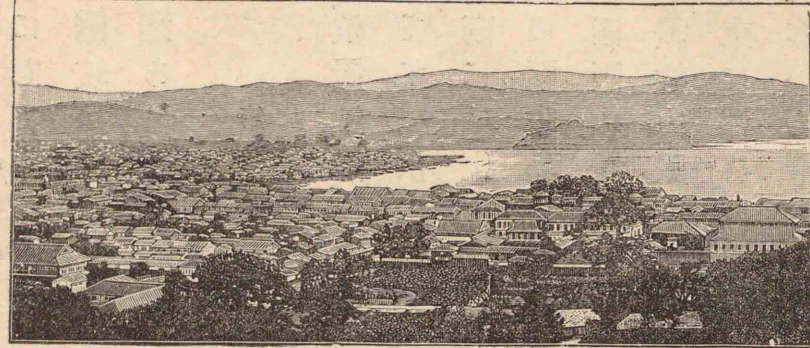
水産(五五)
 酒(四)
 油(田)

根中海の大根島は、米(八五)の地、島火山島にして、人参の産あり。

松江市は山陰第一の都會なり。圖の右にあるは、尖道湖なり。

出雲大社には大國主命を祀る。

松 江 市



流其間を流る。海岸の島根半島は中海、尖道湖などの淺き潟湖を抱き、斐伊川の下流は、半島の頸部に杵築平野を造り、尖道湖に注ぐ。

松江市は尖道湖の東口に跨り、風光美しく、縣廳の所在地にして、八雲塗を産し、附近に出雲焼の産あり。鐵道山陰線は鳥取縣より來り、此地を過ぎ、尖道湖の南岸に沿ひて西に進む。島根半島の東端には、美保關の小港あり。西端の杵築には出雲大社あり。西部の石見には、銀銅を産し、又大麻、石見半紙の産あり。海岸の濱田は開港

島前には後鳥羽
法皇の舊蹟あり。
島後は後醍醐天皇の遷幸せられたる地なり。

場にして津和野は内地の名邑なり。
隠岐は島前群島と島後島とより成り、錫を産し、島後に西郷港あり。

第七章 四國地方

一、位置地形。四國島は瀬戸内海の南にありて、紀伊水道を隔てて、紀伊半島に對し、豊後水道を挟みて、九州に向ふ。南には土佐灣、北には備後灘灣入し、瀬戸内海には讃岐高繩の兩半島を出し、太平洋には室戸蹠の兩岬斗出せり。四國山脈は略東西に連り、其主脈を石槌山脈と云ひ、其北に讃岐山脈、南に劔山山脈あり。吉野川は此等の山脈の間を東に流れ、四國第一の大河をなす。全島山がちにして、平野多からず。四國山脈の海に盡くる所は、海岸線の出入に

四國山脈は紀伊山脈、九州山脈と相呼應して南嶺山系の二部をなす。

平野は瀬戸内海の沿岸と吉野川の下流とに纒に之を見る。

人口三百餘萬あり。

富み、殊に西部の海岸には、佐田岬を始め、半島港灣極めて多し。南部は氣候殊に暖にして又雨量多く、海岸には榕樹の繁茂せる處あり。

三、區劃産業。行政上四縣に分たれ、徳島、高知は太平洋岸に、香川、愛媛は瀬戸内海の岸にあり。内海沿岸の地は、人口甚だ稠密にして、都邑亦多く、農業、製鹽行はれ、太平洋斜面の地は林産に富む。水産は四縣いづれも盛にして、殊に高知は其首位を占む。大工業は未だ興らず、鑛産は愛媛に最も多し。

三、交通。内地の交通不便にして、鐵道のある處も、其地方局部の便に止まり、未だ四縣を連絡するに至らず。

一 徳島縣 管轄 阿波全部

四國山脈の東部は縣下に延互し、劔山は四國第一の高峯をなす。吉野川は高知縣より來り、山脈の主軸を横斷して、

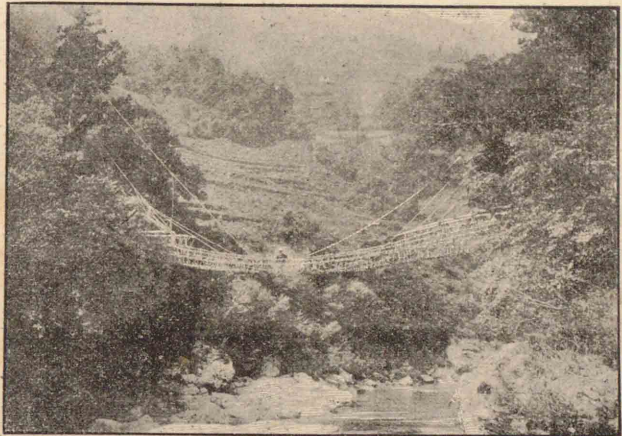
鐵道線路につき、第一〇六頁の挿圖を見よ。

大崩壊の峽谷をなし、更に轉じて、讃岐山脈の南を流れ、沿岸に平野を造り、下流は廣き三角洲の間を流れて、紀伊水道に入る。那賀川は中部以南の地を流れ、亦紀伊水道に入る。

吉野川支流に祖谷川あり。大崩壊の下流に於て本流に會す。其上流は深山の間にありて、村落別天地をなす。有名なる葛橋其川に懸る。

徳島市には織織の産あり。

祖谷の葛橋



吉野川沿岸の地は最もよく開けて、盛に藍を作り、其産額我國第一に位し、脇町を其集散地とす。又其上流の池田附近には、多く煙草を作る。徳島市人口は河口の三角洲上にあり。縣廳所在地にして、水運の便を有し、又此地より川に沿ひて、鐵道を通じ、縣下の貨物を集散す。撫養人口は鳴門海峽に面し、齋田鹽の産あり。海峽は潮流急激、渦

徳島市の物産
 一、甘藷
 二、藍
 三、煙草
 四、綿織物
 五、漆
 六、紙
 七、茶
 八、酒
 九、醤油
 十、味噌
 十一、干物
 十二、海産物
 十三、山産物
 十四、雑穀
 十五、油
 十六、炭
 十七、薪
 十八、石炭
 十九、銅
 二十、鐵

鳴門海峽には鯛の名産あり。

飯野山は平野の中央に峙ち、讃岐富士の名あり。

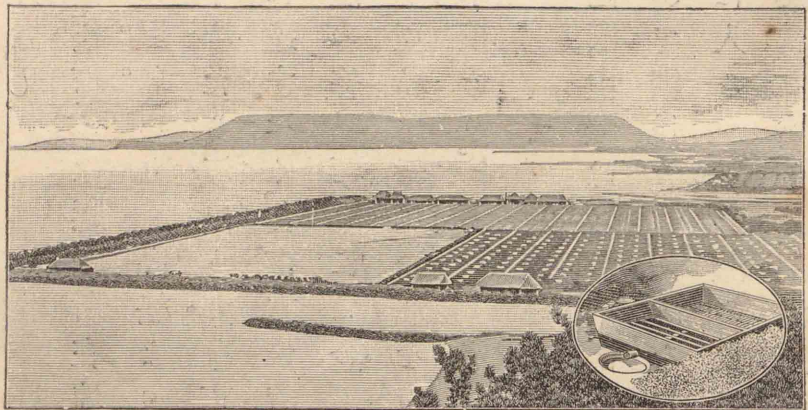
屋島は高峯をなし、其形屋根の如し。山上の眺望絶佳にして、東南麓は有名なる古戰場なり。

縣下の鹽の産額は一〇五頁の挿圖を見よ。

瀬居島の鯛は水産の有名なるものなり。

縣下製帽用眞田、マツ子の産多し。

高松市附近の鹽田より屋島を望む



流をなすを以て聞ゆ。南部の海岸には日和佐の名邑あり。

二 香川縣

管轄 讃岐全部

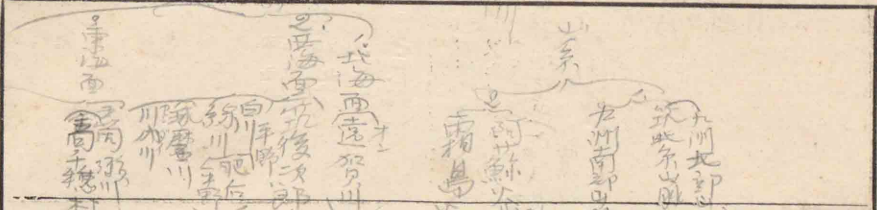
縣は讃岐半島の地を占め、南境には讃岐山脈あり。地勢次第に北に低くして、平野となり、丘陵其中に散在し、飯野山、五劔山等殊に名あり。平野は農産に富み、多く甘蔗を産す。海岸は出入多く、港市相連り、又鹽田多くして、鹽の産額我國第二に位し、近海には漁利多し。人口の密度は甚だ大にして、四國の首位を占め、濃尾平野に比して

を併せ、九州地方と汎稱す。

二、地形。九州島は地形の複雑なる、我國中多く其比を見ず。中國山脈の續きは島の北部に現はれて、筑紫山脈をなし、四國山脈の續きは九州山脈となり、島の東岸より斜に南部地方に連互し、祖母嶽市房山其他の高峯を戴き、餘脈は延びて、南方の琉球諸島に及ぶ。

此地方は又火山に富み、南北兩山脈の間には阿蘇火山脈ありて、本島を横斷し、南部には霧島火山脈ありて、其一部は南方の海中に數多の火山島を造れり。平野は處々に開展して、特に北部の筑紫平野最も著しく、之に次ぎて、其南に隣れる熊本平野などあり。

河流は四方に分流す。就中筑紫平野を貫流する筑後川最も長大なり。



有明海の潮汐干満の差は、我國沿海中最大なるものにして、十八尺に及び、低潮の時は、沿岸に大なる干潟を作る。

三、海岸。海岸線の屈曲は我國第一にあり。西方には肥前半島突出して、其端は更に分れて、島原、西彼杵の兩半島をなし、有明海、天草海、大村灣等を擁し、南方には薩摩、大隅の兩半島鹿兒島灣を圍み、東北には國東半島突出して、別府灣其南に彎入す。唯島の東岸日向灘に面する處は海岸單調なり。

島嶼は九州島の北方に、壹岐、對馬あり。肥前半島の西には、五島列島連り、天草海には天草諸島あり。而して南方には薩南諸島などありて、琉球諸島と共に列島をなせり。

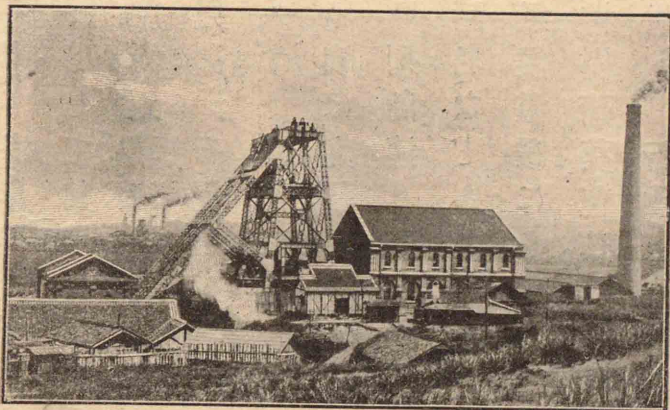
氣候溫暖にして、殊に琉球諸島より九州島南部は雨量多く、榕樹、蒲葵、芭蕉等熱帶性の植物あり。

四、區劃。行政上八縣に分たる。北部には大分、福岡の二縣あり。肥前半島には頸部に佐賀縣あり。其餘と壹岐、對馬、五島とは長崎縣に屬す。中部の東半は宮崎縣にして、西半は熊本縣

に入る。南端の兩半島と薩南諸島とは鹿兒島縣に、琉球諸島は沖繩縣に屬す。

九州地方の人口は凡そ八百萬あり。其中西北の半面に住するもの其六割を占む。
三池は福岡縣の西南部にありて、我國第一の炭坑たり。

三池炭坑

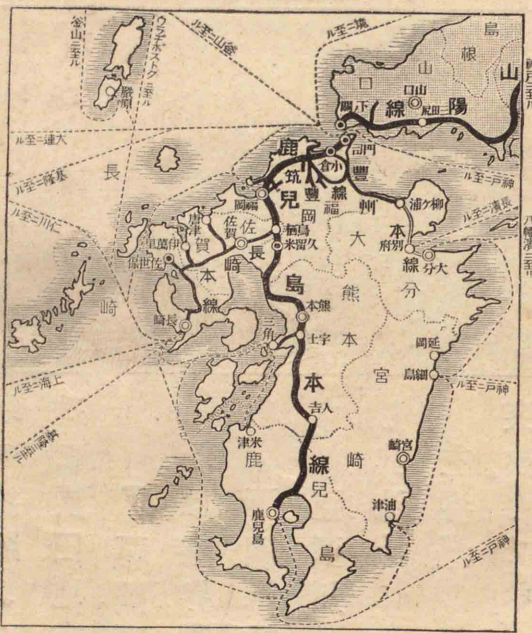


(噸萬百三千約國全) 較比額產炭石

其他	福岡	佐賀	北海
福島	福岡	佐賀	北海

五、産業。西北の半面は、東南の半面に比し、土地よく開け、人口稠密にして生産に富む。筑紫平野と熊本平野とは農産最も豊にして、良米を産す。熊本、鹿兒島の二縣は牧畜盛にして又甘蔗、甘藷を産し、東南部の山地には林産多し。鑛産は北部に石炭を産して、我國産額の大部分を占め、南部

九州地方に於ける交通線



には又富有なる金鑛あり。硫黃は處々の火山に産す。工業は肥前半島に陶器の産多く、製鐵、造船其他の大工業は近年西北の半面に發達し來れり。水産は到る處に多くして、殊に長崎縣、鹿兒島縣最も盛なり。

六、交通。鐵道は亦西北の半面によく發展し、鹿兒島線は門司に起り、筑紫平野に至りて、長崎線を分ち、更に南走して鹿兒島に至り、我國幹線の南端をなす。又北部には別に豊州線、筑豊線あり。此

博多灣の西に位する糸島半島の西北端に芥屋大門の奇景あり。

柳河、若津は共に海岸に近く、清酒の産あり。縣下清酒の産多きこと兵庫縣に次ぐ。

大牟田には又紡績業盛なり。

り成り、開港場たり。商工業の盛なること、九州中稀に見る所にして、博多織を産す。附近に醫科大學あり。又名勝、史蹟多く、南方には太宰府の府址あり。

筑後川下流の平野は、米、菜種の外に多く榎を植ゑ、木蠟を産し、又壘表の産あり。川に沿ひ久留米市三六あり。久留米耕を産す。附近に第十八師團司令部あり。南境の三池は有名なる炭坑を有し、近年大牟田四四に築港して開港場となし、輸出を便にし、市況日に振ふ。

二 佐賀縣

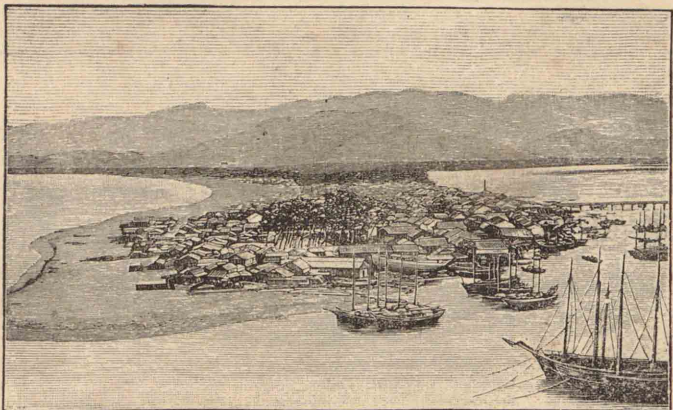
管轄 肥前の一部

南部は有明海に瀕して、筑紫平野の一部をなし、農産に富む。北部は筑紫山脈連亘して、炭田多く、玄界灘の海岸には、唐津伊萬里の二灣あり。佐賀市三六は、鐵道長崎線に沿ひ、平野の中央に位し、縣廳の

唐津の港は市街の東と西とあり。西港大にして、汽船碇泊し、石炭を輸出す。本圖は東港にして、虹の松原なる大なる砂嘴發展し、後に領市振山あり。近海は松浦灣の名ありて、古よりの名勝なり。

唐津の港は市街の東と西とあり。西港大にして、汽船碇泊し、石炭を輸出す。本圖は東港にして、虹の松原なる大なる砂嘴發展し、後に領市振山あり。近海は松浦灣の名ありて、古よりの名勝なり。

唐津港



所在地なり。唐津支線其西に於て、北に分れ、終點に近く唐津港あり。開港場にして、石炭を輸出す。北方の名古屋は豊太閤征韓役の根據地として知らる。

長崎線に沿ひ、武雄の温泉あり。有田は其西にある有名なる陶器の産地にして、支線を分ち、伊萬里港に通ず。有明海には牡蠣の産多く、其沿岸に住、江の開港場あり。

三 長崎縣

管轄 肥前の一部

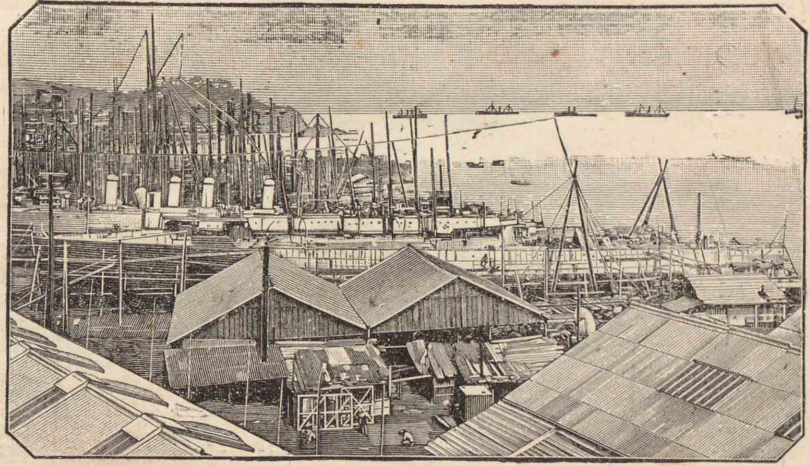
縣の主部は殆ど半島より成れり。殊に西彼杵、島原の兩半島は、纔に諫早の地峽によりて本島と連り、西彼杵半島は東

縣下平地に乏しく従て米の産多からず。甘藷の栽培は盛に行はれ又牛、豚を飼養す。

長崎は要塞地帯に入る。

三菱造船所は長崎港にありて數多の船渠を有し、其規模壯大我國第一と稱せらる。

三菱造船所



に大村灣を擁す。諫早の北方佐賀縣との界にある多良嶽と島原半島の温泉嶽とは、共に有名なる休火山なり。
長崎市一七六は西彼杵半島の西南に彎入せる小灣に在り。開港場中最も古きものにして、鎖國の昔にありても、猶支那、オランダとの貿易を許され、西洋の學藝も獨り此地を経て、我國に傳はりき。灣内に壯大なる造船所あり。市の内外に縣廳、控訴院、醫學專門學校、高等商業學校等

佐世保市は大村灣口の北なる佐世保灣に臨む。

福江島の西端なる大瀬崎には無線電信局あり。

を置く。又鼈甲細工を産す。灣外に高島の炭坑あり。
長崎線は大村灣を経て大村灣の岸を走り、早岐より支線を分ちて、佐世保に至る。佐世保市七九は軍港を控へ、鎮守府の所在地たり。島原半島には島原及び開港場たる口津あり。

平戸島の平戸は、昔時貿易場たりし處なり。五島列島中には福江島最も大にして、福江の港津あり。

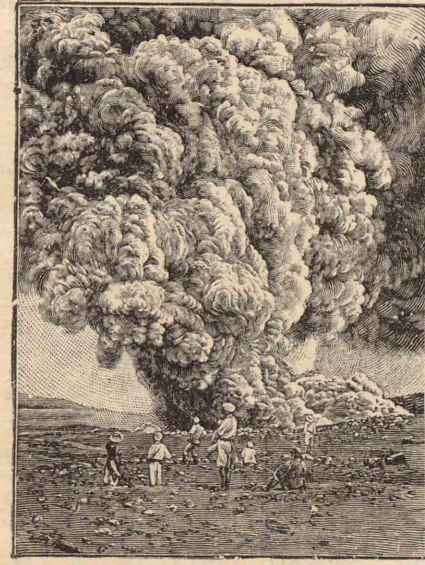
壹岐には勝本郷浦等の名邑あり。對馬は島を横斷して其中央に、淺海灣西より深く彎入して、運河之に連り、遂に上島、下島の二島に分たる。淺海灣の支灣に竹敷要港あり。上島には嚴原あり。島廳の所在地にして、開港場たり。下島には佐須奈、鹿見の二開港場ありて、韓國との貿易に便なり。上島には佐須鑛山ありて、亞鉛鑛を出すこと我國に冠たり。
縣下到處水産に富み、鰯、海鼠の産多く、對馬と五島とは

宮崎新報、新開地、第二編

阿蘇火山の舊火口の直徑は、東西四里南北六里にして、世界第一と稱せらる。其中央に火口丘あり。五岳と云ひ數峯簇立す。其一峯中岳は今盛に活動す。本圖の火口は明治三十九年に生じたるものなり。

阿蘇火山の舊火口の直徑は、東西四里南北六里にして、世界第一と稱せらる。其中央に火口丘あり。五岳と云ひ數峯簇立す。其一峯中岳は今盛に活動す。本圖の火口は明治三十九年に生じたるものなり。

阿蘇火山中岳噴火口



東北には阿蘇火山脈の主峯たる阿蘇の大火山あり。其火口原の水は集りて、白川となり、西に流れ、菊池川、緑川亦源を此山腹に發し、西流して、其下流に熊本平野を作れり。縣の南部は九州山脈延亙して、東境には市房山高く聳ゆ。球磨川は此地方の水を集め、人吉盆地を過ぎ、更に峽流をなし、八代海に注ぐ。農業は盛にして、粟の産額最も多く、又良質の米を

鰻を以て著れ、五島の近海には鯨、珊瑚等を得へし。縣下の水産額は、實に九州の第一位を占む。

四 熊本縣 管轄 肥後全部

産す。製茶は縣下主産物の一にして、殊に紅茶の産は我國の首位を占む。牧畜亦到る處に行はれ、多く馬を産し、山地は林産に富み、又樟腦を出す。

熊本市の郊外に成趣園あり。熊本市の北方にある植木及び田原坂は、西南の役に激戦ありし處なり。

熊本市人口は白川に跨り、縣廳所在地たり。其舊城は加藤清正の築く所にして、今は第六師團司令部を置く。市の附近に高等工業學校、第五高等學校あり。白川の口に百貫石港あり。菊池川の流域には隈府山鹿等の名邑あり。緑川の口に近く、宇土半島突出して、有明海と八代海とを分ち、其尖端に三角港あり。開港場にして、鐵道の支線を通ず。球磨川の口には八代あり。水陸の便多く、材木を集散し、又セメントの産あり。人吉は人吉盆地の中にある名邑にして、球磨川の水源地方には五家莊の別天地あり。天草群島の下天草島には、無煙炭、陶土を産す。

五 大分縣

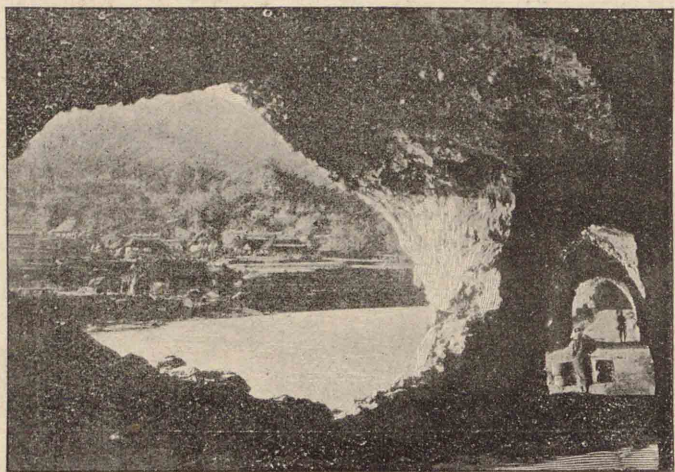
管轄 豐前の一部
豐後全部

別府灣に臨める
日出ば、疊表製
造の中心とな
す。

阿蘇火山脈は西南境より、東北に向ひて、縣下を横斷し、九重山、由布嶽等の火山を起し、附近に温泉多く、硫黄の産亦甚だ多し。其火山脈猶延びて國東半島に及び、兩子山を起す。九州山脈は縣の東南部に連互し、祖母嶽の高峯を戴く。山脈の豊後水道に至りて盡くる處には、佐賀關半島を始め數多の岬灣出入し、其間には臼杵、佐伯等の港市あり。大野川は此等の山地の間を流れて、別府灣に注ぐ。其上流には竹田の名邑あり。此等の山地は林産多く、椎茸の産少からず。別府灣の沿岸より、國東半島に互りては、疊表の製造盛なり。灣頭の大分、臼杵には縣廳あり。別府は温泉を以て著る。縣の西北部は筑後川上流の地にして、日田の盆地あり。北境には英彦山ありて、山國川之より流れ、奇岩峨々たる耶馬

縣下の水産は
鰯、烏賊等其主
なるものなり。

耶馬溪 (青の洞門)



溪の勝をなし、末は周防灘に入る。中津は其河口にある名邑なり。鐵道豐州線は中津を過ぎ、海岸の平野を走る。其沿線の宇佐には宇佐神宮あり。沿海の地は水産に富み、殊に佐賀關附近の漁民は、韓海等の遠洋漁業に赴くものあり。

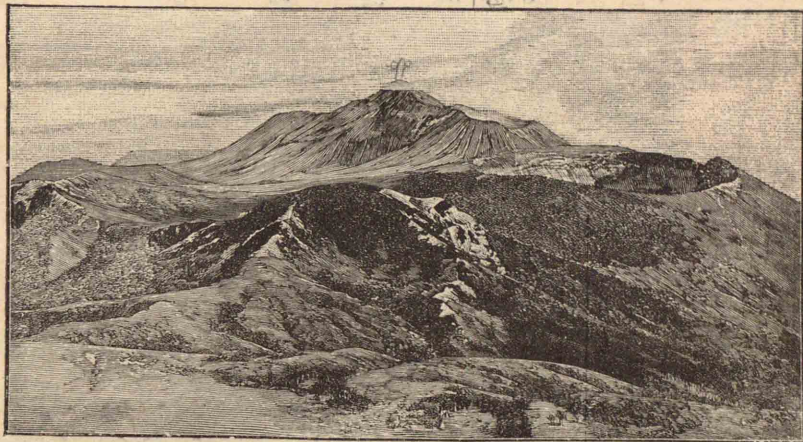
六 宮崎縣

管轄 日南全部

九州山脈は縣下に延互し、殊に大分、熊本二縣との境に於て高峻を極む。鹿兒島縣の境には霧島火山脈の主峯たる霧島火山あり。地勢東に傾き、五箇瀬川、美美津川、大淀川等の諸

霧島火山は分れて東西の二群となり、其最高峰を高千穂峯といふ。

霧島山



川は、いづれも竝行して、日向灘に入る。海岸の出入極めて少く、港津は北に細島、南に油津アブラツあるのみ。此地方は太古より既に知られたる處にて、今尙當時の史蹟を存す。されど交通不便にして、土地よく開けず。人口の密度甚だ小なり。縣下の大部分は山林、原野を以て被はれ、材木、薪炭、椎茸に富み、竹材の大なるものを出し、又樟腦を産す。北方には日平、檳峯等の銅山あり。沿海の水産は鰯を主とし、鰹節の製造亦盛なり。海岸の平地

都城附近には養蠶、製茶の業行はる。

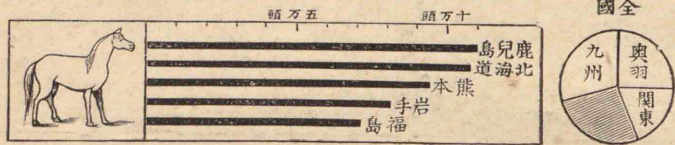
には延岡、佐土原、宮崎等の小都會ありて、宮崎には縣廳を置き、又宮崎宮あり。西南の内地には都城の名邑あり。

七 鹿兒島縣 管轄 大隅、薩摩全部

薩摩、大隅の二大半島突出して、鹿兒島灣を抱く。縣下山がちにして、平地に乏しく、霧島火山脈は、鹿兒島灣内に火山島、櫻島を造り、薩摩半島の南端に開聞嶽を起し、南方の諸島に連る。河流の大なるものは、北部に川内川あり。

農産は甘藷、煙草に富み、牧畜又盛にして、多く馬を牧し、牛、豚之に次ぐ。林産には材木、樟腦あり。域内又鑛山多く、牛尾山、山野等は金を産し、本縣は臺灣と共に金の主産地をなす。谿山には錫を出し、其産額全國に冠たり。近海は水産に富み、鰹、鰯

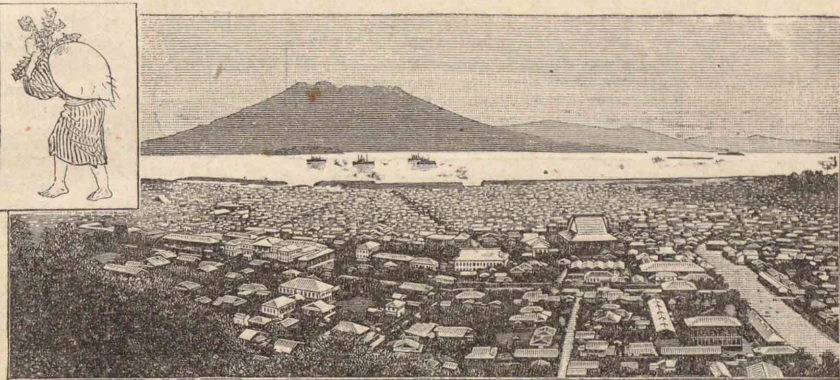
馬頭數比較 (全國約十四萬頭)



鹿兒島市は鹿兒島灣の西岸にありて、港市をなす。其前面に火山島櫻島あり。鹿兒島市の背後の城山は西郷隆盛最後の地なり。

人吉より來れる鐵道には山間の險を越ゆる際螺旋狀の迂回をなせるループ線あり。國分の附近に鹿兒島神宮あり、霧島山麓に霧島神宮あり。

鹿兒島市と櫻島 (附圖櫻島大根)



烏賊の産多く、鯉節は古來有名なり。鹿兒島市人口は、港市をなし、雄藩居城の地たりし處にして、縣廳第七高等學校造士館高等農林學校あり。薩摩餅、薩摩燒、錫器を産す。鐵道鹿兒島線は熊本縣の人吉より山間の險を越え、國分、加治木を経て、鹿兒島に至る。國分は有名なる煙草の産地なり。港津には鹿兒島灣口に山川の火口港あり。西部の坊津は昔は支那通商の要津たりし處なり。甌島の近海には珊瑚の産多し。

薩南諸島の中には、霧島火山脈に

屋久島の近海は鯉の産に富む。

八重山群島には石垣島、西表島等あり。琉球諸島及び大島には飯匙倩と稱する毒蛇棲息す。

人吉吉松の間鐵道 (注線プル)



南方の奄美諸島は風土習俗琉球に似て、其大島には黒砂糖大島紬を産す。名瀬港は其主邑たり。

八 沖繩縣 管轄 琉球全部

琉球諸島は薩南諸島の南に連り、共に東支那海の邊縁をなす。縣の北部に沖繩諸島ありて、沖繩島最も大きく、南部には先島諸島あり。分れて宮古、八重山の二群となる。氣候暖にして雨量甚だ多く、夏秋の候颶風の中心は、屢此附近に起りて、我國の内地に來襲す。榕樹、芭蕉林、投樹等よく茂り

屬する吐葛喇諸島あり。其東

北には種子島、屋久島あり。種

子島は低平にして、甘蔗の栽

培行はれ又畜産多く、屋久島

は高峻にして、杉材を産す。

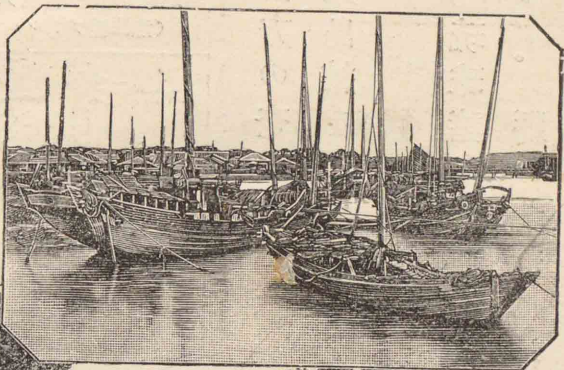
近海には又永良部鐵を産す。

家屋は一般に平屋造にして、周圍には高き石垣を繞らせり。

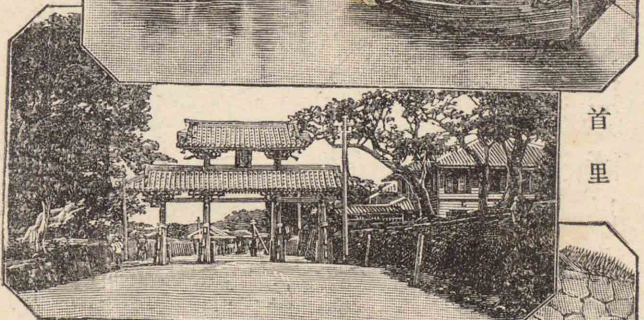
那覇港は縣下第一の港なり。其沿岸には珊瑚礁多し。されば大汽船は遠く沖合に泊す。圖中の船は琉球形の商船にして、山原船と云ふ。

て、沿海には珊瑚礁少からず。

住民は古來我國との外に、支那とも交通せしかば、其習俗は内地と異なり、特有の方言あり。又南清の俗を模



那覇港




首里



那覇の市場

(斤萬千一億二約國全) 較比額産蔗甘

	臺灣	沖繩	鹿兒島	其他
---	----	----	-----	----

土人は男子も結髪し簪を用ふる風習あり。

琉球には山藍を産す。

して、大に墳墓を修むるの風あり。人口甚だ稠密にして、甘藷を常食とし、且之より泡盛を醸し、芭蕉を植ゑて、芭蕉布を織り、殊に甘蔗を作りて、黒砂糖ろもぎは縣の主産物をなす。又豚を飼ふこと極めて多し。

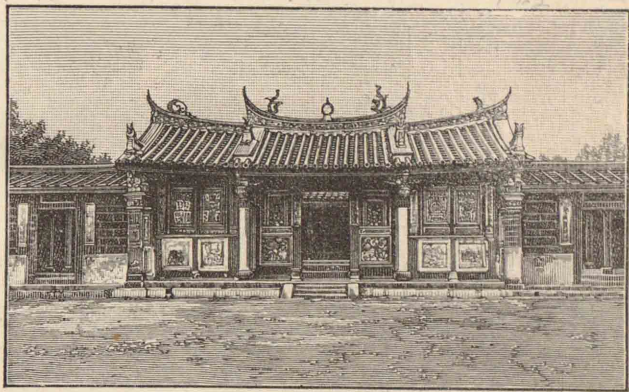
那覇區人口七は沖繩島にある開港場にして、縣廳所在地なり。琉球絣、漆器等の産あり。又疊表を集散す。首里區人口五は其東方丘陵の上において、舊王城の址を存す。東岸には中城灣ナカグスクの錨地あり。運天港は北部の要津なり。

第九章 臺灣

一、位置 臺灣は我國最南の大島にして、西方は臺灣海峽を挾みて、近く清國に對す。海峽の中には屬島澎湖諸島あり。

二、地形 臺灣島の主軸をなせる臺灣山脈は、島の東北端、鼻

忠義亭
 忠義亭は臺灣の南部にあり。よく臺灣建築の特色を表す。
 人口凡そ三百万。
 支那種族は主として南清地方より來れり。
 山地の兇暴なる蕃人に對しては隘勇線を張り、漸次蕃人の勢力圏を縮小して其歸順を圖れり。



くして、殊に北部に甚し。低地には熱帯性の植物繁茂し、榕樹蒲葵、竹は林をなし、杪羅は、芭蕉林投樹などと叢生し、密林の間には、籐の長く纏ふあり。樟は本島森林の王と稱せられ、又山間の高地には檜松等の森林あり。沿海には珊瑚礁、マングローブの林などあり。

五、住民。支那種族最も多く、マライ種族内、支那人に次ぐ。マライ種族は本島原始の蕃族にして、支那種族のために逐はれて、山中又は臺東地方に住み、其中部以北の山中にあるアタイアル人は性質兇暴なるを以て著る。此等の蕃族中、支那種族の

感化を受け、山麓の地に土著し、農民となれるものを熟蕃と云ひ、其他を生蕃と稱す。

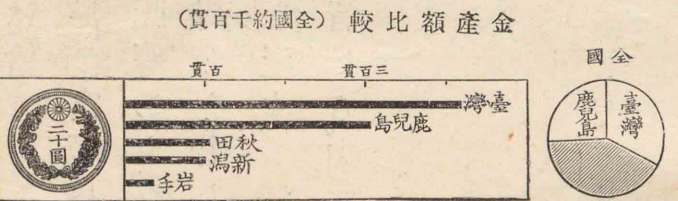
臺灣總督は他の地方長官と異なり、立法、司法、行政の權を委任せられ、又管下の軍隊を統率す。
 米は一年二回の收穫あり。
 本島産の粗製糖は本島にて精製せらるゝ外、又内地製糖會社の原料として供給せらる。

(圖萬百千三約額總) 品出輸灣臺

砂糖	米	茶	樟腦類	金	其他
----	---	---	-----	---	----

(斤萬千一億二約國全) 較比額産蔗甘

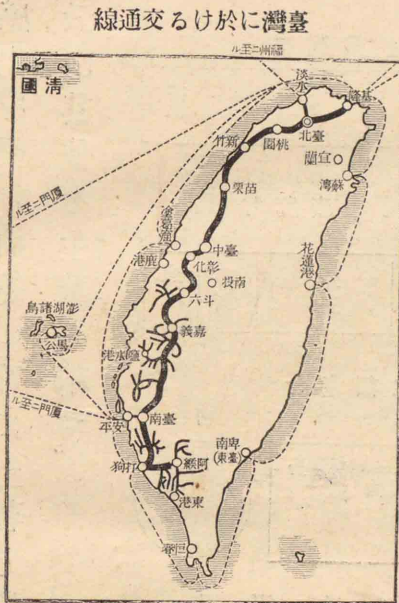
臺灣	沖繩	鹿兒島	其他
----	----	-----	----



本島は久しく清國の領土たりしが、明治二十七八年戰役の結果、我領土となり、總督府を置きて、之を治めしむ。總督府の下には十二の廳を置き、又警備のため二箇の聯隊を置く。
 六、産業。農業は島民の主なる生業にして、米は西部の平野に産し、茶は北部の丘陵地に多く、甘蔗は南部の平野に

西海岸には支那形船の通商に限れる散箇處の特別開港場あり。

産す。中部の山林には檜などの良材多く、阿里山の大森林殊に著る。樟腦は本島の富源にして、世界産額の大部分を供給す。家畜には水牛、豚等あり。又家禽の飼養盛なり。北部の山中には金と石炭、硫黄とを出し、金は我國主産地の一なり。西南の海岸には食鹽を産す。貿易は主として基隆、淡水、安平、打狗の四開港場に行はる。



七、交通。道路良しからざるも、鐵道は、略、西部の平野を南北に貫き、汽船は内地及び清國との間に定期の往來をなし、海底電信線は琉球を経て、九州に至り、又南清と連絡せり。

地方誌

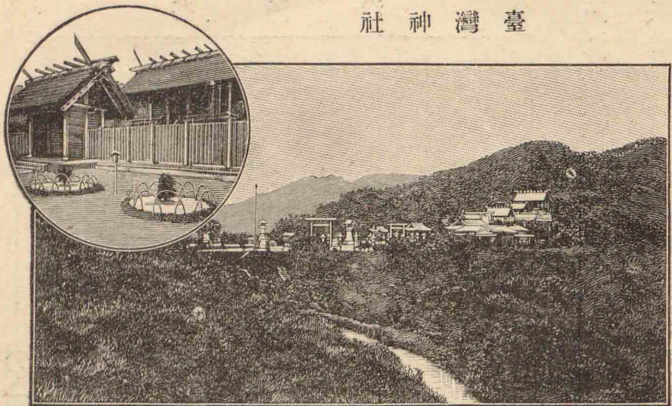
分水嶺以東を東部とし、以西を北、中、南の三部とし、之に澎湖島を加へ、總て五地方とす。

一、北部。主として淡水河の流域を

占め、其沿岸平野の中央に臺北八口あり。全島の首都にして、城内大稻埕、艋舺に分れ、城内には總督府、覆審法院、國語學校等あり。大稻埕は商業最も盛にして、殊に附近の地より集れる烏龍茶を精製し、多くアメリカ合衆國に輸出す。附近に臺灣神社あり。淡水河口に開港場淡水(滬尾)あり。臺北との間には、鐵道を通じ、又水運

臺北の北方の大屯山には北投の溫泉あり。

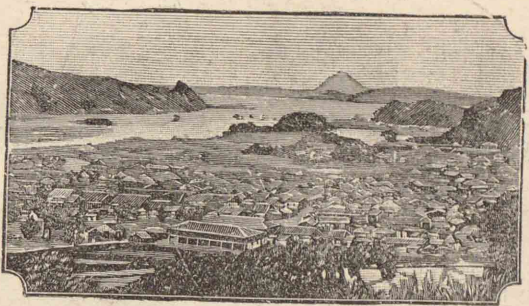
臺灣神社



臺灣神社には、明治二十八年征臺の役に陣歿したまひし能久親王を合祀す。

基隆は長崎を距ること凡そ六百海里。基隆は要塞地帯に入る。

基隆港



なれど、好錨地をなす。

二、中部。此地方の平野は、米の産多く、又木藍、落花生を産し、臺中、彰化等の小都會あり。海岸には鹿港、塗葛窟等の特別開港場ありて、清國との貿易盛なり。大甲には大甲荳を産す。

の便具り、茶樟腦等を輸出し、貿易盛なり。淡水河の支流基隆川を溯り、海岸に出づれば基隆あり。自然の良灣を更に修築せる好開港場にして、本島の北門をなす。内地との交通最も頻繁にして、又縦貫鐵道の起點をなす。港の東には瑞芳、牡丹坑、金瓜石等の豊富なる金坑あり。石炭亦附近の丘陵に産す。東岸には別に宜蘭の小平原ありて、苧麻の産多し。蘇澳は小港

山嶽地方は樟腦を産すること極めて多く、苗栗、雲林等之を集散す。埔里社は山間の盆地にある名邑なり。

落花生よりは油を取り、鳳梨よりは果實を取り、又其葉より布を製す。

圖は臺灣の森林中にある樟腦製造の小屋なり。前景にある植物は砂羅にして、羊齒の大なるものなり。



三、南部。其大部分は熱帯に入り、平野には甘蔗を作り、砂糖の製造甚だ盛なり。又落花生、鳳梨、檳榔子、龍眼肉等の産あり。海岸には天日製鹽行はる。

縦貫鐵道は嘉義人口を過ぎ、臺南に至る。臺南人口は本島第二の都會にして、最も古くより開け、嘗て本島の首府たりしことあり。オランダ人の城塞の址、鄭成功の廟など史蹟少からず。其港市をなせる安

恆春附近の牡丹社の土人は、琉球漂流民を殺害せしにより、明治七年征臺の役ありき。

澎湖群島は一般に低平にして、海拔百六十尺を越ゆる處なし。

平は良港ならざれど、開港場にして、砂糖と食鹽とを輸出す。打狗は大なる潟湖の口に位し、亦開港場にして、砂糖を輸出す。鳳山は内地の名邑にして、其附近には鳳梨の産最も多し。下淡水溪の口には東港あり。特別開港場をなす、恆春は我國最南の都會なり。

四、東部。土地未だよく開けず、種々の蕃族は部落をなし、中には農業を力むるものあり。卑南平野にある卑南(臺東)は、此地方の主邑をなす。北部には荳菜平野に花蓮港あり。兩港共に船舶の寄泊に甚だ便ならず。

五、澎湖島。大小幾多の低平なる島嶼集りて、群島をなす。澎湖漁翁、白沙の三島は、相圍みて、一灣を作り、馬公(媽宮)港其支灣をなして、澎湖島にあり。好錨地にして、臺灣海峽の形勝の地を占め、海軍の要港をなし、又特別開港場たり。

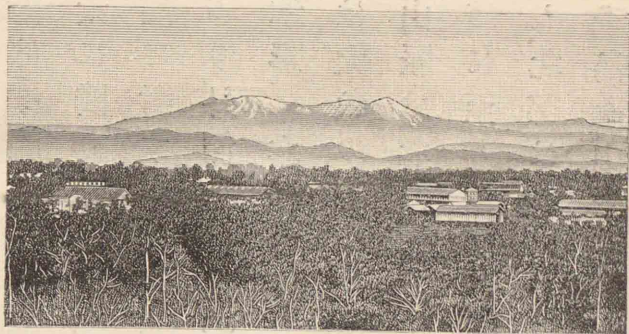
第十章 北海道

一、位置。北海道は北海道本島及び千島諸島より成り、本島は南は津輕海峽を隔てて本州島に、北は宗谷海峽を隔てて樺太に隣り、千島諸島の北端は、ロシア領カムチャツカ半島の南端に對す。此等諸島の内側には、日本海及びオホーツク海あり。外側には太平洋ありて、日本海溝近く横はる。

二、地形。本島の軀幹は、略、斜方形をなし、山がちなる渡島半島は、大魚の尾の如く、其西南部に連る。本島の主軸をなせる山脈は、北彎山系の一部をなし、南方襟裳崎より、北方は宗谷崎に至り、南部は日高山脈と其西に沿へる夕張山脈となし、北部は北見山脈と其西に横はる天鹽山脈となす。千島火山脈は又本島を横斷し、島の東部に雄阿寒、雌阿寒

圖は北海道の中央にある上川盆地より、マツカムシユベを望む景色なり。

山ベシムウカクタヌ



等の火山を起し、中央に至りて主軸山脈と交錯する處には、本島第一の高峯たるマツカムシユベ山を始め、石狩嶽、十勝嶽等聳ゆ。其餘脈猶西に延び、遂に渡島半島より北上せる那須火山脈と會し、マツカリヌプリの秀峯此處に聳ゆ。那須火山脈に屬するものには、惠山、駒嶽最も著る。

夕張山脈の西方千島火山脈の途切れたる處は、日本海の岸より太平洋岸まで連れる廣き平野をなす。

三、水系。河流の最大なるものは石狩川にして、源を石狩嶽

圖は石狩川河道の屈曲を示す。舊河道の新月形の湖沼となりて残るものに注意せよ。



に發し、島の中央にある上川盆地を漑ぎ、神居古潭の峽流をなして、夕張山脈を貫き、石

狩平野に出でて、日本海に注ぐ。天鹽川は北見山脈と天鹽山脈との間を流れて、亦日本海に入る。太平洋の斜面に於ては、十勝川、釧路川等主なるものなり。此等の河流の平野を流るゝや、屈曲甚しく、沿岸に沼澤を作るものあり。又湖沼は火山地方に少からず。

四、海岸。海岸の出入は著しからず。灣の稍大なるものは、東岸に知床、花咲の兩半島突出して、根室灣を抱き、西岸には、石狩平野に面して、小樽灣あり。渡島半島の頸部は、内浦灣を擁し、半島の南部には函館灣あり。其他軀幹の沿岸は概ね平

内浦灣は沿岸に火山多きを以て一に噴火灣の名あり。

東南沿海の海霧は、此近海に寒流親潮の南下するありて、更に其沖を流るゝ暖流の濕氣が東南風に送られて寒流の上に来り、冷却して霧を生ずるによる。

流水はオホーツク海沿岸の海水の凍結せるもの、漂來するによる。
人口僅に百四十餘萬に過ぎず。其最も稠密なる波島半島も、尙本州最小の岩手縣に及ばず。
アイヌ人は體格偉大にして、男子は毛深く鬚髯密生す。有夫の女子は口邊に黥する風習あり。

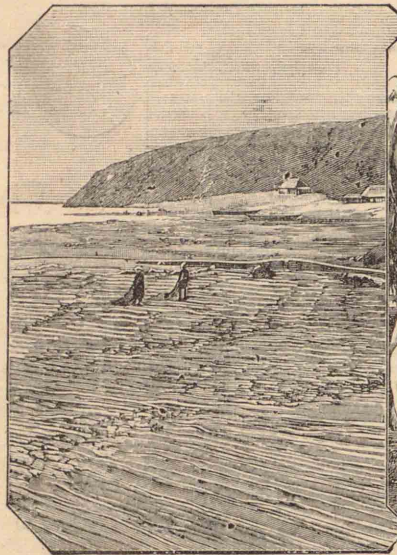
滑にして、其中には砂嘴の著しく延びて、サロマ湖の如き大なる潟湖を作れるものあり。
五、氣候。 冬季稍寒冷にして、殊に上川盆地十勝平野等に甚しきも、春に至れば溫度俄に上り、植物能く生育す。夏季に於ける東南沿海の海霧と、冬より春にかけて本島東岸と千島近海とに見る流氷とは、近海の特徴にして、共に海客の恐るゝ所なり。

六、住民。 古來の住民はアイヌ種族なりしが、明治の初年以來政府は内地人の移民を奨勵し、開墾を力めしかば、土地漸く開け、戸口次第に増加するに至れり。されど人口の密度は尙我國平均の八分の一に及ばず。又アイヌの數は漸く減じ、今は僅に一萬七千許にして、多く南部の平野に在り。
本道は北海道廳の管轄に屬し、其下に三區十六支廳を置

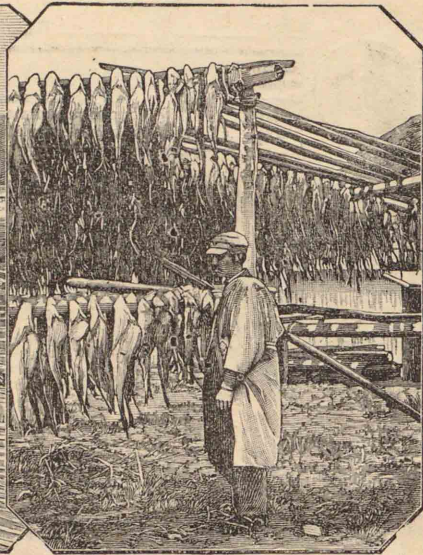
水産 (一五〇) の
鮭 鱈 鱒 鰻 鯉 魚
海豹 海狗 海馬 海牛
海狗 海馬 海牛
海豹 海狗 海馬 海牛

鮭は搾粕、身缺鮭等として内地に送らる。
水産物の主産地は凡そ左の如し。
鮭。石狩、根室、千島及び本島各處。
鰻。本島南海岸、波島半島、本島南海岸各處。
昆布。南海岸寒流地方

昆布の乾燥



棒鱈の乾燥



きて之を治む。

七、産業。 沿海は寒暖二流の流るゝありて、各特殊の水産に富み、世界有數の漁場たり。されば水産は本道の最も主なる産業にして、其最も多額の産あるは鮭なり。日本海、オホーツク海の沿岸は其主産地をなし、食料並に肥料となして、内地に供給す。鮭、昆布、鰻、烏賊、鱈等更に之に次ぎ、或は鹽藏し、或は乾製して、

農業産物

大豆、小麦、粟、米、麦、芋、豆、菜、果、木、竹、草、花、油、糖、紙、布、漆、炭、石、砂、鉄、銅、鉛、錫、銀、金、煤、石油、天然ガス、水産物、畜産物、工業原料、その他

馬鈴薯、小麦、粟、米、麦、芋、豆、菜、果、木、竹、草、花、油、糖、紙、布、漆、炭、石、砂、鉄、銅、鉛、錫、銀、金、煤、石油、天然ガス、水産物、畜産物、工業原料、その他

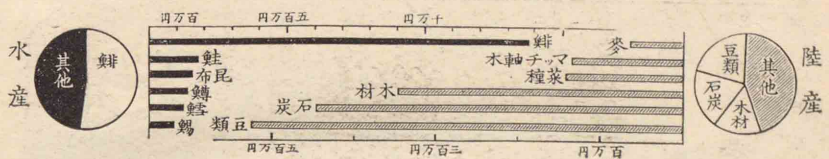
馬鈴薯、小麦、粟、米、麦、芋、豆、菜、果、木、竹、草、花、油、糖、紙、布、漆、炭、石、砂、鉄、銅、鉛、錫、銀、金、煤、石油、天然ガス、水産物、畜産物、工業原料、その他

北海道水産物の産出額は我國總額の約三分の一を占む。

農業は水産業の後を承けて主業とならんとすれど、其行はるゝ處は尙全道可耕地の九分の一に過ぎず。

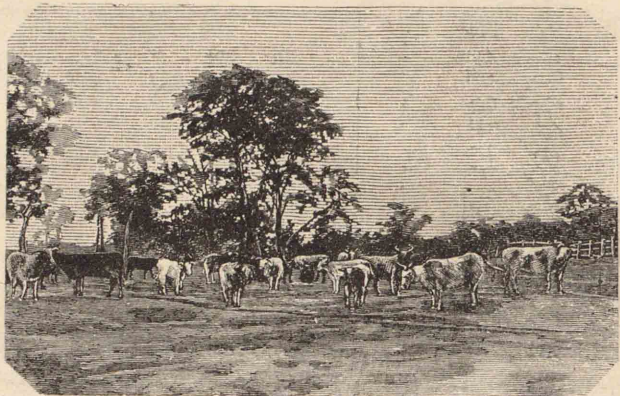
馬鈴薯より澱粉を、亞麻より麻糸、麻布を、玉蜀黍より酒精を取る。

（陸産四萬四千二百圓・水産七千二百圓） 比較額價品出輸道海北

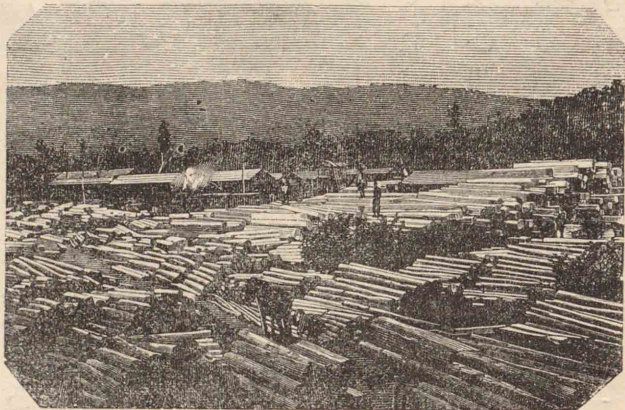


清國に輸出せらるゝもの多し。又千島近海には獵虎、臘肭獸、海豹等あり。農業の最も早くより開けたるは、西南部及び中部の平野にして、石狩川平野を最も著しとす。到る處西洋の農法により動物と機械力とを用ふることも多く、耕地の規模壯大なり。大麥、小麥、黍、蕎麥、大豆、小豆、菜種等は其主産物をなし、又工業の發達に伴ひ、馬鈴薯、亞麻、玉蜀黍の産増加し、米も近年其産額著しく加れり。又果物には苹果、櫻桃等の美なるもの出づ。牧畜は馬を主とし、南部中部の地方に多く、新冠御料牧場は其主腦たり。牛、豚之に次で、亦少からず。林産の最も貴重なるものは蝦夷松、檜にして、

札幌附近の畜牧



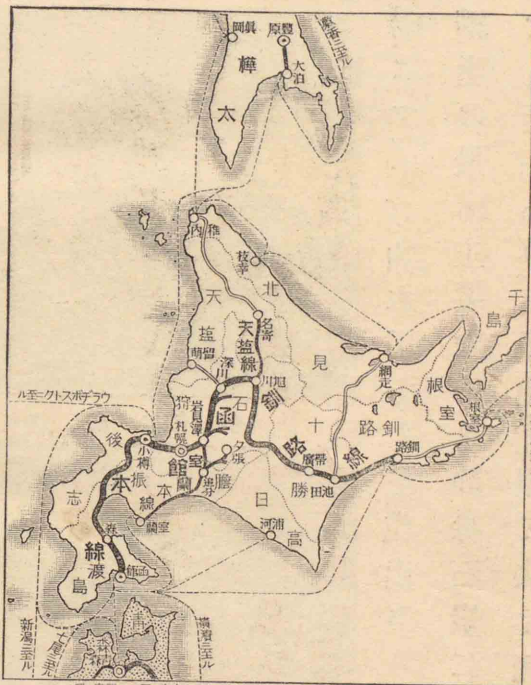
木材の積集 (石狩國合)



此等は檜と共に、枕木として、清韓地方に輸出せられ、又種々の用材となし、或は木屑となして、製紙の原料に供せらる。

白楊はマッチの軸木用として、伐出さるゝこと極めて多し。鑛産の最も主要なるものは石炭にして、夕張山脈には豊富なる炭田あり。其産額九州に次ぐ。硫黄は渡島半島に最も

北海道及樺太に於ける交通線



出、本線は更に北走して上川盆地の旭川に到る。此地より東南釧路に到る釧路線及び北に向へる天鹽線を分つ。此等の地方の外にも、主要なる道路は、開拓の初に於て、よく開かれたれば、交通に甚しき不便を見ず。

多し。
八、交通。 鐵道函館線は、渡島半島の南端にある函館より起り、北方に向ひ、石狩平野に出で、一線を内浦灣頭の室蘭に送り、又數多の支線を所在の炭坑に

地方誌

一、北海道本島。 渡島半島の南端にある函館區は、本道の門戸をなせる良港にして、開港場をなす。商業甚だ盛に行はれ、水産物を清國に輸出し、五稜廓の製氷は多く内地に送らる。區に控訴院を置き、又船渠の設あり。

半島の西南端にある福山は、昔の松前にして、本島最古の都會なり。西岸には江差、壽都、岩内等あり。いづれも鮮漁場の中心をなす。

函館と對岸の青森との間には、連絡汽船往復して、東北奥羽兩線と函館線とを結び、函館線は、半島を縦走して、小樽に出づ。

小樽區は西海岸第一の開港場にして、本道西北部の商權を握り、外國貿易は函館に及ばざれど、内地との取引は彼

小樽港は築港略成りて、突堤、棧橋の設あり。

函館は青森を距ること凡そ六十海里。
函館は要塞地帯に入る。
函館區は、本道の門戸をなせる良港にして、開港場をなす。商業甚だ盛に行はれ、水産物を清國に輸出し、五稜廓の製氷は多く内地に送らる。區に控訴院を置き、又船渠の設あり。
半島の西南端にある福山は、昔の松前にして、本島最古の都會なり。西岸には江差、壽都、岩内等あり。いづれも鮮漁場の中心をなす。
函館と對岸の青森との間には、連絡汽船往復して、東北奥羽兩線と函館線とを結び、函館線は、半島を縦走して、小樽に出づ。
小樽區は西海岸第一の開港場にして、本道西北部の商權を握り、外國貿易は函館に及ばざれど、内地との取引は彼

近く小樽區に高等商業學校設けられんとす。

小樽港



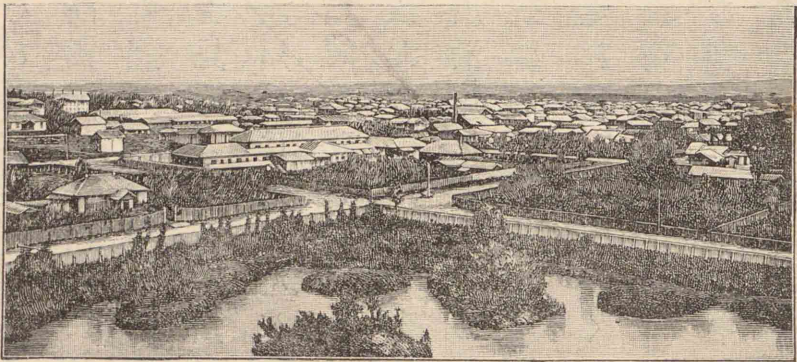
を凌ぐの勢あり。港は又水陸交通の衝に當り、沿岸及び樺太航路の起點をなす。

小樽より東に進めば石狩平野に入る。石狩川之を漑ぎ、農産甚だ多く、川の下流には鮭漁盛なり。其支流豊平川に沿ひ札幌區セキあり。道廳の所在地にして、市街は廣く、且整然として碁盤の目の如く、東北帝國大學の農科大學を置き、又麥酒、製麻等の大工場あり。

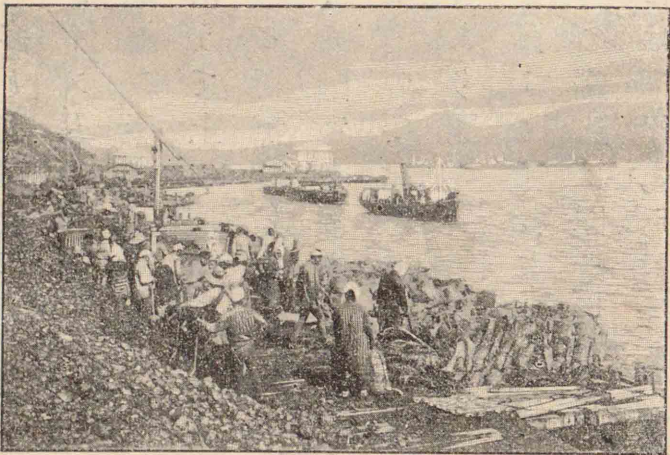
岩見澤イシミは平野の中央に位し、鐵道の交點に發達せる新市街なり。其

下圖は室蘭港に於ける石炭積出の情況なり。室蘭には製鋼所の設あり。

札幌市街



室蘭港



東に横はれる夕張山脈の中には、空知、幾、春、別、幌、内、夕、張等の有名なる炭坑あり。

鐵道により平野を南に下り、内浦灣の口に出づれば、其終點に室蘭、二〇ありて、本道の重要なる門

室蘭の西北なる紋蟹には亞麻を産す。
新冠の南方浦河附近には種馬牧場あり。

旭川にはマツチ軸木の産あり。

花咲港の南方落石岬に無線電信局あり。

戸をなし、石炭の輸出最も多し。其東北に登別の温泉あり。日高山脈の西南麓には、アイヌ人の大邑平取あり。又有名なる新冠御料牧場ありて、良馬を産す。
岩見澤より石狩川に沿うて上れば、鐵道は上川盆地に入る。旭川人口は其中心に興れる新都會にして、市街好く整ひ、附近に離宮豫定地及び第七師團司令部あり。

西北の海岸には留萌増毛の要津あり。東南斜面には、十勝川沿岸に、廣大なる平野あり。開拓次第に其歩を進め、其中心をなして帶廣あり。此平野より鐵道により、釧路川の流域に至れば、亦原野廣く、河口の釧路は開港場をなし、其附近には漁利多し。厚岸灣の岸には厚岸あり。附近に昆布、牡蠣の特産あり。根室は花咲半島にある港にして、冬季氷結するとき、商船は其背面の花咲港に入る。根室灣に注げる西別川は、

西別川の畔には壯大なる織詰製造所あり。

千島の面積は四國に伯仲すれど、人口は四千に達せず。

有名なる鮭、鱒の産地なり。東北の海岸には網走あり。北端には稚内あり。共に沿海の要津をなす。

三、千島。根室灣より東北に向ひ連れる三十餘の火山島を千島列島と云ひ、國後擇捉の二大島は本島に近く、擇捉島の紗那は、列島の主邑をなす。占守島は北端にありて、報效義會員の移住せる處なり。鱒、鱒、硫黄は千島の主なる産物にして、近海には又海獸を産す。

第十一章 樺太

一、位置。樺太島は北海道本島の北に位し、其間に宗谷海峽を挟み、東はオホーツク海に臨み、西は間宮海峽を隔ててシベリアに對す。島の南部、北緯五十度以南の地は、明治三十七八年役の結果、ロシアの割讓して、我領土となれる所なり。

樺太
面積五千里
人口一四、五〇〇人
樺太の島嶼
鈴谷の島嶼
東部の島嶼

面積五千里
人口一四、五〇〇人
樺太の島嶼

五、産業、交通。水産は最も主要なる産業にして、鮭、鱒、極めて多く、西海岸は其主産地をなす。鮭、鱒は東海岸に多く、亞庭灣之に次ぐ。此他鱒、昆布、海獸の産あり。多來加灣の海豹島は有名なる臘肭獸の棲息地なり。農業は纔に南方の低地に開け、林業は未だ興らず。鑛産には近時石炭、石油等の發見されしものあり。

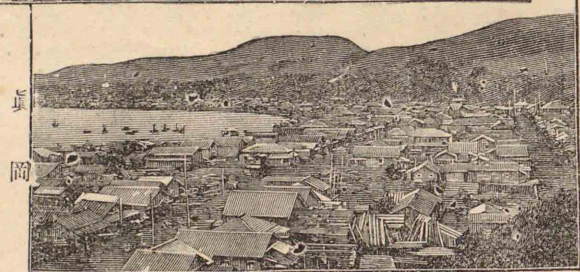
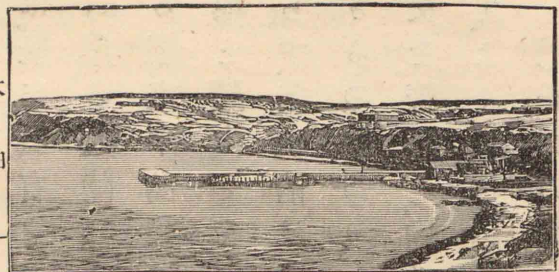
陸上の交通は尙不便にして、僅に南部に少距離の間鐵道を通ずるに過ぎず、冬季は一般に橇によりて往來す。海上には沿岸の諸港間及び内地との間に汽船の航行せるあるも、冬季は交通杜絶する處多し。

地方誌

大泊は亞庭灣の北端にある開港場にして、本島の門戸をなすこと、北海道の函館の如く、又漁業の一中心たり。鐵道は

交通は第一五八頁の挿圖を見よ。

大泊は嘗てコルサコフと云へり。



不凍港にして、鮭、漁の中心をなし、其市街は近時勃興せり。

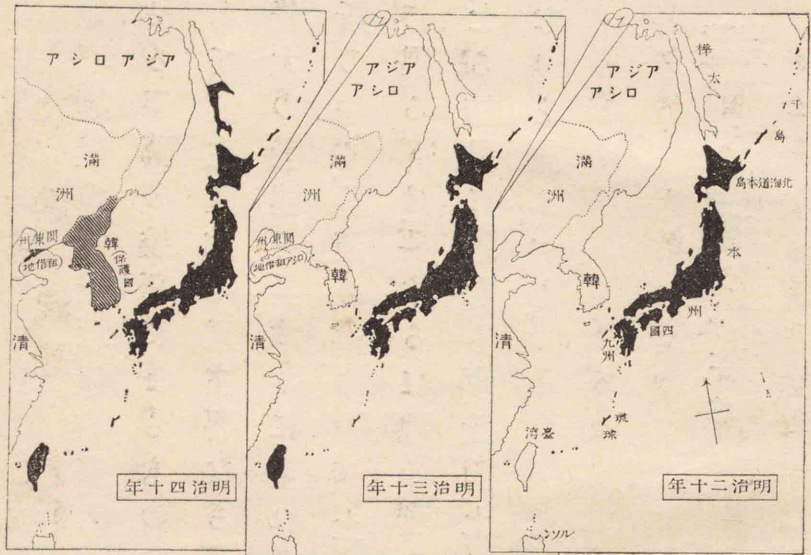
之より北進して豊原に到る。豊原は本島の主邑にして、豊沃なる平原の中央にありて、樺太廳を置かる。平原の北端には内淵あり。西岸の眞岡は

結論 國勢の發展と國運の進歩

帝國は曩に臺灣島を其領土に加へ、後又樺太島の南部を得たるを以て、アジア大陸の東岸に延互せる島嶼の大部分は、既に我有となれり。しかのみならず、其勢力は益發展して、對岸の大陸に及び、ロシアの後を承けて、清國より滿洲にある關東半島の地を租借し、又南滿洲鐵道及び其沿道の附屬地と鑛山とを我手に收め、此等の地は、清國のものたるに係らず、其政治はすべて我行ふ所となり、殆ど我領土と異ならざるの觀あり。又韓國を我保護國とし、統監を置きて、其外交を管理し、内政を監督するが如き、帝國の權威次第に加りて、よく世界の列強と相伍するに至れり。

しかのみならず、我國は夙に天下無比の國體を有し、政體

帝國近年の膨脹



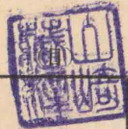
は立憲の制を採り、教育は國民に普及し、アジア諸國に先だちて、文明の實を擧げ、殊に地勢自然の好位置を占めて、四邊海を環らし、列島南北に長く延びて、風土其地を異にするに従ひ、亦同じからざるも、各種の産業は之と相應じてよく發達し、國家富強の源泉を造れり。農業は耕地廣からざるも、猶我國古來の主要たるを失はずして、其産

物は主要なる輸出品をなし、林産、水産年を逐うて其額を加へ、地下鑛産の開發は近來甚だ増進せり。工業は國民の長所とせる手藝の技巧によるもののみならず、種々の大工業勃興して、其生産物は又主要なる貿易品をなし、外國貿易は近年著大の發達を呈するに至れり。

斯の如く、國運の進歩が、領土の膨脹パルチオウに伴ひて、あらゆる方面に現るゝは、要するに地の利と人の和と、常に其宜しきを得たる結果に外ならず。此國土に國民たる吾人の幸福、また大なりと謂ふべし。

普通教育 日本地理教科書 終

日本地理教科書 定價六拾五錢



檢著印

明治四十四年三月二十一日發行
明治四十四年三月二十一日發行
明治四十四年三月二十一日發行
明治四十四年三月二十一日發行
明治四十四年三月二十一日發行
明治四十四年三月二十一日發行
明治四十四年三月二十一日發行
明治四十四年三月二十一日發行
明治四十四年三月二十一日發行
明治四十四年三月二十一日發行

著作權有所不許漢譯

著者 山崎直方
發行者 西野虎吉
印刷者 野村宗十郎
發行所 開成館
販賣所 三木佐助
販賣所 林平次郎

株式會社東京築地活版製造所印刷

山崎氏地理學教科叢書

(中等諸學校用)



普通教科書 日本地理教科書 _____
全一冊 正價六拾五錢 郵稅八錢

普通教科書 外國地理教科書 _____
全三冊 正價各五拾五錢 郵稅各六錢
合本 同 壹圓貳拾錢 郵稅拾貳錢

普通教科書 地文學教科書 _____
全一冊 正價八拾錢 郵稅八錢

普通教科書 地理學通論 _____
全一冊 正價九拾錢 郵稅八錢

(高等女學校用)

女子教科書 日本地理教科書 _____
全一冊 正價六拾錢 郵稅六錢

女子教科書 外國地理教科書 _____
全二冊 正價各五拾錢 郵稅各六錢

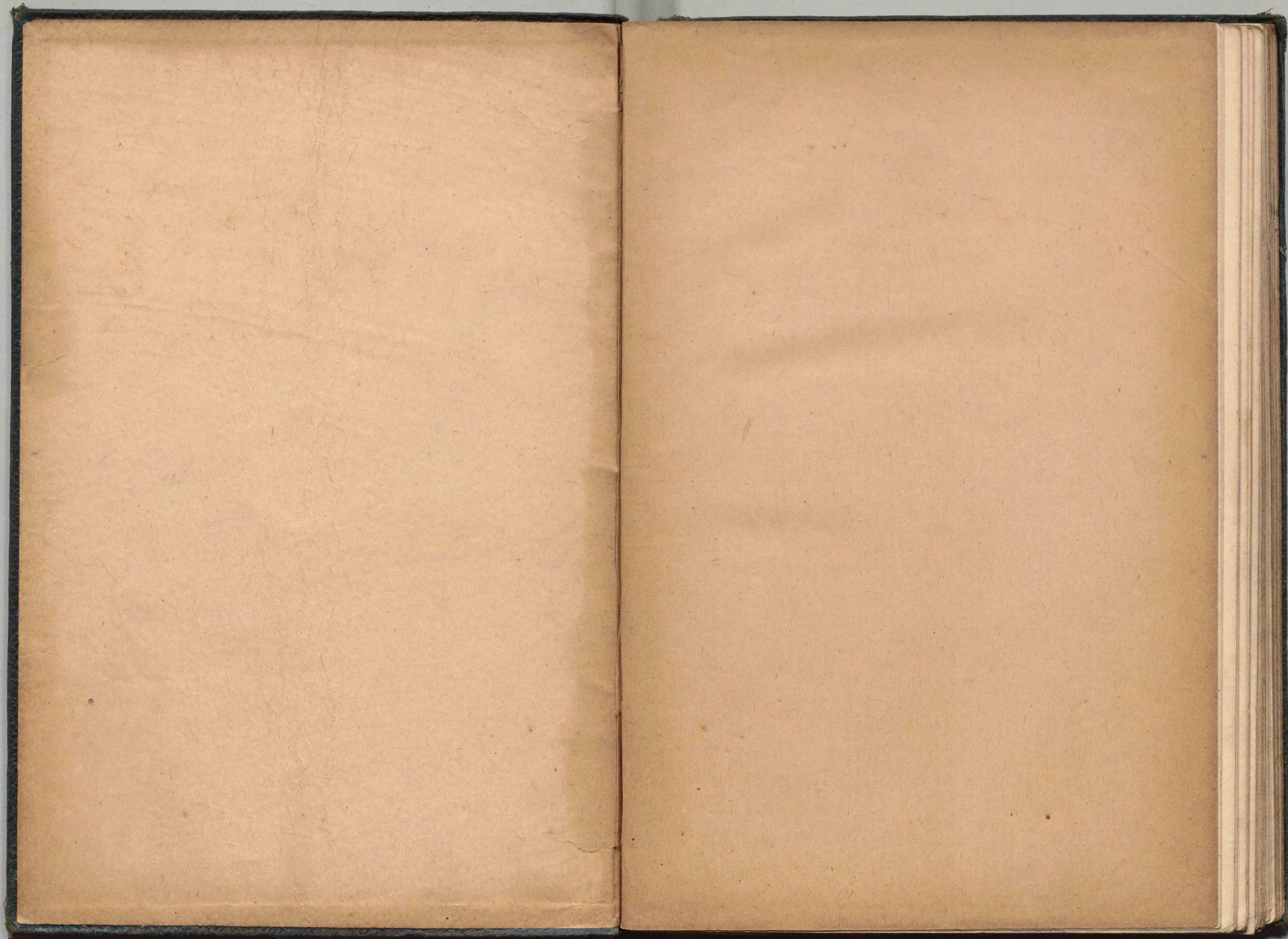
女子教科書 地文教科書 _____
全一冊 正價五拾錢 郵稅六錢

(教科用地圖)

普通教科書 日本地圖 _____
全一冊 正價六拾錢 郵稅八錢

普通教科書 外國地圖 _____
全一冊 正價七拾錢 郵稅八錢







広島大学図書

2000041338

